

Cloud VMS ユーザーマニュアル

クラウド ビデオ管理ソフトウェア

目次

目次	2
第 1 章 Cloud CVMS の概要	6
1.1 Cloud CVMS 推奨動作環境	6
1.2 Cloud CVMS メイン画面	6
第 2 章 登録とログイン	8
2.1 管理者アカウントの作成	8
2.2 Cloud CVMS へのログイン	9
2.2.1 通常モード	9
2.2.2 クラウドモード	10
2.3 パスワードのリセット	13
第 3 章 デバイス管理	15
3.1 デバイス検索	15
3.1.1 プロトコル種別で検索	15
3.1.2 ネットワークセグメントで検索	15
3.2 デバイスのアクティベート	16
3.3 デバイスの追加	17
3.3.1 検索して追加	17
3.3.2 手動で追加	17
3.4 カスタムグループ管理	19
3.5 クラウドグループ管理	19
3.6 デバイスの共有	20
3.7 共有の受け入れ	22
第 4 章 メインビュー	24
4.1 画面の説明	24
4.2 ライブプレビュー	25
4.3 ビュー設定	28
4.4 PTZ 制御	30
第 5 章 クルーズ設定	35
5.1 巡回プランの設定	35
5.2 クルーズの開始	37
第 6 章 再生	38
6.1 再生の概要	38
6.2 デバイス映像の再生	40

6.3 デバイス映像のダウンロード.....	40
6.4 スマート検索再生.....	43
6.5 画像検索とバックアップ.....	43
6.6 タグ再生.....	45
6.7 イベント再生.....	45
第7章 ログ検索.....	47
7.1 クライアントログの検索.....	47
7.2 リモートデバイスログの照会.....	47
第8章 トポロジー管理.....	49
8.1 関連操作.....	49
8.2 トポロジー設定.....	50
第9章 AI 検索.....	52
9.1 顔.....	52
9.1.1 顔検索.....	52
9.1.2 顔統計.....	52
9.1.3 顔設定.....	53
9.2 歩行者と車両.....	55
9.2.1 歩行者・車両検索.....	55
9.2.2 歩行者・車両統計.....	56
9.3 リピーター検索.....	57
9.4 ナンバープレート.....	58
9.4.1 ナンバープレート検索.....	58
9.4.2 ナンバープレート設定.....	59
9.5 スマートハイブリッド検索.....	61
第10章 勤怠管理.....	63
10.1 勤怠シーン.....	63
10.2 勤怠記録.....	63
10.3 勤怠統計.....	64
10.4 勤怠管理.....	64
第11章 アラーム設定.....	70
11.1 アラームイベント表示.....	70
11.2 アラーム連動設定.....	71
11.3 スケジュール設定.....	72
11.4 IP スピーカー連動設定.....	72
11.5 デバイスの解除（ディスアーム）.....	74

第 12 章 ローカル録画.....	75
第 13 章 システム設定.....	78
13.1 一般	78
13.2 ファイル設定.....	79
13.3 ホットキー.....	80
第 14 章 AI 設定	81
14.1 モデル設定.....	81
14.2 データベース同期.....	81
第 15 章 電子マップ設定.....	83
15.1 マップの作成／編集.....	83
15.2 監視ポイント	84
15.3 監視ポイントの編集／削除.....	84
第 16 章 マッププレビュー.....	86
16.1 監視	86
16.2 トラック再生.....	87
第 17 章 アカウント管理.....	89
17.1 ユーザーの追加.....	89
17.2 権限グループの設定.....	89
第 18 章 クラウドアラーム.....	91
18.1 クラウドアラーム.....	91
18.2 システムメッセージ.....	91
第 19 章 車両管理.....	93
19.1 パラメータ設定.....	93
19.1.1 入出場設定.....	93
19.1.2 スケジュール設定.....	94
19.2 車両管理.....	94
19.3 車両監視.....	96
19.4 データ照会.....	97
19.4.1 通行記録の照会.....	97
19.4.2 構内車両の照会.....	97
第 20 章 入退室管理.....	99
20.1 ライブ.....	99
20.2 通行記録の照会.....	99
20.3 ユーザー管理.....	100
20.3.1 ユーザーの追加／編集／削除.....	100

20.3.2 エクスポート／インポート	101
第 21 章 AI シーン	102
21.1 越境カウント統計	102
21.2 混合オブジェクト検出	103

第 1 章 Cloud CVMS の概要

Cloud Video Management Software は、XVR、NVR、IP カメラ、PoE スイッチなどを一元管理できるセキュリティ監視デバイス管理ソフトウェアです。

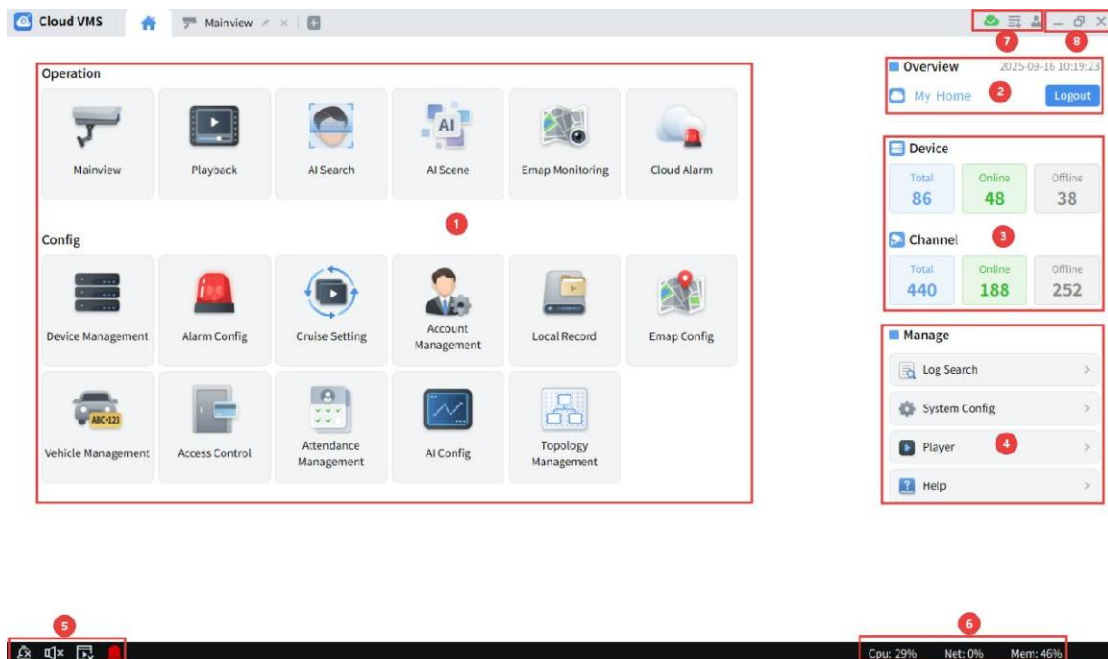
1.1 Cloud CVMS 推奨動作環境

本ソフトウェアの動作環境には、オペレーティングシステム、CPU、メモリ、グラフィックカードが関係します。

- オペレーティングシステム：Microsoft Windows 7/10/11 および macOS 11.6 以降
- CPU：Intel® Core™ i5-4590 @ 3.3 GHz 以上
- メモリ：4 GB 以上
- グラフィックカード：NVIDIA GT 730 以上 注：PC のスペックが高いほど、同時にプレビューまたは再生できるチャンネル数が増えます。

1.2 Cloud CVMS メイン画面

Cloud CVMS ソフトウェアのメイン画面を次の図に示します。



1. 機能操作エリア：クライアントが提供する主要機能を表示します。
2. クラウドアカウントログイン表示：標準ログインモデルを使用して、クラウドアカウント配下のデバイスをインポートできます。
3. デバイス統計：デバイスのリアルタイム状態（追加済み・オンライン・オフラインの数）に

加え、総チャンネル数、オンライン／オフラインのチャンネル数を表示します。

4. ログ検索、システム設定、プレーヤーの起動、クライアントバージョンの確認を行います。

5. イベント管理：

アイコンをクリックして、アラーム通知をサイレントまたはサウンドに切り替えます。



アイコンをクリックすると、アラームのポップアップの表示／非表示を切り替えます。



アイコンをクリックすると、アラーム情報を消去します。



アイコンをクリックすると、デバイスのハードディスクエラーに関するアラーム情報を確認できます。詳細は第 11 章 アラーム設定を参照してください。

6. PC 性能表示：現在の PC のネットワーク、CPU、GPU、メモリの使用状況をリアルタイムに表示します。

7. ユーザー管理：  アイコンをクリックすると、ダウンロード中および完了した映像を確認できます。



をクリックして  Lock を選択すると、画面をロックし、解除にはログインパスワードが必要になります。



をクリックして  About を選択すると、ソフトウェア名とバージョン番号が表示されます。



をクリックして  abc を選択すると、現在のユーザーのログイン画面が表示されます。



ユーザー管理：クライアントのクラウド状態。

8. ウィンドウ管理：



アイコンをクリックすると、ソフトウェアウィンドウを最小化します。



アイコンをクリックすると、ソフトウェアウィンドウを最大化します。



アイコンをクリックすると、ソフトウェアウィンドウを初期状態に戻します。



アイコンをクリックすると、ソフトウェアを終了します。

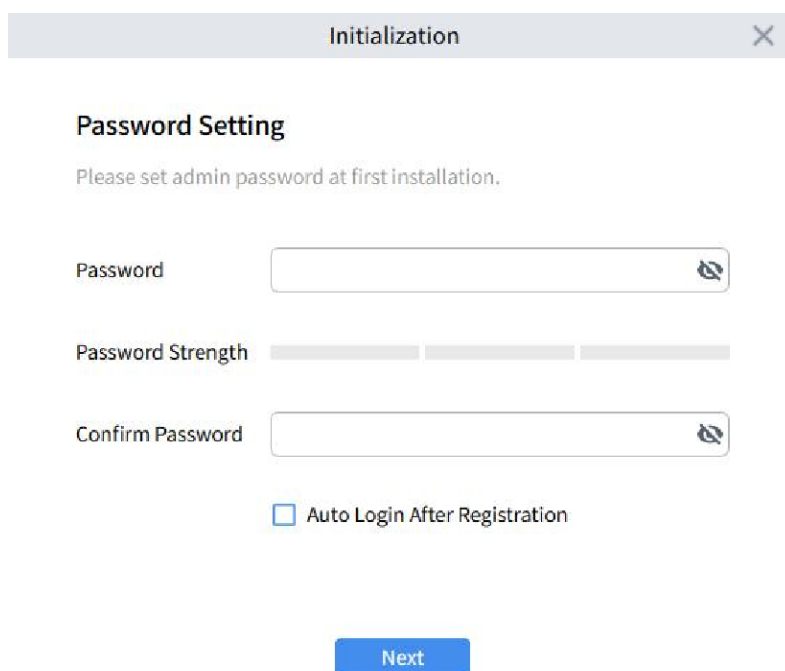
第 2 章 登録とログイン

2.1 管理者アカウントの作成

Cloud CVMS に初めてログインする際は、システムの案内に従って管理者のログインパスワードとセキュリティの質問を設定してください。設定したログインパスワードはシステムへのログインに使用し、設定したセキュリティの質問は、その質問に回答することでパスワードをリセットする際に使用できます。



手順 1：アイコンをダブルクリックすると、下図のように初期化画面が表示されます。

The image shows a web-based initialization screen. At the top is a grey header bar with the text 'Initialization' and a close button (X). Below the header, the title 'Password Setting' is displayed in bold. Underneath the title is a subtitle: 'Please set admin password at first installation.' The form contains three main input areas: 1. 'Password' with a text input field and a toggle icon for password visibility. 2. 'Password Strength' with a horizontal progress bar divided into three segments. 3. 'Confirm Password' with a text input field and a toggle icon for password visibility. Below these fields is a checkbox labeled 'Auto Login After Registration'. At the bottom center is a blue button labeled 'Next'.

管理者パスワードを設定します。

- (1) パスワード：パスワードはスペースを含まない 8～32 文字で設定でき、大文字・小文字・数字・記号で構成できます。
- (2) パスワード強度：色でパスワードの強度を示します。パスワードの色は弱い順に赤・黄・緑となります。3 種類以上の文字を組み合わせることを推奨します。
- (3) パスワードの確認：パスワード欄と一致している必要があります。
- (4) 登録後に自動ログイン：選択すると、登録後に自動でシステムにログインします。選択しない場合は、システムのログイン画面が表示されます。

手順 2：パスワードを設定したら「次へ」ボタンをクリックし、パスワード保護の設定ページに進みます。

Initialization

✕

Password Protection

Please set security questions.

Question 1

What is your nickname?

▼

Answer

Question 2

When is your father's birthday?

▼

Answer

Previous

Finish

手順 3：質問を選択し、回答を入力します。パスワードを忘れた場合は、質問に回答することでパスワードをリセットできます。

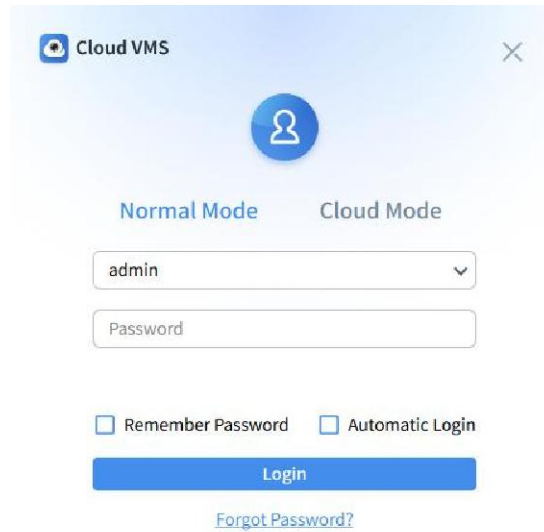
手順 4：設定が完了したら「完了」をクリックして設定を保存します。

2.2 Cloud CVMS へのログイン

システム管理者の登録が完了すると、ログイン画面が表示されます。通常モードとクラウドモードに対応しており、2つのログイン方法から選択できます。

2.2.1 通常モード

このモードではすべてのデバイスを管理できます。システム登録時のパスワードを入力し、「ログイン」をクリックすると、システム画面に入ります。

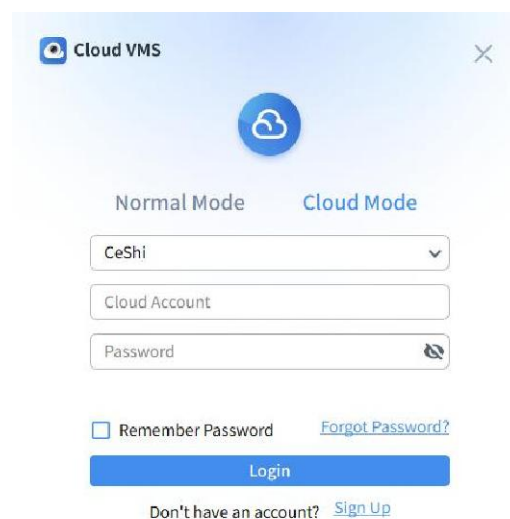


The image shows the 'Normal Mode' login interface for Cloud VMS. At the top, there's a 'Cloud VMS' header with a close button. Below it is a user icon. The 'Normal Mode' tab is selected, and the 'Cloud Mode' tab is also visible. The login fields include a dropdown menu with 'admin' selected, a 'Password' field, and two checkboxes: 'Remember Password' and 'Automatic Login'. A blue 'Login' button is at the bottom, with a 'Forgot Password?' link below it.

注：「パスワードを記憶する」にチェックを入れると、システムがパスワードを記憶し、次回ログイン時にパスワードを入力する必要がなくなります。「自動ログイン」にチェックを入れると、ログアウト後に再度起動した際、自動的にログインしてシステムに入ります。

2.2.2 クラウドモード

このモードでは、クラウドサーバー機能を持つデバイスを管理できます。クラウドアカウントを登録した後、クラウドアカウントでログインすると、そのクラウドアカウントで追加したデバイスをクラウドアカウントを通じて共有できます。



The image shows the 'Cloud Mode' login interface for Cloud VMS. At the top, there's a 'Cloud VMS' header with a close button. Below it is a cloud icon. The 'Normal Mode' tab is visible, and the 'Cloud Mode' tab is selected. The login fields include a dropdown menu with 'CeShi' selected, a 'Cloud Account' field, and a 'Password' field with a toggle icon. There are checkboxes for 'Remember Password' and a 'Forgot Password?' link. A blue 'Login' button is at the bottom, with a 'Don't have an account? Sign Up' link below it.

クラウドモードを使用するには、クラウドアカウントの登録が必要です。Cloud CVMS でのアカ

アカウント登録手順は次のとおりです。

1. クラウドモードのログインページで「サインアップ」ボタンをクリックすると、下図のように登録ページが表示されます。

Cloud VMS

Sign Up

×

Email

Enter registered E-mail account

Region Selection

Region Selection

▼

Verification code

Enter Code

Get Verification Code

Password

8-15 Characters

🔒

Password Strength

Confirm Password

8-15 Characters

🔒

📘 Password Rules

1. Password must be 8-15 characters in length

2. Your password should contain at least 3 from the following characters :

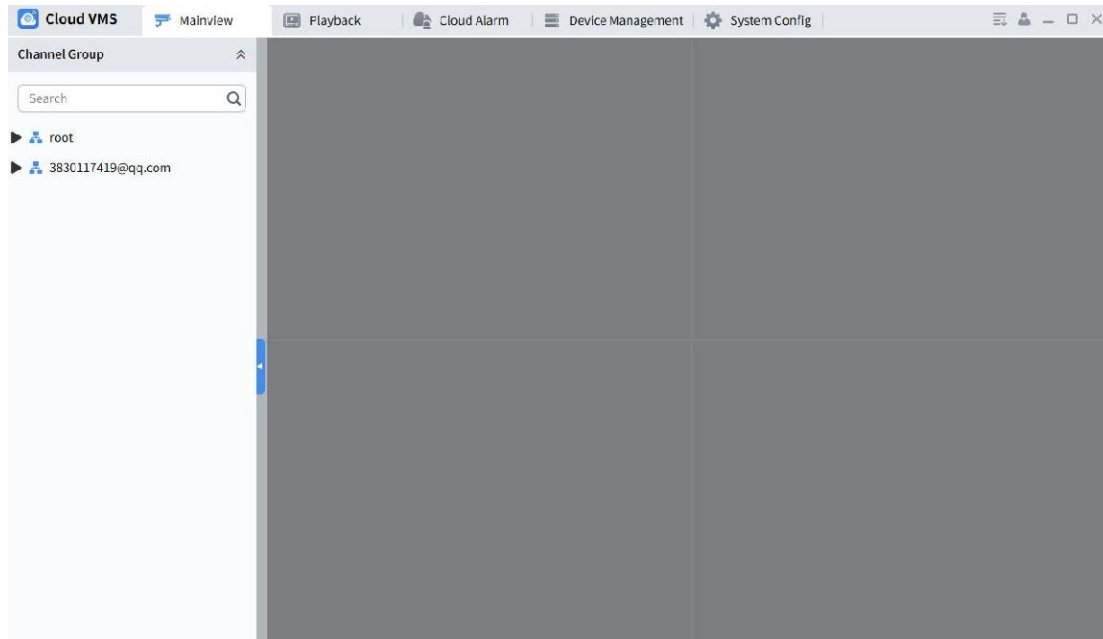
- Uppercase letters
- Lowercase letters
- Numbers
- Special characters

3. Password can not be the same as user name

☒ I agree [Terms of Service Use](#) and [Privacy Policy](#)

Submit

2. メールアドレスを入力し、登録地域を選択して、受信した認証コードを入力し、有効なパスワードを設定します。「利用規約およびプライバシーポリシーに同意します」にチェックを入れ、送信して登録を完了します。登録したアカウントでログインしてシステムに入ると、下図のようになります。



3. クラウドモードでは、Cloud CVMS は以下の操作に対応しています。

デバイス管理：

LAN 検索 --- クラウドサービス機能に対応したデバイスのみを検索・表示します。

デバイスの追加 --- 通常／ダイナミッククラウドモードでの手動追加に対応します。（注：

通常モードで追加すると、デバイスが自動的に判別されます。非クラウドデバイスの場合はクラウドに記録され、クラウドデバイスの場合はクラウドにアップロードされます）。

クラウドグループ化 --- 詳細は「3.5 クラウドグループ管理」を参照してください。

デバイスの共有 --- 詳細は「3.6 デバイスの共有」を参照してください。共有の受け入れ --- 詳細は「3.7 共有の受け入れ」を参照してください。プレビュー：追加済みのオンラインデバイスのプレビュー操作に対応します。（注：クラウドモードでは、サイドバーのアラーム、画面巡回、ビュー保存などの機能には対応していません）。再生：追加済みのオンラインデバイスの再生操作に対応します。（注：クラウドモードでは、通常のビデオ再生のみ対応しています）。クラウドアラーム：クラウドデバイスのアラームおよびシステムメッセージの照会操作に対応します。

（注：詳細は「第 18 章 クラウドアラーム」を参照してください）。システム設定：クラウドモードでは、システム言語、ビデオファイル形式、ビデオイベントのパッケージサイズ、スナップショットおよびビデオの保存先、ディスク空き容量不足アラームのしきい値などを設定できます。

2.3 パスワードのリセット

パスワードを忘れた場合は、ログインページ下部の「パスワードを忘れた場合」ボタンをクリックしてリセットできます。

1. ローカルモードでは、「パスワードを忘れた場合」をクリックしてパスワードリセットページを開きます。質問による本人確認に通ると、パスワードをリセットできます。

Password Reset

✕

Password Protection

Please answer security questions.

Question 1

What is your first pet?

Answer

Question 2

Where is your hometown?

Answer

Cancel

Next

2. クラウドモードでは、「パスワードを忘れた場合」をクリックしてパスワードリセットページを開きます。認証コードを入力することでパスワードをリセットできます。



Email

Enter registerd E-mail account

Region Selection

Region Selection



Verification code

Enter Code

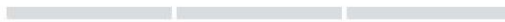
Get Verification Code

New Password

8-15 Characters



Password Strength



Confirm Password

8-15 Characters



! Password Rules

1. Password must be 8-15 characters in length
2. Your password should contain at least 3 from the following characters :
 - Uppercase letters
 - Lowercase letters
 - Numbers
 - Special characters
3. Password can not be the same as user name

Submit

第3章 デバイス管理

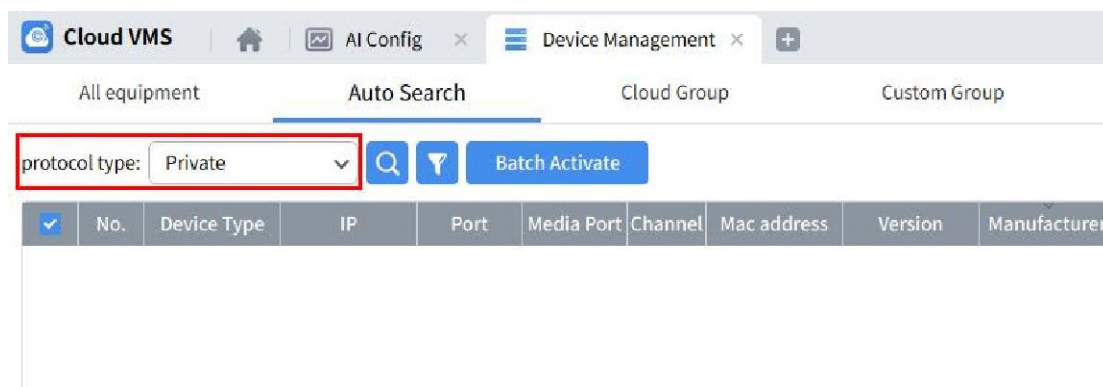
Cloud CVMS は、LAN 検索や手動による方法で、デバイス（IPC、NVR、XVR など）を個別または一括で追加し、追加したデバイスを管理できます。

3.1 デバイス検索

「デバイス管理 -- 自動検索」ページで「検索」ボタンをクリックすると、現在の LAN 内のデバイスを検索して表示します。

3.1.1 プロトコル種別で検索

手順 1：「デバイス管理 -- 自動検索」ページで、プロトコル種別を選択してデバイスを検索します（下図参照）。



注：Cloud CVMS は、プライベート、Hikvision、Dahua、ONVIF の各プロトコル種別の検索に対応しています。

3.1.2 ネットワークセグメントで検索

指定したネットワークセグメントを設定することで、IP アドレスがそのセグメント内にあるデバイスを検索します。

手順 1：「デバイス管理 -- 自動検索」ページで  アイコンをクリックすると「セグメント検索」画面が表示されます。必要に応じてネットワークセグメントを入力し、「検索」をクリックして検索を開始します。

The screenshot shows a 'Search by segment' dialog box. It has a title bar with a close button (X). Inside, there are two input fields. The first is labeled 'Start network segment:' and contains the text '172 . 20 . 57 . 10'. The second is labeled 'End network segment:' and contains the text '172 . 20 . 57 . 100'. At the bottom right, there is a blue button labeled 'Search'.

3.2 デバイスのアクティベート

検索したデバイスが未アクティブ状態の場合は、下図のようにデバイスをアクティベートします。

All equipment

Auto Search

Cloud Group

Custom Group

Share Devices

Accept sharing

protocol type:

Private

Batch Activate

	No.	Device Type	IP	Port	Media Port	Channel	Mac address	Version	Manufacturer	Active state	Cloud Status	ID	Operation
	1	N7208	172.20.57.143	80	0	8	38-24-F1-05-59-60	VC1.2.0.250...		Inactivated			

ボタンをクリックすると、下図のようにアクティベート操作のポップアップウィンドウが表示されます。

Edit device info

User

admin

Password

Confirm Pwd

DHCP

☐

IP

172.20.57.143

Mask

255.255.255.000

GateWay

172.020.057.001

☐ Same as recorder`s password

Camera Activation Password

Save

パスワードを設定してデバイスのアクティベーションを完了します。アクティベーション時にデバイスのネットワークパラメータも設定できます。複数のデバイスをアクティベートする場合は、複数のデバイスを選択し、ページ上部の「一括アクティベート」ボタンをクリックします。

Batch Activate

これにより、複数のデバイスをアクティベートできます。

注：パスワードはデバイスのパスワード規則を満たす必要があります。アクティベーションに成功すると、デバイスは自動的に Cloud CVMS に追加されます。

3.3 デバイスの追加

3.3.1 検索して追加

「デバイス管理 -- 自動検索」ページで「検索」ボタンをクリックして LAN 内のデバイスを検索します。検索結果から 1 つまたは複数のデバイスを選択し、「追加」ボタンをクリックして、ポップアップメニューにデバイスのユーザー名とパスワードを入力すると追加できます（下図参照）。

The screenshot shows a table of devices with columns: No., Device Type, IP, Port, Media Port, Channel, Mac address, Version, Manufacturer, Active state, Cloud Status, ID, and Operation. A red box highlights the 'Add Device' dialog box, which contains fields for 'User Name' and 'Password', and an 'Add' button.

No.	Device Type	IP	Port	Media Port	Channel	Mac address	Version	Manufacturer	Active state	Cloud Status	ID	Operation
4	P CAMERA	172.20.57.24	80	9688	1				No			+ /
5	P CAMERA	172.20.57.55	80	9688	1				No			+ /
6	P CAMERA	172.20.57.28	80	9688	1				No			+ /
7	CH228M2NN-DT-2812PW	172.20.57.30	80	9688	1				No			+ /
8	LKB343	172.20.57.41	80	9688	1				No			+ /

3.3.2 手動で追加

「デバイス管理 -- すべてのデバイス」ページで「追加」ボタンをクリックします。ポップアップページで、必要に応じて「通常モード」または「ダイナミッククラウド」を選択します。

1. 通常モードで追加（IP、P2P ID、DDNS によるデバイス追加に対応）

The screenshot shows the 'Add Device' dialog box with the 'Normal Mode' tab selected. The fields are filled with the following values:

- Device Name: N2208
- Login Type: IP
- IP: 172.20.57.143
- Protocol: Private
- Http Port: 80
- User Name: admin
- Password: (masked with dots)

Buttons at the bottom: Add, Cancel.

2. ダイナミッククラウドで追加（Cloud ID によるデバイス追加に対応。ダイナミックコードはデバイス側から取得する必要があります）

×

Normal Mode
Dynamic cloud

Cloud Group

My CCTV ▼

Cloud ID:

|

Dynamic Code:

デバイス管理ページでは、追加したデバイスに対して次の操作を行えます：

- (1) ：このアイコンをクリックすると「デバイスの編集」画面が表示され、デバイス名、ログイン種別、IP/P2P/ドメイン名、プロトコル、ポート、ユーザー名、パスワードなどのデバイス情報を編集できます。
- (2) ：このアイコンをクリックすると「リモート設定」ページが表示され、デバイスのパラメータをリモートで設定できます。
- (3) ：デバイスへの手動ログイン／ログアウト、および追加したデバイスの手動ログイン・ログアウトを行います。
- (4) ：デバイスを選択して「削除」をクリックします。
- (5) ：デバイスパラメータのエクスポート／インポート操作を行います。
- (6) ：デバイスを選択してこのボタンをクリックすると、アップグレード可能なファームウェアバージョンがあるかどうかを手動で確認できます。（このボタンは、オンラインアップグレードに対応したデバイスにのみ表示されます）
- (7) 接続状態：

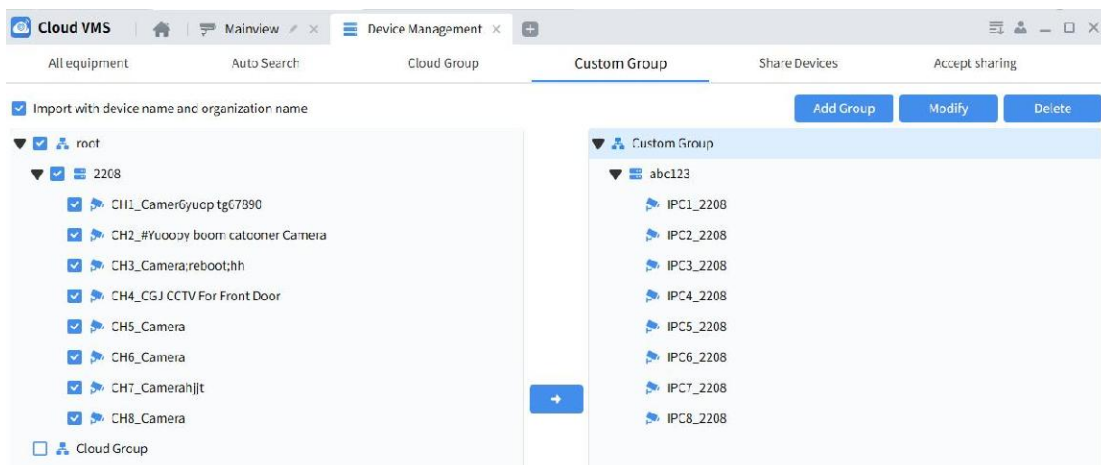
緑：デバイスの接続に成功

赤：未アクティブ。初期パスワードの設定が必要

グレー：デバイスの接続に失敗
- (8) ：デバイス P2P。をクリックするとデバイスの P2P を表示します（注：プライベートプロトコルのデバイスのみ対応）
- (9) ：検索ボックス。入力欄にデバイス名を入力すると、デバイスをすばやく検索できます
- (10) ：デバイスのアップグレード。アップグレードファイルを選択してデバイスをアップグレードします（注：最大 10 台まで同時にアップグレード可能）
- (11) ：オンラインデバイスを選択し、クラウドボタンをクリックしてクラウドグループを選択すると、デバイスをクラウドにアップロードします（注：通常モードでは、デバイスをクラウドにアップロードするにはクラウドアカウントへのログインが必要です。クラウドサービス機能に対応していないデバイスの場合、アップロード後にクラウド状態がクラウドに記録されます）
- (12) ：CVMS で追加したデバイスをエクスポートまたはインポートします。

3.4 カスタムグループ管理

「デバイス管理 - カスタムグループ」画面で、新しいカスタムグループを作成し、追加したデバイスのチャンネルを新しいグループに割り当てることで、特定のデバイスチャンネルを一元管理できます。



操作手順：

1. 「グループ追加」ボタンをクリックし、ポップアップメニューでグループ名を設定してグループを作成します。
2. 左側のリストでデバイスチャンネルを選択し、**+** ボタンをクリックして新しいグループにインポートします。

注：インポート時に「デバイス名と組織名をインポート」を選択しない場合、チャンネルはカスタムグループにインポートされ、組織にはインポートされません。

3.5 クラウドグループ管理

「デバイス管理 - クラウドグループ」ページで、グループの作成・共有・削除を行います。

The screenshot shows the 'Cloud Group' management page in Cloud VMS. It displays a table with the following data:

No.	Group Name	Group Type	Number of devices	Number of members	Operation
1	My CCTV	Default	8	2	
2	We test001	share	4	/	
3	habin 3963	share	2	/	
4	Open NVH 001	Owner	0	1	

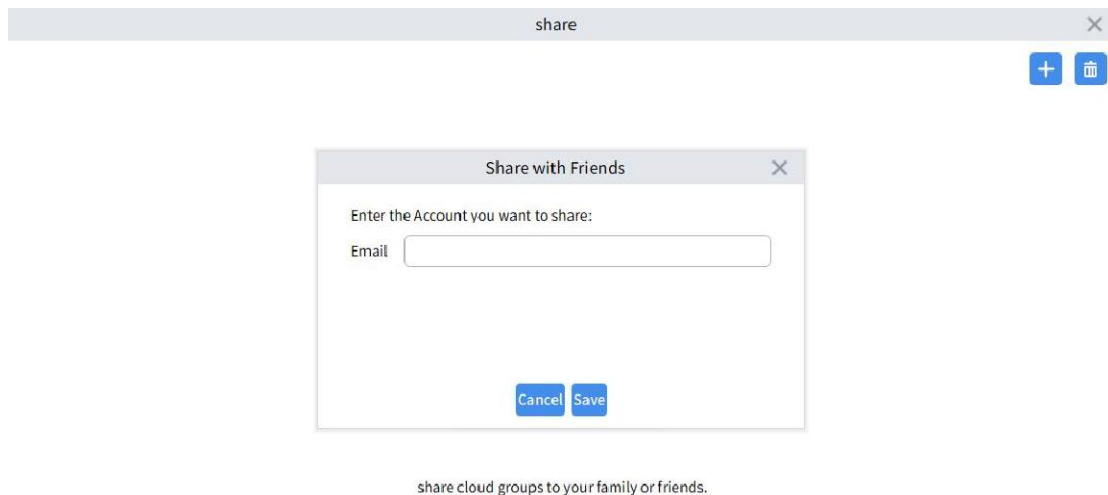
クラウドグループページには、3種類のグループがあります：

1. デフォルトグループ：グループは削除できませんが、名前は変更可能です。他のグループか

らデバイスを移動でき、グループは他のアカウントと共有できます。

2. カスタムグループ：デバイスが存在する場合は削除できません。グループ名の編集、他のグループからのデバイスの移動、このグループ内のデバイスの削除ができます。

3. デバイスの共有：他のアカウントから共有されたものは削除でき、グループ名は編集できます。共有機能に対応したグループを選択し、共有ボタン  をクリックして共有設定ページを開き、 をクリックして、ポップアップメニューに共有先アカウントを入力すると、グループの共有を開始します。



共有先アカウントについては、アカウントのニックネームの変更やアカウントの削除ができます。



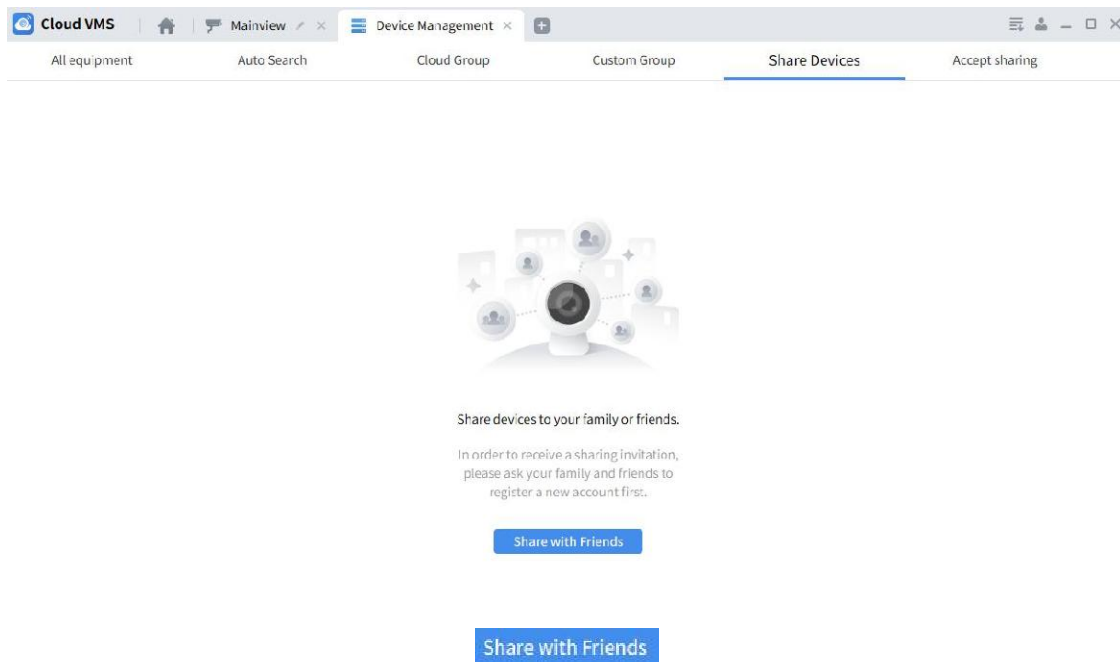
注：

1. グループ共有機能は、現在のクラウドアカウントに存在するグループの共有のみに対応しています（他のアカウントから共有されたグループは共有できません）。

2. 共有先アカウントを削除すると、その共有先アカウントが受け取ったグループとデバイスも同時に削除されます。

3.6 デバイスの共有

「デバイス管理 - デバイスの共有」 ページで、デバイスの共有と削除を行います。



「デバイスの共有」 ページで共有アイコンをクリックすると「友だちと共有」の設定ページが表示されます。共有するデバイスとチャンネルを選択し、操作権限を設定して共有します。

Share with Friends

Please select the device(s) you want to share:

☒ IP CAMERA

☒ NT98539G-SC500AI-5MP

☒ N2208

1234

12345678

Select the permissions granted to the share account:

☒ Live View☒ PlayBack☒ Talk☒ Message☒ PTZ Control

Enter the Account you want to share:

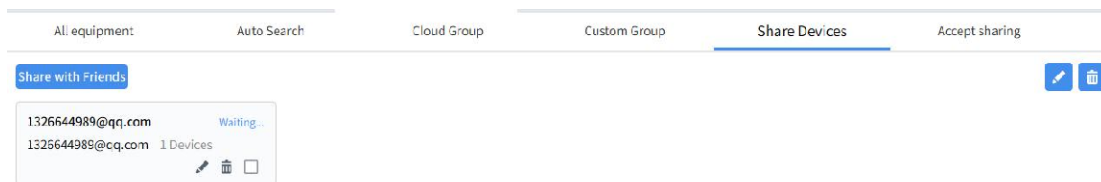
Email

Cancel

Save

共有先アカウントについては、ニックネームの変更、権限の変更、アカウントの削除ができま

す。

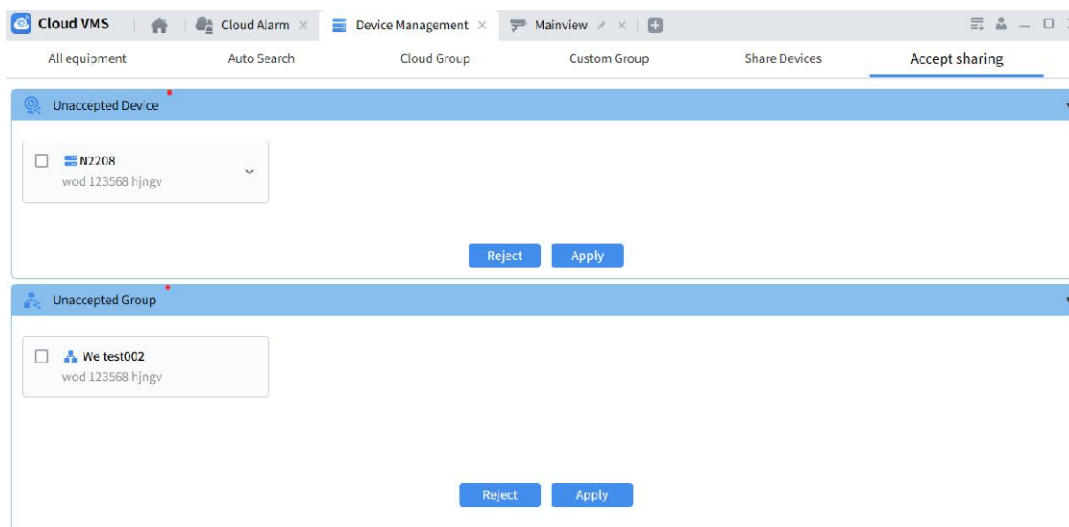


注：

1. デバイス共有機能は、現在のクラウドアカウントでクラウドにアップロード済みのデバイスの共有のみに対応しています。
2. 共有先アカウントを削除すると、その共有先アカウントが受け取ったデバイスも同時に削除されます。

3.7 共有の受け入れ

「デバイス管理 - 共有の受け入れ」ページで、他のアカウントから共有されたグループやデバイスを受け入れる、または拒否します。



注：受け取った招待について、デバイスの全チャンネルまたは一部のチャンネルを選択して受け取れます。受け取ったデバイスについては、チャンネルやデバイスの削除、共有アカウントのニックネームの変更ができます。

N2208

wod 123568 hjngv

Device Information

Email

3830117419@qq.com

Nickname

wod 123568 hjngv

Cameras

☒

Camera Name 1

☒

Camera Name 2

☐

Camera Name 3

☐

Camera Name 4

☒

Camera Name 5

☒

Camera Name 6

☐

Camera Name 7

☐

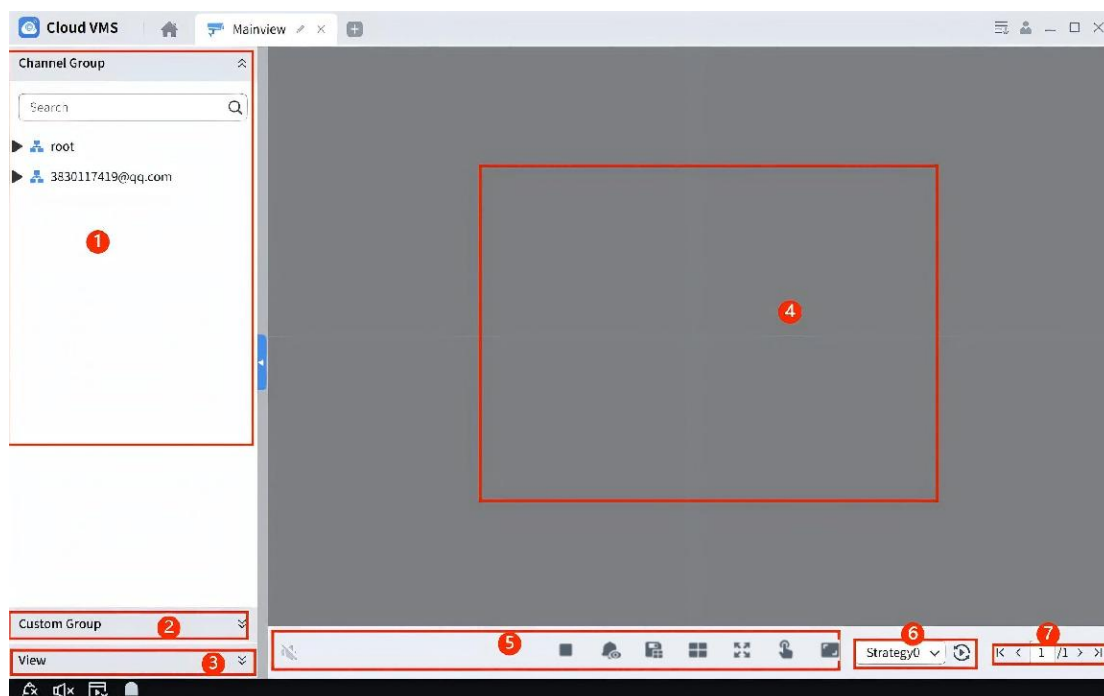
Camera Name 8

Delete

Apply

第4章 メインビュー

4.1 画面の説明



「メインメニュー」で「メインビュー」を選択すると、プレビュー画面が表示されます。機能の説明は次のとおりです。

1. **root** グループ：このグループには、IP、P2P ID、DDNS で追加したデバイスが表示されます。
アカウントグループ：このグループには、現在のクラウドアカウントに紐づくデバイスが表示されます。
2. **カスタムグループ**：「カスタムグループ」をクリックすると展開され、そのグループに追加したデバイスをプレビューできます。具体的なデバイスの追加方法は [3.4](#) を参照してください。
3. **ビュー**：複数のデバイスチャンネルを同時にプレビューするには、下のボタンをクリックすると、現在のプレビューウィンドウのチャンネルをビューに保存でき、次回そのまま呼び出せます。
4. **プレビューウィンドウ領域**：デバイスまたはチャンネルを選択してこの領域にドラッグすると、そのチャンネルをプレビュー・制御できます。
5. **プレビュー操作領域**：

 : 音声の制御  : メイン／サブストリームの切り替え  : すべてのウィンドウのプレビューを停止  : 警告灯のオン／オフ  : 暖色ライトのオン／オフ  : アラームのオン／オフ  : プライバシーモードのオン／オフ  : プレビュー画面からアラームおよびビデオのラベルを消去  : クリックするとプレビューレイアウトページが開き、プレビューレイアウトを最大5つまでカスタマイズできます  : 全画面表示  : プレビューの保存  : クリックすると画面表示比率の設定ページが開き、4種類の画面表示比率を設定できます：

ストレッチ、16:9、4:3、元の比率

6. チャンネルの巡回プランを設定している場合は、この領域でプランを選択すると巡回を開始できます。

7. 現在のウィンドウレイアウトでプレビューチャンネルがすべて表示されない場合は、ここで別のプレビューページに切り替えます。

4.2 ライブプレビュー

カメラ映像をリアルタイムで表示し、ローカル録画、スクリーンショット、音声インターホン、電子ズームなどの操作に対応します。

1. プレビュー操作 プレビュー状態では、チャンネル下部および右クリックメニューで次の操作を行えます：

 手動録画：プレビュー映像を手動で録画し、ローカルコンピューターに保存します  手動キャプチャ：プレビュー画面をキャプチャし、画像をローカルコンピューターに保存します  電子ズーム：マウス左ボタンをクリックすると、プレビュー画面内の選択領域を拡大します  チャンネルインターホン：クリックするとフロントエンドカメラと通話します（カメラがインターホン機能に対応している必要があります）  デバイスインターホン：クリックするとデバイスと通話します（デバイスがインターホン機能に対応している必要があります）  タグ：特定のイベントにタグを付けて、後で検索しやすくします  即時再生：既定では現在時刻の10分前からの録画を再生します。再生時間はシステム設定で変更できます  PTZ 制御：アイコンをクリックすると PTZ 操作ページが開き、デバイスの視野角を調整できます。

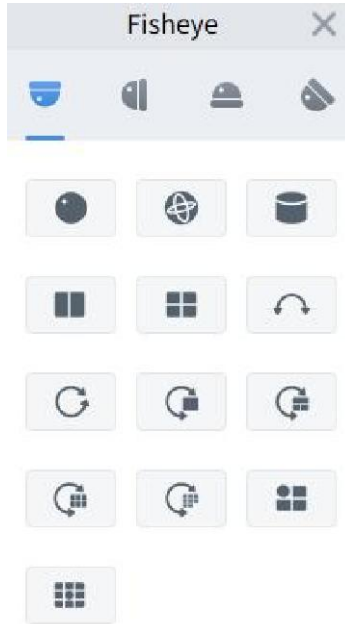
Video setting

2. 映像設定：プレビューチャンネルを選択して右クリックすると、映像パラメータ設定メニューが開きます。このメニューでは、チャンネル名、日付・時刻、画像の色パラメータを設定できます。

3. 魚眼モード：魚眼カメラのチャンネルに接続し、設置方法に応じて対応するビューを選択します。プレビューまたは再生の



ウィンドウで「」をクリックするか、右クリックして選択すると、下図のように魚眼メニューが開きます。



カメラの実際の設置状況に応じて対応するモードを選択します。選択したモードでは、さまざまなビューを操作し、複数の角度からプレビューできます。

天井／壁／床設置●：原画像。すなわち補正されていない元の画像です。

天井設置：独立したサブ画面です。サブ画面は拡大・移動操作に対応します。

天井／床設置：

 VR モード。ダブルクリックで入ると、画面は拡大・移動操作に対応します。

 **円筒モード。**マウスを上下にドラッグすると円筒画面を平面表示に切り替えます。画面は上下左右のドラッグ操作に対応します  **4**つの独立したサブ画面。サブ画面は拡大・移動操作に対応します。

🕒 2P：関連付けられた 180° の矩形展開画面が 2 つあります。2 つのサブウィンドウは常に 360° パノラマを形成し、「ダブルパノラマ」とも呼ばれます。2 つの矩形展開画面はいずれも起点の左右移動操作に対応し、互いに連動します。

G1P: 360° の矩形展開パノラマ。 矩形展開パノラマは移動操作に対応します。

🔄 : 1P+1. 360° の矩形パノラマ+独立したサブ画面 1 つ。サブ画面および矩形パノラマ内の

サブフレームは拡大・移動操作に対応します。矩形パノラマ自体は拡大・移動操作に対応しません。

 : 1P+3。360° の矩形パノラマ+独立したサブ画面 3 つ。サブ画面および矩形パノラマ内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。矩形パノラマ自体は拡大・移動操作に対応しません。

 : 1P+6。360° の矩形パノラマ+独立したサブ画面 6 つ。サブ画面および矩形パノラマ内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。矩形パノラマ自体は拡大・移動操作に対応しません。

 : 1P+8。360° の矩形パノラマ+独立したサブ画面 8 つ。サブ画面および矩形パノラマ内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。矩形パノラマ自体は拡大・移動操作に対応しません。

天井／床設置：

 : 1+3。原画像+独立したサブ画面 3 つ。サブ画面および原画像内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。原画像は拡大操作に対応します。

 : 1+8。原画像+独立したサブ画面 8 つ。サブ画面および原画像内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。原画像は拡大操作に対応します。

壁設置：

 VR モード。ダブルクリックで入ると、画面は拡大・移動操作に対応します。

 1P。パノラマを左から右へ 360° の矩形に展開し、垂直方向の視野角を変更します。拡大・移動操作には対応しません。

 4。独立したサブ画面が 4 つ。サブ画面は拡大・移動操作に対応します。

 1P+3。360° の矩形パノラマ+独立したサブ画面 3 つ。サブ画面および矩形パノラマ内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。矩形パノラマは垂直方向の視野角を変更し、拡大・移動操作には対応しません。

 1P+8。360° の矩形パノラマ+独立したサブ画面 8 つ。サブ画面および矩形パノラマ内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。矩形パノラマは垂直方向の視野角を変更し、拡大・移動操作には対応しません。

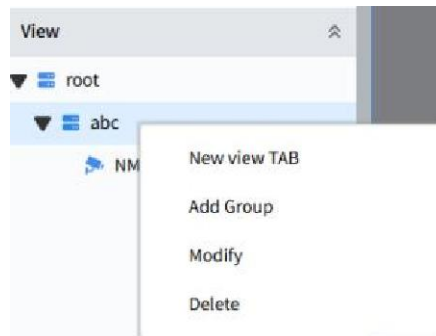
 1+3。原画像+独立したサブ画面 3 つ。サブ画面および原画像内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。原画像は拡大・移動操作に対応します。

 1+8。原画像＋独立したサブ画面 8 つ。サブ画面および原画像内のサブフレームは拡大・移動操作に対応します。原画像は拡大・移動操作に対応します。

4.3 ビュー設定

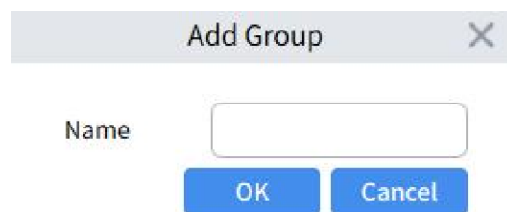
View

プレビュー画面でクリックするとビューページが表示され、カスタムビューの設定・表示ができます。



1. グループの追加：

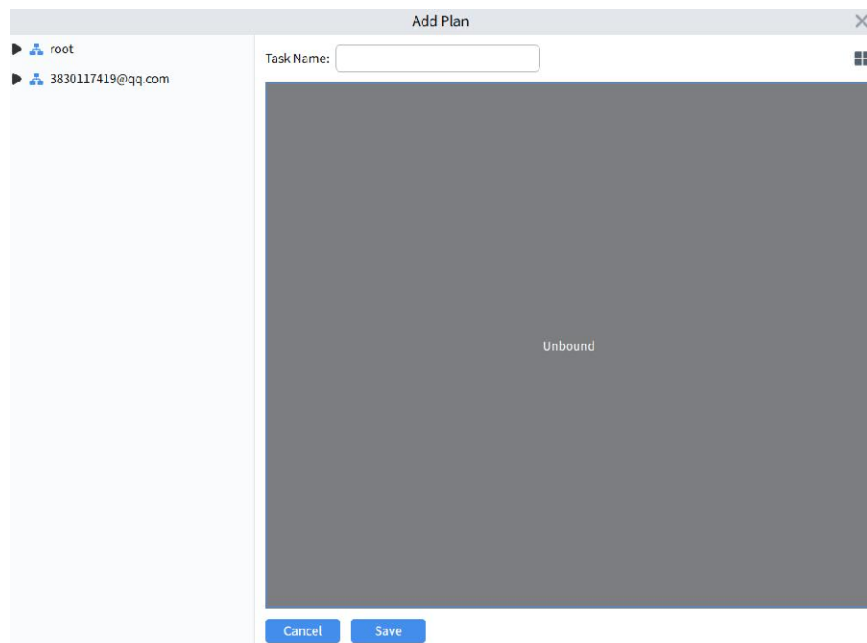
ビュータブのルートで右クリックすると、右クリックメニューが表示されます。グループはルートにのみ追加できます。図のように「グループの追加」を選択します。



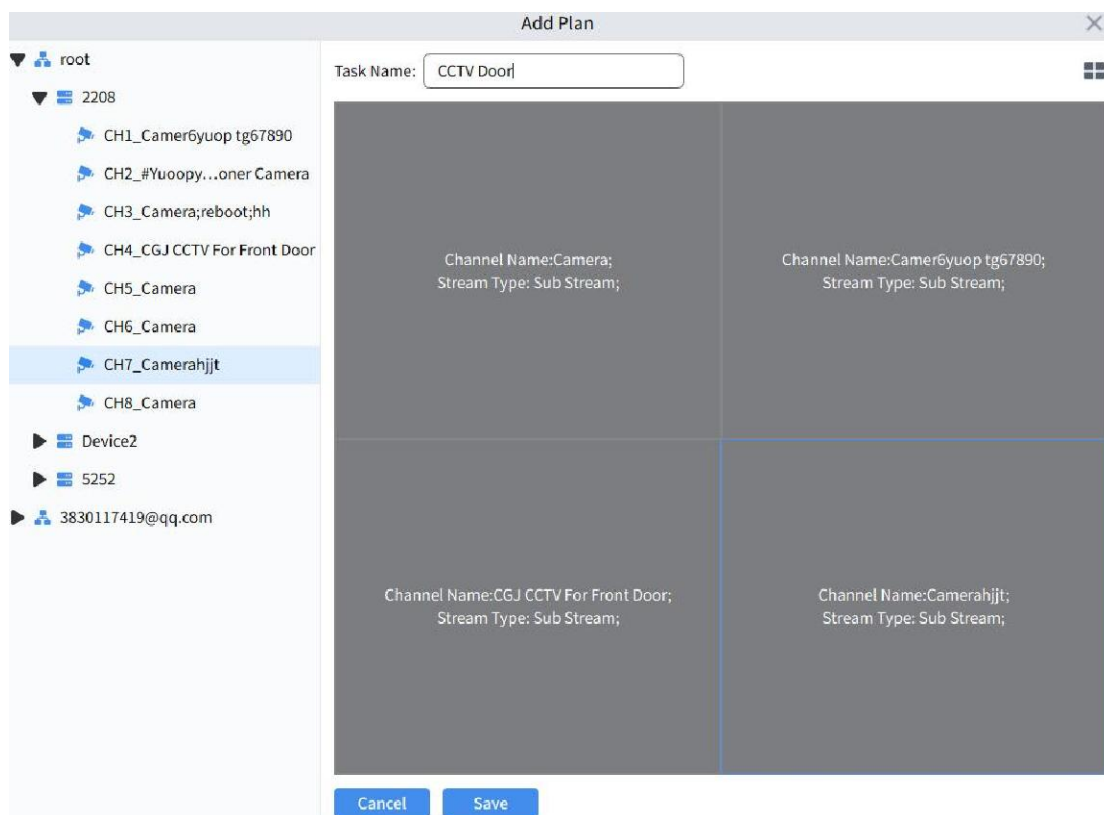
カスタム名を編集し、「OK」をクリックしてグループを作成します。

2. プランの追加：

カスタムで追加したグループを右クリックし、「新規ビュータブ」を選択すると、図のようにプラン設定画面が開きます。



右上隅でをクリックして必要な分割画面を選択し、左側のデバイスリストからチャンネルを選んでビューウィンドウにドラッグして保存します。



3. ビュータブの変更または削除：

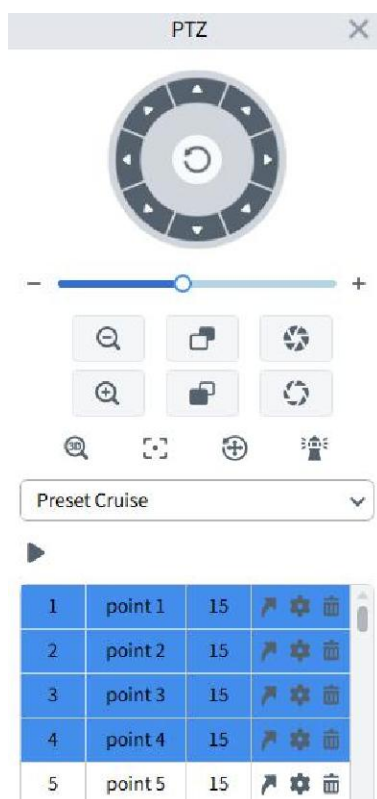
ビュータブのディレクトリで「変更」を選択すると、ビュータブまたはグループを変更できます。

ビュータブのディレクトリで「削除」を選択すると、ビュータブまたはグループを削除できます。

4. ビュータブのプレビュー切り替え ビュータブをいくつか追加した後、ビュータブをダブルクリックすると、プレビュービューをすばやく切り替えられます。

4.4 PTZ 制御

プレビュー画面でをクリックすると PTZ 制御パネルが表示されます。接続するカメラによって、PTZ が対応する機能は異なる場合があります。ここでは PTZ カメラを例に説明します：



1. 3D 測位：3D 測位機能のオン／オフを切り替えます。「」をクリックすると 3D 測位がオンになります。オンにするとボタンが「」に変わります。もう一度ボタンをクリックすると 3D 測位が停止します。システムが 3D 測位機能をオンにしているときは、次の操作を行います。

プレビュー画面上の任意の場所をマウス左ボタンでクリックすると、ネットワーク高速ドームが該当ポイントを映像の中央に移動します。

左ボタンを押したまま右下方向に矩形領域を描くと、ネットワーク高速ドームがその中心を映像の中央に移動し、拡大します。

左ボタンを押したまま左上方向に矩形領域を描くと、ネットワーク高速ドームがその中心を映像の中央に移動し、縮小します。

2. PTZ リセット：ワンキーリセット。このボタンをクリックすると、ネットワーク高速ドームがプリセットポイントと巡回経路をクリアします。

3. ワンキーウォッチ。クリックするとワンキーウォッチを 1 回実行します。この機能は機種に依存します。

4. ネットワーク高速ドームでウォッチ機能をオンにしており、設定したウォッチ待機時間を過ぎても制御信号が届かない場合、ネットワーク高速ドームは自動的にプリセット動作を実行します。

巡回モードとして「ウォッチモード」を選択します。

時間間隔を設定します：ネットワーク高速ドームを手動で回転させた場合、20 秒待ってからウォッチ動作を再開します。15～240 秒の範囲で選択できます。

ウォッチモードを選択します：デフォルト巡回、プリセットポイント、直線スキャン、トラック巡回、パターンスキャンのオプションがあります。

注：同時に存在できるウォッチポイントは 1 つだけです。

デフォルト巡回：巡回呼び出しボタンをクリックすると、デバイスが途切れることなく 360° を反時計回りに等速回転します。

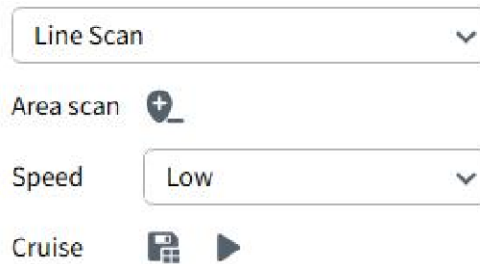
保存ボタンを使うと、ネットワーク高速ドームはウォッチ機能をオンにせずに設定パラメータを保存できます。巡回ボタンをオンにすると、設定パラメータを保存し、ウォッチ機能をオンにできます。

ウォッチモードは下図のとおりです。

The image shows a configuration interface for 'Watch Mode'. It consists of several labeled input fields and two action buttons. The 'Watch Mode' dropdown is set to 'Watch Mode'. The 'Time Interval' dropdown is set to '20s'. The 'Mode' dropdown is set to 'Watch Point Set'. The 'Number' dropdown is set to '1'. There is a 'Cruise' button with a right-pointing triangle icon, and a 'Save' button with a floppy disk icon.

Watch Mode	▼
Time Interval	20s ▼
Mode	Watch Point Set ▼
Number	1 ▼
Cruise	▶
Save	💾

5. 直線スキャン：巡回モードとして「直線スキャン」を選択し、📍をクリックしてデバイスの現在位置を開始位置として記録します。デバイスを回転させ、📍終了ボタンをクリックして、デバイスの現在位置を終了位置として記録します。「保存」ボタンをクリックすると、高・中・低の3段階の巡回速度を保存できます。「巡回」ボタンをクリックすると、デバイスが2点間を等速で巡回します。直線スキャンのページは下図のとおりです。



The image shows a control panel for the 'Line Scan' mode. At the top is a dropdown menu labeled 'Line Scan' with a downward arrow. Below it is the 'Area scan' option with a plus icon. The 'Speed' is set to 'Low' in a dropdown menu. At the bottom, the 'Cruise' option is shown with a save icon and a play button icon.

6. トラック巡回：設定したトラックに従って巡回します。同時に4つのトラックを設定でき、各トラックで32個のプリセットポイントを選択できます。プリセットポイントごとに巡回の間隔時間を設定できます。

巡回モードとして「ツアー」を選択します。



The image shows a dropdown menu for selecting a track. The label 'Track' is to the left of the dropdown, which currently displays the number '1' and a downward arrow.

トラックを選択してプリセットポイントを追加し、



The image shows the controls for 'Track 1'. The label 'Track 1' is on the left. To its right are four icons: a plus sign (+), a cross (X), an up arrow (↑), and a down arrow (↓).

各トラックにプリセットポイントを追加・削除し、上下ボタンでプリセットポイントの順序を移動します。巡回時に異なるプリセットポイント間を切り替える速度と時間間隔を選択し、「保存」ボタンをクリックすると、デバイスは巡回を開始せずにパラメータを保存します。「巡回」ボタンをクリックすると、デバイスはパラメータを保存し、追加したプリセット位置の順に巡回します。プリセットポイント巡回のページは下図のとおりです：

Tour ▼

Track 1 ▼

Track 1 + × ↑ ↓

Preset	Speed	Time(S)
1 ▼	3 ▼	20 ▼
1 ▼	3 ▼	20 ▼

Cruise 📄 ▶

7. パターンスキャンとは、あらかじめ設定した経路に従ってスキャンする機能で、ネットワーク高速ドームの水平・垂直方向の動き、ズーム操作などの動作を記録します。記録して保存した後、ユーザーはパターンスキャンのルートを直接呼び出せます。ネットワーク高速ドームは4つのパターンスキャン経路（番号1～4）の設定に対応し、各パターンスキャン経路に保存機能を提供します。

巡回モードとして「パターンスキャン」を選択します。

Track 1 ▼

経路を選択して、

Record ▶

録画開始をクリックし、デバイスで任意の PTZ 操作を行った後、録画停止をクリックします。

Cruise ▶

録画が完了したら、巡回呼び出しをクリックすると、デバイスは記録した内容に従って巡回します。

Delete 🗑

録画が完了したら、削除ボタンをクリックすると、デバイスは対応する番号のパターンスキャン経路を削除します。パターンスキャンのページは下図のとおりです。

Pattern Scan 

Track 1 

Record 

Cruise 

Delete 

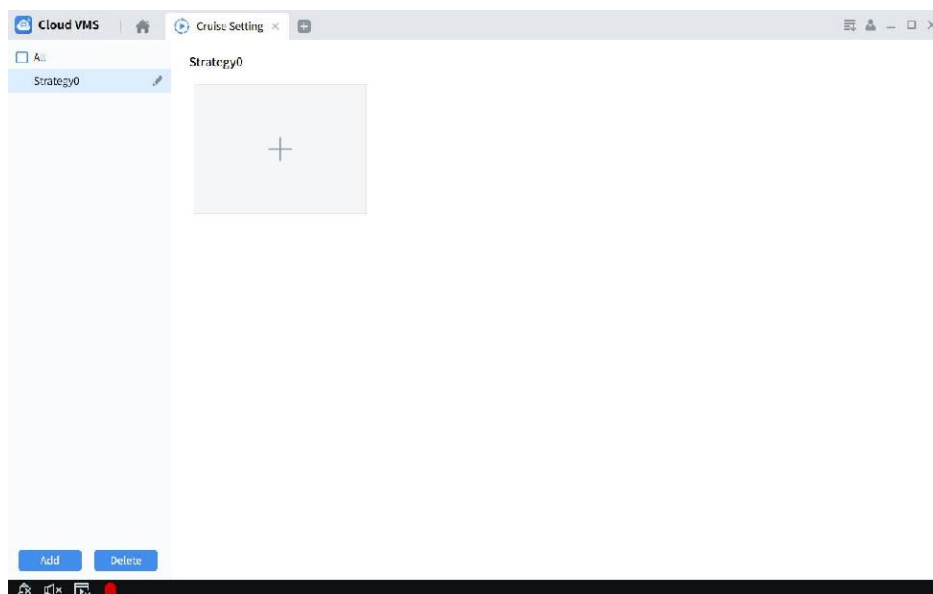
第 5 章 クルーズ設定

巡回プランを設定することで、プレビューウィンドウの巡回機能を実現できます。

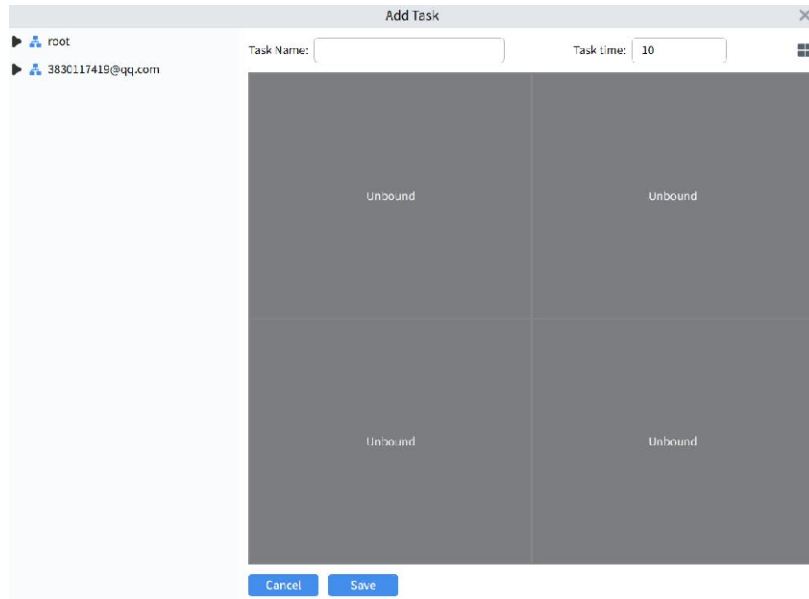
5.1 巡回プランの設定

手順 1: 「メインメニュー」で「クルーズ設定」をクリックすると、図のようにクルーズ設定画面が表示されます。

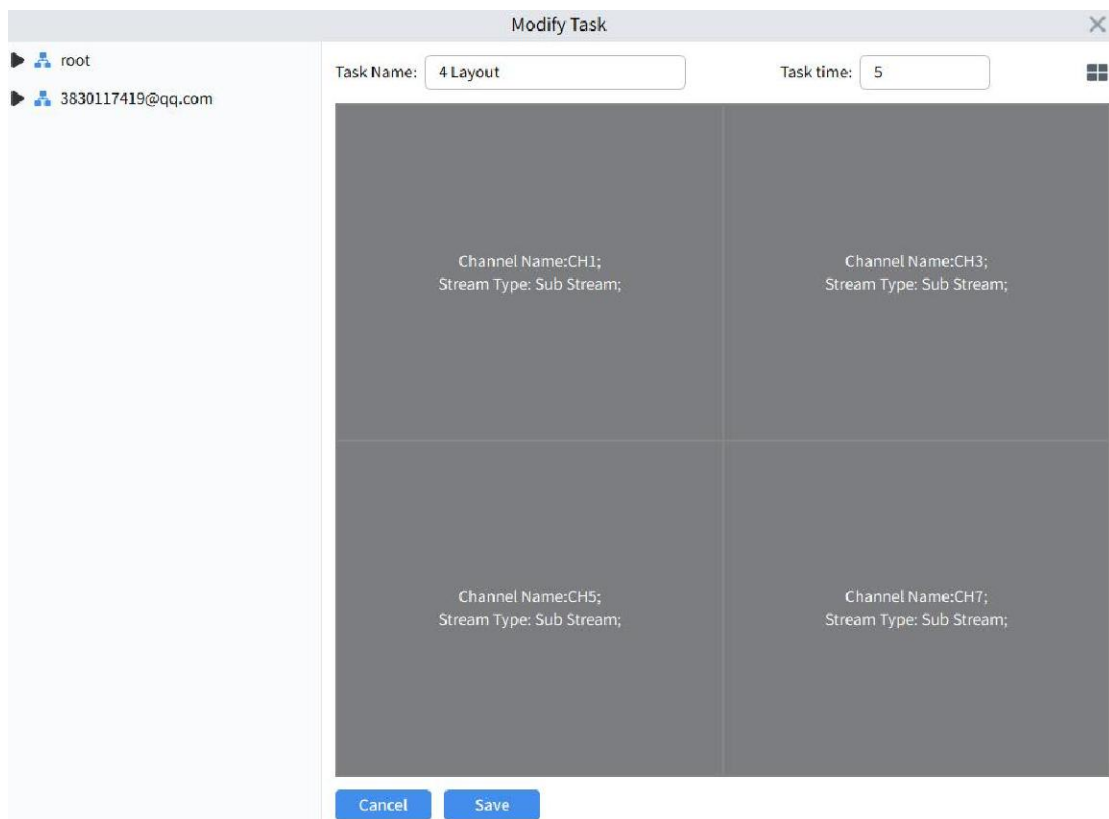
デフォルトでは、システムは「Strategy0」という名前の巡回プランを作成します。巡回プラン名を変更する場合は、 をクリックしてプラン名を変更します。



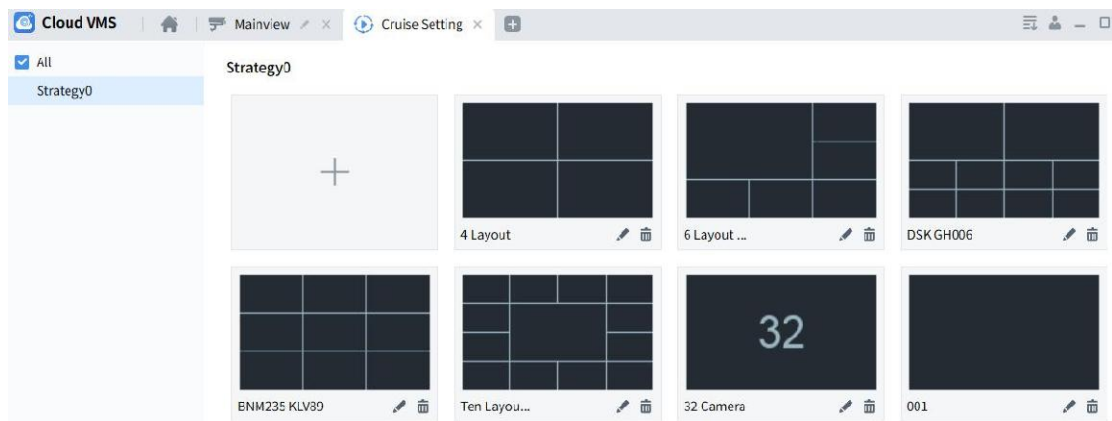
手順 2: 巡回プランを設定します（1 つの巡回プランで最大 16 のプレビューレイアウトを設定できます）。(1)  をクリックして「タスクの追加」画面を開きます。(2) 「タスク名」と「タスク時間」を設定し、実際の必要に応じてプレビューウィンドウの数を設定します。



(3) 必要な順序でデバイスのチャンネルを映像ウィンドウにドラッグします（図参照）。

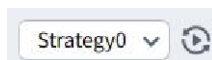


(4) 「保存」をクリックすると巡回プランの設定が完了します（図参照）。



5.2 クルーズの開始

手順 1: 「メインメニュー」で「メインウィンドウ」を選択すると、プレビュー画面が表示されます。

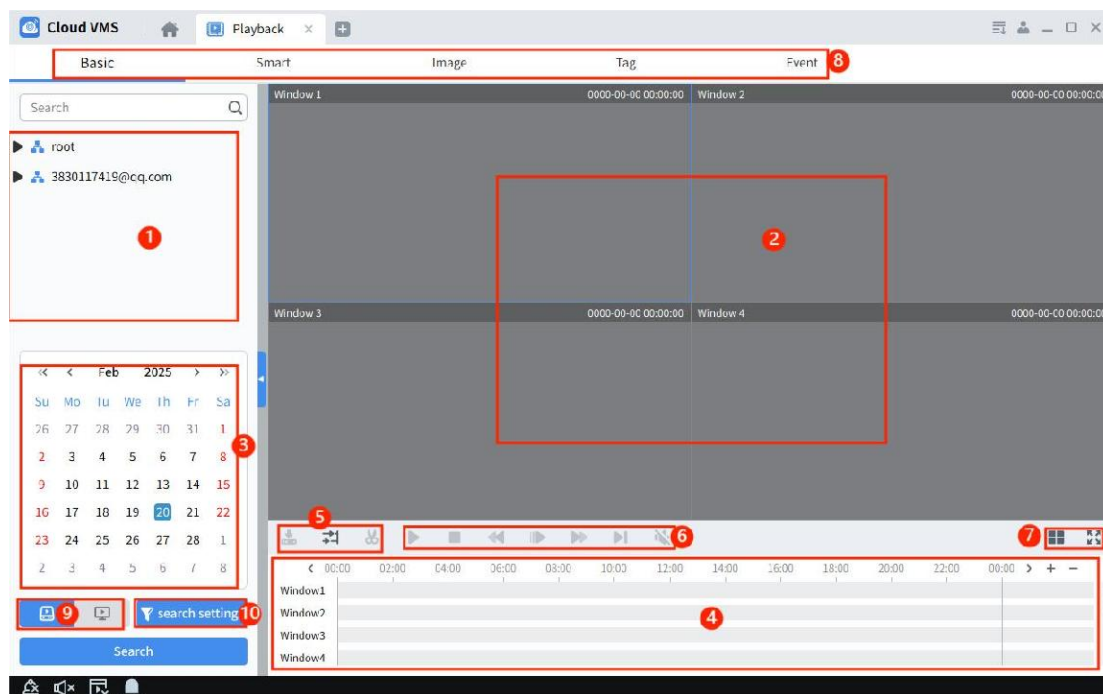


手順 2: 画面下部で巡回プランを選択します（例：）。手順 3:  をクリックして巡回を開始します。

第 6 章 再生

6.1 再生の概要

「メインメニュー」で「再生」を選択すると、再生画面が表示されます。デバイスの映像や画像の再生・エクスポートに対応しています（図参照）。



画面の機能は次のとおりです。

1. 再生チャンネル：再生したいチャンネルにチェックを入れ、「検索」をクリックすると、対応するチャンネルの映像を検索して再生します。
2. 再生ウィンドウ：映像の再生表示領域です。



Capture

スナップショット：再生ウィンドウを選択し、クリックまたは右クリックで 1 枚の画像をキャプチャします。電子ズーム：録画がオンの映像ウィンドウを選択してクリック。再生停止：再生中の映像ウィンドウを選択してクリック



Stop Play

 または右クリックで選択します。録画：再生中の映像ウィンドウを選択してクリックまたは



Start record

右クリックで選択します。魚眼モードの有効化：再生中の映像ウィンドウを選択してクリック  または



右クリックで選択します（魚眼モードに対応したデバイスでのみ利用可能）。



全画面表示：クリック  または右クリックで選択します。タグの追加：クリック  すると再生中にタグを追加します。スクリーンショット：スクリーンショットボタン  をクリックすると、マウスカーソルがスクリーンショットアイコンに変わります。再生ボックス内でマウス左ボタンをクリックしてドラッグすると、スクリーンショットを取得できます。

3. 照会時間：デバイス映像の照会時間を設定します。

4. 時間進捗ボックス： ：再生進捗バーの精度が高くなります。

 ：再生進捗バーの精度が低くなります。   ：進捗バーの表示領域を移動します。

5. ダウンロード・同期・切り出し。

必要に応じて、録画のダウンロード、切り出し、エクスポートを行います。

デバイス映像のダウンロード：7.3「デバイス映像のエクスポート」を参照してください。デバイス映像の切り出し：進捗バー上で切り出し開始点をドラッグし、映像を選択します。

同期再生：複数のチャンネルを選択し、同期再生ボタンをクリックしてから「再生」をクリックすると、すべてのチャンネルを同期して再生できます。

6. 再生コントロールバー  同期再生：再生するチャンネルが複数ある場合、このボタンをクリックしてから「再生」をクリックすると、すべてのチャンネルを同時に再生します。

 再生開始  逆再生  一時停止  再生停止  1 フレーム送り再生  早送り再生  音声のオン／オフ  魚眼モードで再生  スロー再生

7. ウィンドウ制御：

 必要な映像ウィンドウの表示モードと数を選択します  映像ウィンドウの全画面表示モード

8. 再生タイプ

9. 再生モード：デバイス録画とローカル録画のいずれかを選択します。



10. 検索設定：クリックすると、検索対象のストリームとアラーム種別を選択できます。

6.2 デバイス映像の再生

前提条件：

選択したチャンネルのデバイスに録画があること。

手順：

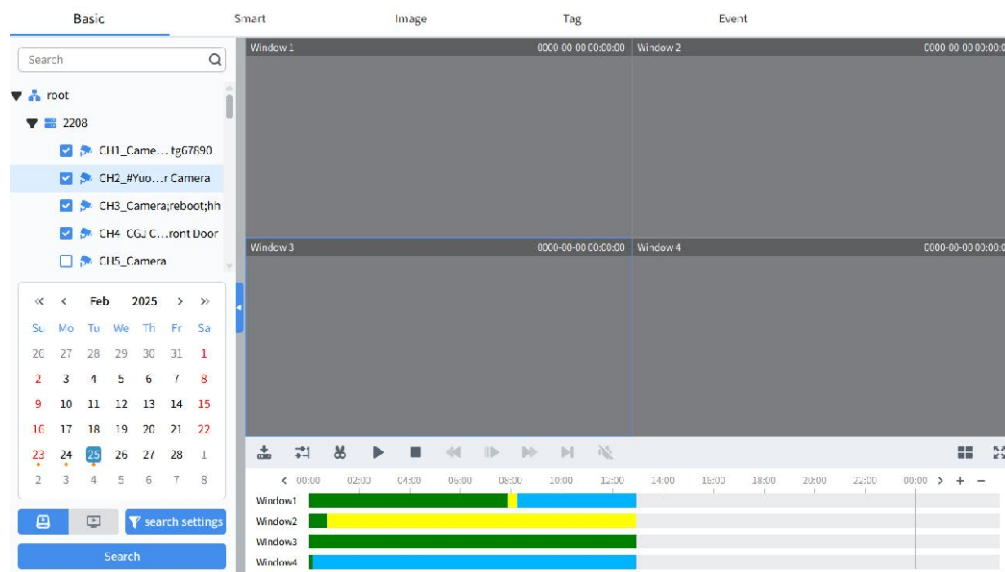
手順 1：「再生」画面で  を選択します。手順 2：「デバイスグループ」でデバイスチャンネルを選択します。

手順 3：映像の照会条件を設定します。

1. 録画種別とビットレートを選択し、日付と時刻を選択します。

2. 「検索」をクリックすると、時間進捗ボックスに録画情報が表示されます。

手順 4：映像のあるウィンドウを選択し、 をクリックすると、映像の再生が始まります（図参照）。



6.3 デバイス映像のダウンロード

前提条件：

デバイスのチャンネルに録画があること。

(1) カスタム切り出しとダウンロード：

手順 1: 「再生」画面でを選択します。手順 2: 「デバイスグループ」でデバイスチャンネルを選択します。

手順 3: 映像の照会条件を設定します。

1. 録画種別とビットレートを選択し、時刻を設定します。
2. 「検索」をクリックすると、時間進捗ボックスに録画情報が表示されます。

手順 4: クリックして映像進捗バーで映像を選択し、次にクリックすると、図のようにメニューが表示されます。

Download record file

Start Time:

00:00:00

End Time:

00:30:00

Format

☒ AVF ☐ AVI ☐ MP4

Select size: Disk Free size:

950.49M 550.48G

Download directory:

D:/CVMS/CVMS/video

OK

手順 5: エクスポートする映像形式と保存先を選択して確定し、映像をダウンロードに追加してからクリックしてダウンロードメニューを開き、「ダウンロードの進捗」を確認します。

下図のとおりです。

Download

The file will be downloaded in path of saved videos.

D:/CVMS/CVMS/video

Open file location

Downloading

Completed

|| ▶



4146_8_2208_Camer6yuop tg67890_0_20250225000000.i
00:30:00 2025-02-25 00:00:00 69% || 🗑

(2) デバイスファイル時刻でダウンロード：

手順 1：「再生」画面でを選択します。手順 2：「デバイスグループ」でデバイスチャンネルを選択します。

手順 3：映像の照会条件を設定します。

1. 録画種別とビットレートを選択し、時刻を設定します。
2. 「検索」をクリックすると、時間進捗ボックスに録画情報が表示されます。

手順 4：映像のあるウィンドウを選択し、再生コントロールツールのをクリックすると、その日のチャンネルの全映像クリップが表示されます（図参照）。

Download record file

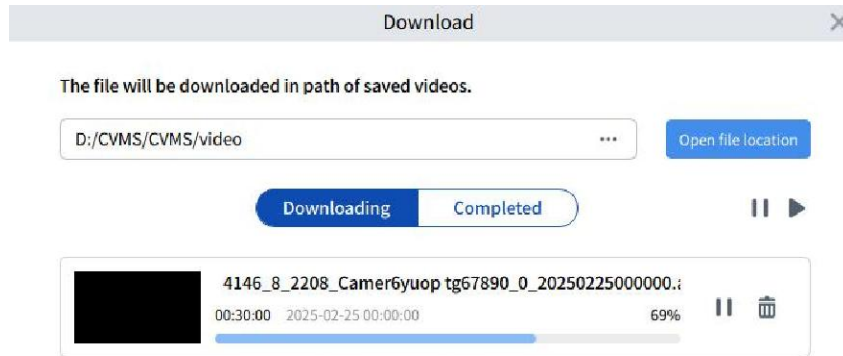
CH2

☐	Start time	End time	Size	Status
☐ 1	2025-02-25 00:00:00	2025-02-25 00:17:09	520.82M	No download
☐ 2	2025-02-25 00:17:09	2025-02-25 00:50:06	999.75M	No download
☐ 3	2025-02-25 00:50:06	2025-02-25 01:23:02	999.85M	No download
☐ 4	2025-02-25 01:23:02	2025-02-25 01:55:58	999.73M	No download
☐ 5	2025-02-25 01:55:58	2025-02-25 02:28:55	999.93M	No download
☐ 6	2025-02-25 02:28:55	2025-02-25 03:01:52	999.79M	No download
☐ 7	2025-02-25 03:01:52	2025-02-25 03:34:48	999.63M	No download
☐ 8	2025-02-25 03:34:48	2025-02-25 04:07:45	999.75M	No download
☐ 9	2025-02-25 04:07:45	2025-02-25 04:40:41	999.77M	No download
☐ 10	2025-02-25 04:40:41	2025-02-25 05:13:37	999.75M	No download
☐ 11	2025-02-25 05:13:37	2025-02-25 05:46:34	999.78M	No download

Select size: 0M
Disk Free size: 549G
☒ AVF ☐ AVI ☐ Mp4
Download directory: D:/CVMS/CVMS/video

Download

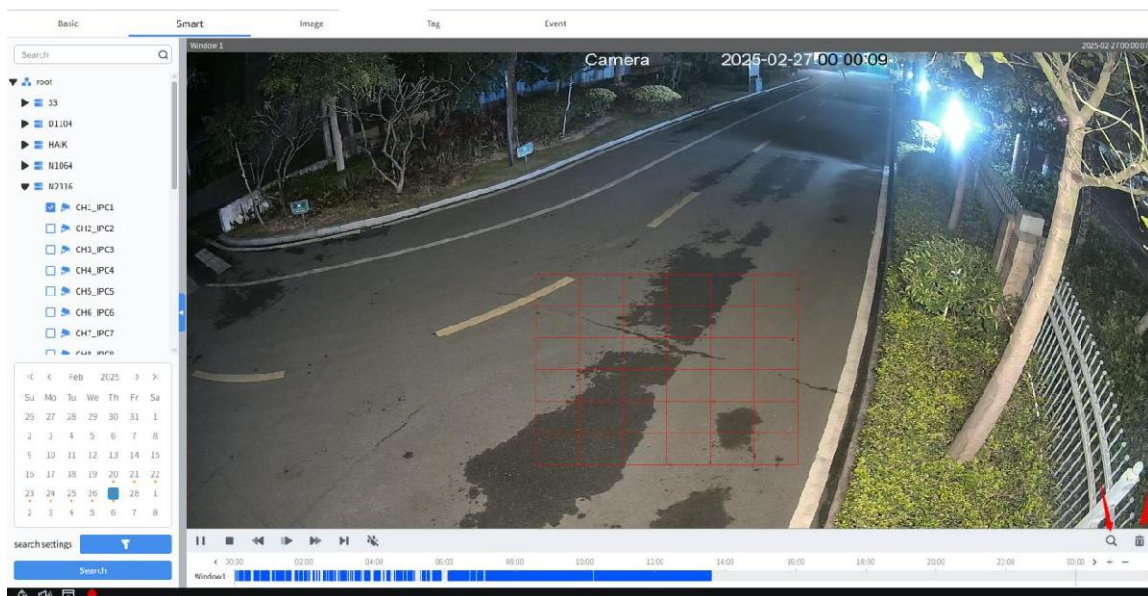
手順 5：ダウンロードが必要な時間帯にチェックを入れ、エクスポートする映像形式と保存先を選択して確定し、映像をダウンロードに追加してからクリックしてダウンロードメニューを開き、「ダウンロードの進捗」を確認します。下図のとおりです。



注：ダウンロード時に AVF 形式を選択すると、映像を暗号化できます。専用プレーヤーで再生する際は、正しいパスワードを入力する必要があります。

6.4 スマート検索再生

「メインメニュー」で「再生」を選択すると、スマート再生画面が表示されます。検索・再生するチャンネルを選択します。タイムライン上で映像がある領域は青色で表示されます。再生中に、再生画面上でマウス左ボタンをクリックして枠をドラッグし、関心のある領域を選択します。クリック🔍すると選択領域内の動体映像を検索します。クリック🗑️すると選択領域を削除します。



注：スマート再生機能は、一度に1つのチャンネルのみ操作できます。

6.5 画像検索とバックアップ

前提条件：

選択したデバイスチャンネルに、デバイス側およびローカルにスクリーンショットがあること。

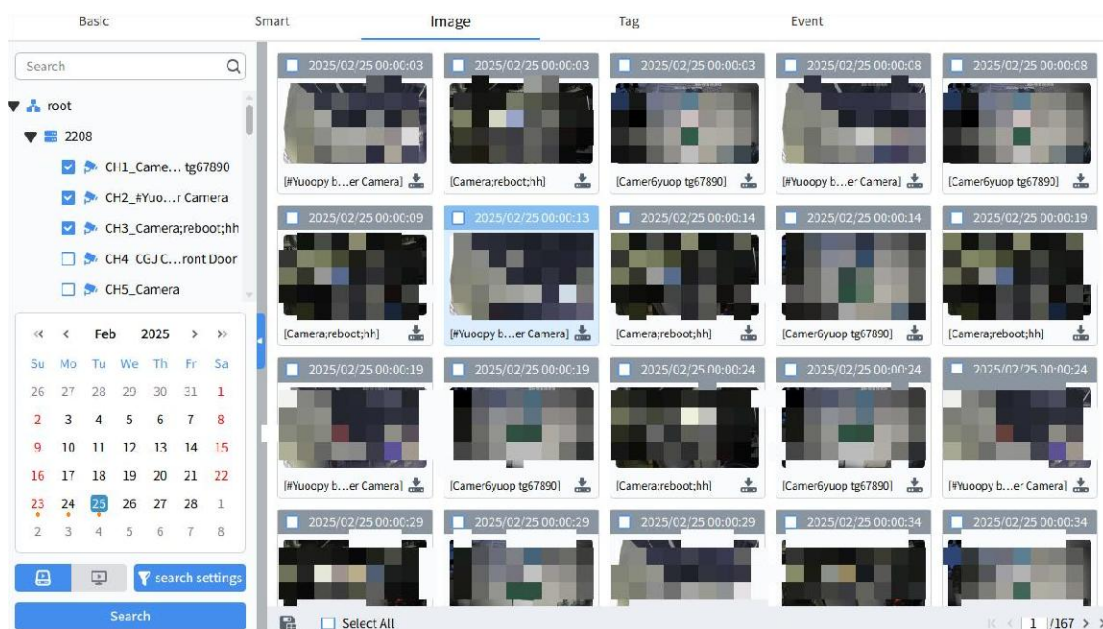
手順：

手順 1：「再生」画面で「画像」ページを選択します。手順 2：「デバイスグループ」でデバイスチャンネルを選択します。



手順 3：画像の照会条件を設定します。

1. 検索場所（デバイスまたはローカル）、画像種別を選択し、時刻を設定します。
2. 「検索」をクリックします（図参照）。



を選択するとデバイスに保存されたスクリーンショットを検索します。 を選択するとローカルに保存されたスクリーンショットを検索します。

画像表示ウィンドウで、検索した画像の右下隅にある をクリックすると、検索した画像を指定したディレクトリに保存します。

検索した画像を選択または一括選択し、クリック すると、画像を一括して保存先ディレクトリに保存します。

注：

1. ローカル検索で見つけた画像は削除できます。
2. 画像の保存先は、メインメニューの「システム設定」で設定できます。

6.6 タグ再生

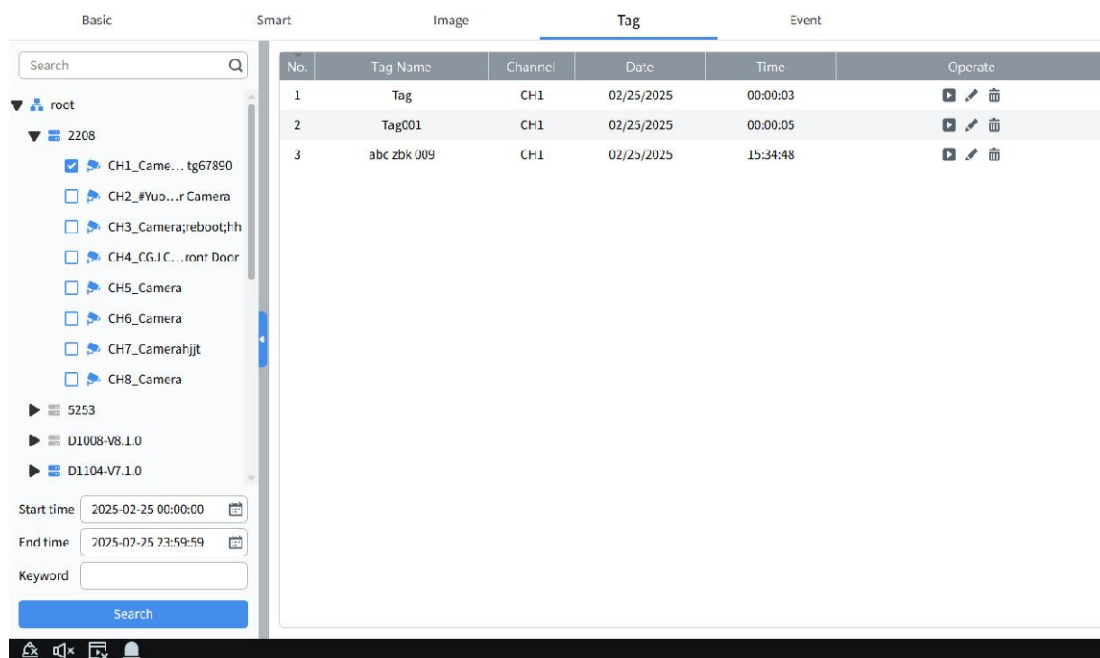
前提条件：

プレビューまたは再生中に、関心のある時点にマークが付けられていること。

手順 1：「再生」画面で「タグ」タブを選択します。

手順 2：「デバイスグループ」でデバイスチャンネルを選択します。

手順 3：検索時刻とキーワードを設定し（キーワードが空の場合はすべてを検索）、「検索」をクリックします。検索結果は右側のウィンドウに表示されます（下図参照）。



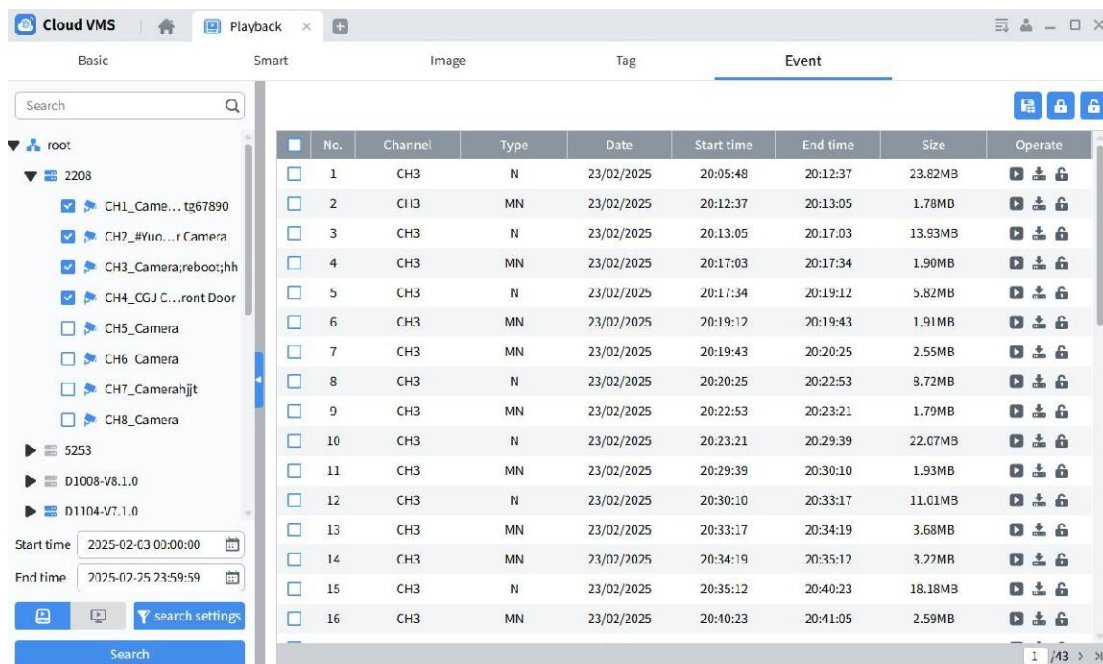
見つかったタグイベントを選択し、クリック▶するとタグイベントを再生します。クリック✎するとタグ名を変更します。クリック🗑するとタグを削除します。

6.7 イベント再生

手順 1：「再生」画面で「イベント再生」を選択します。

手順 2：「デバイスグループ」でデバイスチャンネルを選択します。

手順 3：開始時刻と終了時刻を設定し、検索場所（デバイスまたはローカル）を指定して「検索」をクリックすると、検索結果が下図のように表示されます。



🔍 を選択するとデバイスに保存されたイベントを検索します。🖥️ を選択するとローカルに保存されたイベントを検索します。

検索したイベントを選択してクリック🔍するとイベントを再生します。クリック🔒すると録画イベントをロックし、上書きされないようにします。クリック⬇️/📄すると、選択した録画ファイルをダウンロードします。

注：

1. ローカル検索で見つけたイベントは削除できます。
2. イベントの保存先は、メインメニューの「システム設定」で設定できます。

第7章 ログ検索

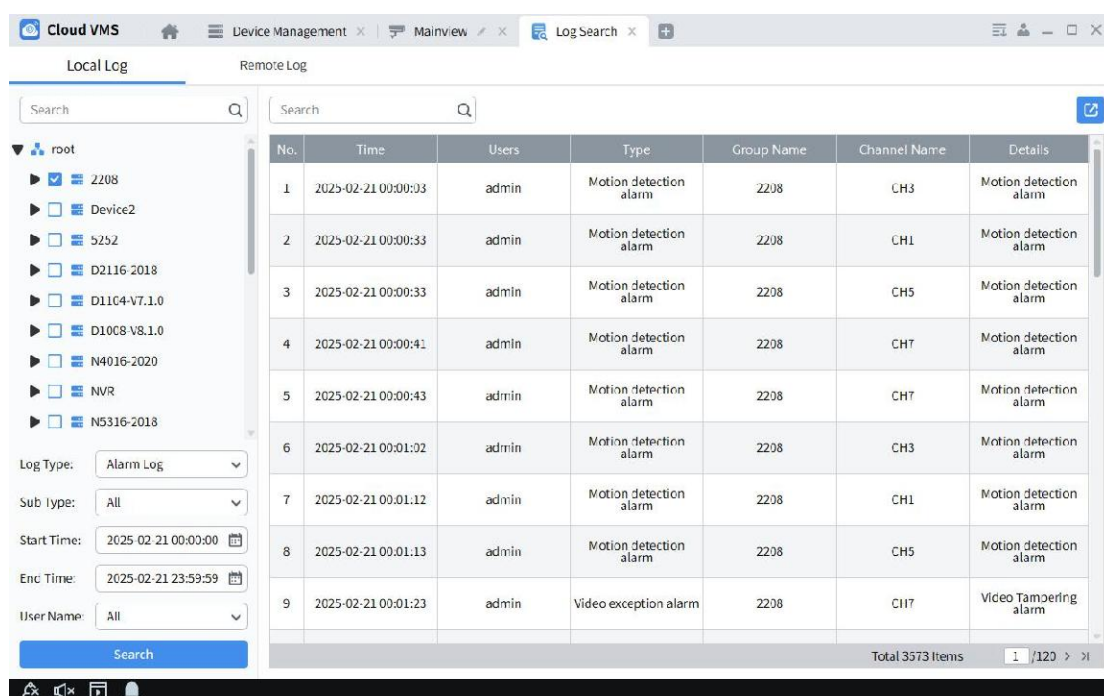
7.1 クライアントログの検索

手順1：メインメニューで「ログ検索」を選択し、ログ照会画面を開きます。

手順2：「ローカルログ」を開きます。

手順3：検索するデバイスを選択し、実際の必要に応じて検索条件を設定します。アラームログ、システムログ、操作ログを含むローカルクライアントのログを検索します。

手順4：「検索」をクリックして検索を開始します。システムにクライアントログの検索結果が表示されます（図参照）。



注：検索したログは、ページのエクスポートボタンでパスを設定し、指定したディレクトリに保存できます。

7.2 リモートデバイスログの照会

手順1：メインメニューで「ログ検索」を選択し、ログ照会画面を開きます。

手順2：「リモートログ」ページを開きます。

手順3：検索するデバイスを選択し、実際の必要に応じて検索条件を設定します。検索できるデバイスログには、システムログ、設定ログ、アラームログ、ユーザーログ、ビデオログ、ストレージログ、インテリジェントログがあります。

手順 4: 「検索」をクリックして検索を開始します。システムにデバイスログの検索結果が表示されます（図参照）。

The screenshot displays the 'Log Search' window in the Cloud VMS application. The interface includes a sidebar with a tree view of device logs, a search bar, and a table of results. The table columns are: No., Time, Type, Device Name, Channel Name, Details, Is there a video, and Log Info. The results show a series of alarm events from device 2208, including motion and video tampering alerts. The bottom status bar indicates 'Total 2078 Items' and shows the current page is 1 of 770.

No.	Time	Type	Device Name	Channel Name	Details	Is there a video	Log Info
1	02/21/2025 00:00:16	Alarm	2208	CH3	Motion End	has record	
2	02/21/2025 00:00:19	Alarm	2208	CH3	Motion Start	has record	
3	02/21/2025 00:00:19	Alarm	2208	CH7	Motion End	has record	
4	02/21/2025 00:00:26	Alarm	2208	CH7	Motion Start	has record	
5	02/21/2025 00:00:26	Alarm	2208	CH7	Video Tampering End	has record	
6	02/21/2025 00:00:37	Alarm	2208	CH7	Video Tampering Start	has record	
7	02/21/2025 00:00:53	Alarm	2208	CH7	Motion End	has record	
8	02/21/2025 00:00:56	Alarm	2208	CH7	Motion Start	has record	
9	02/21/2025 00:01:19	Alarm	2208	CH11	Face Detection Alarm End	has record	

注：検索したログは、ページのエクスポートボタンでパスを設定し、指定したディレクトリに保存できます。

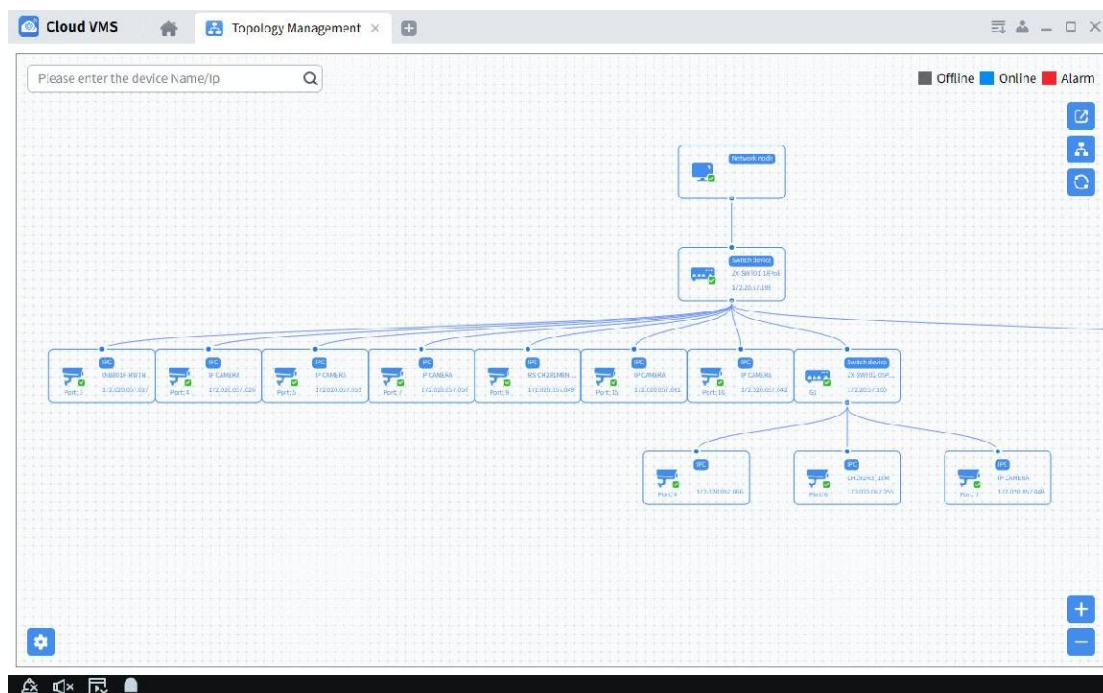
第 8 章 トポロジー管理

軽量管理型の PoE スイッチを管理し、ネットワークトポロジーを表示するために使用します。この機能を使用するには、スイッチがクライアントに正常に追加され、オンラインになっていることを確認してください。

トポロジー表示画面で、クライアントが追加したデバイス間のトポロジー関係を確認し、関連する設定操作を行います。

8.1 関連操作

Cloud CVMS のメインページで「トポロジー管理」をクリックすると、トポロジー表示画面が開きます。



画面の説明

- 左上隅にデバイスのエイリアスまたは IP を入力すると、対応するトポロジーマップを表示できます。
- 右上隅には、アイコンの色の意味が表示され、トポロジーマップのエクスポート・更新、経路の表示ができます。
- 右下隅でトポロジーマップを拡大・縮小できます。マウスホイールで直接拡大・縮小することもできます。
- 左下隅でトポロジーマップの表示レベルを設定します。

説明：

トポロジーマップ表示画面を初めて開いたときにトポロジーマップが表示されない場合は、「更新」をクリックして再試行してください。

関連する操作／アイコンは次のとおりです。

デバイスをダブルクリック：デバイスの詳細を表示し、デバイス種別、IP、パネル状態、ポート情報を表示します。

デバイスを右クリック：

- (1) デバイス状態の確認：「デバイス状態」画面に移動します。詳細はデバイス状態を参照してください。
- (2) アラーム処理の実行：アラームおよびイベント情報を表示し、アラームの消去操作を行います。
- (3) リモート設定の実行：「リモート設定」画面に移動します。
- (4) デバイス名の変更：トポロジー画面でのデバイスの表示名を変更します。
- (5) ルートノードとして設定：現在のデバイスをトポロジーマップのルートノードに設定します。
- (6) デバイスのアップグレード：デバイスに接続された NVR/DVR/ネットワークカメラのアップグレードに対応します。



トポロジーマップのエクスポート：エクスポート先を選択して、現在のトポロジーマップをエクスポートします。



経路の表示：ネットワークカメラと現在のデバイスを選択すると、選択したデバイス間の経路を表示します。



トポロジーマップの更新：トポロジーマップ画面を更新して表示します。

8.2 トポロジー設定

手順：画面左下隅の  をクリックして、トポロジーマップの簡単な設定を行います。

- トポロジーマップの表示階層数を設定：1～10
- 「OK」をクリックして設定を保存します。



説明：

設定を変更した後は、「更新」をクリックすると最新のトポジーマップが表示されます。

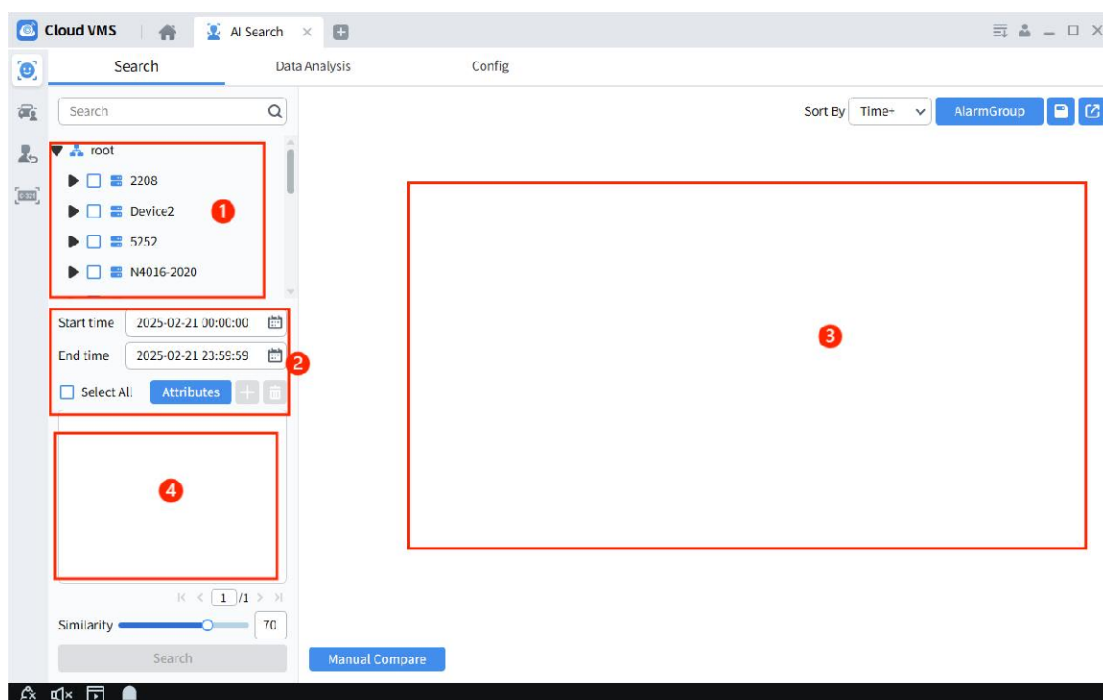
第9章 AI 検索

AI 検索ページでは、デバイスの顔、歩行者・車両、ナンバープレート、リピーターのデータを検索・集計・設定できます。

9.1 顔

9.1.1 顔検索

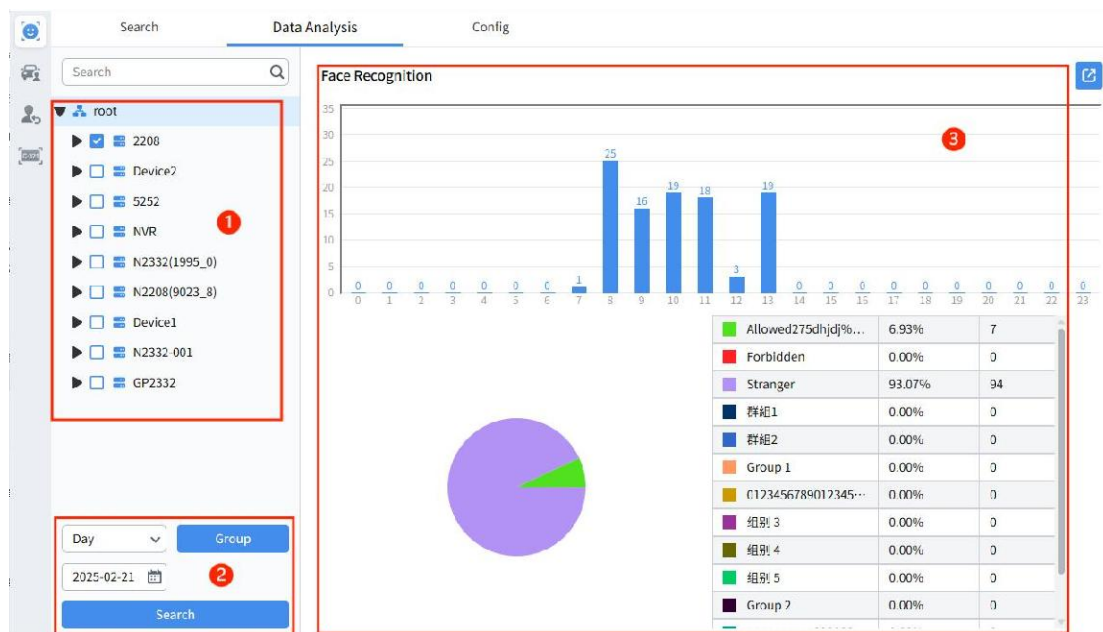
メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「顔 --- 検索」を選択します（図参照）。



1. デバイス領域：検索に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：検索する期間と特定の属性を設定します。
3. 検索結果表示領域：設定した条件で検索された顔画像を表示します。
4. 画像で検索：この領域でローカルまたはデバイスの顔画像を追加し、類似度を設定して検索します。

9.1.2 顔統計

メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「顔 --- データ分析」を選択します（図参照）。



1. デバイス領域：検索に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：検索範囲、日付、顔グループを設定します。
3. 検索結果表示領域：設定した条件で見つかった顔統計を表示します。

9.1.3 顔設定

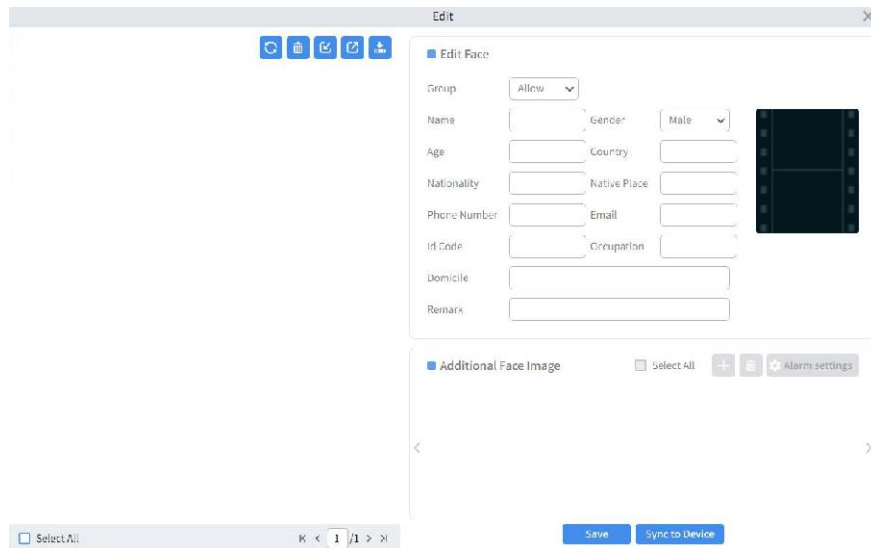
メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「顔 --- 設定」を選択します（図参照）。

	Group Name	Delete	Edit	Enable
Green circle	Allow			☒
Red circle	Forbidden			☒
Purple circle	Stranger			☒
Green circle	Group 1			☒
Green circle	Group 2			☒
Green circle	Group 3			☒

1. デバイス領域：設定に対応するデバイスを表示します。
2. 顔グループ操作領域：顔グループの追加・変更・削除を行います。

注：デバイスには最大 16 個の顔グループを追加できます。デフォルトの 3 グループ「許可リスト」「禁止リスト」「見知らぬ人」は削除できません。

顔グループを選択して  ボタン をクリックすると、図のように顔グループ設定ページが開きます。



 ボタン をクリックすると、下図のようにインポート方法の選択メニューが表示されます。



デバイス画像：デバイスがキャプチャした顔画像を検索し、選択して指定したグループにインポートします。

ローカル画像：ローカルディレクトリに保存された顔画像を選択し、指定したグループにインポートします。

ローカル画像ディレクトリ：ローカルに顔画像が保存されているディレクトリを選択し、指定したグループに一括インポートします。

 現在のグループの顔画像を選択し、「エクスポート」ボタンをクリックして、ローカルの保存先を選択すると、顔画像をローカルコンピューターにエクスポートします。

 「インポートテンプレートのダウンロード」をクリックし、ローカルの保存先を選択すると、インポートテンプレートをローカルコンピューターにダウンロードします。テンプレート

ファイルの指示に従って編集した後、「ローカル画像」で.csv ファイルを直接インポートすると、画像と関連情報を一括アップロードできます。

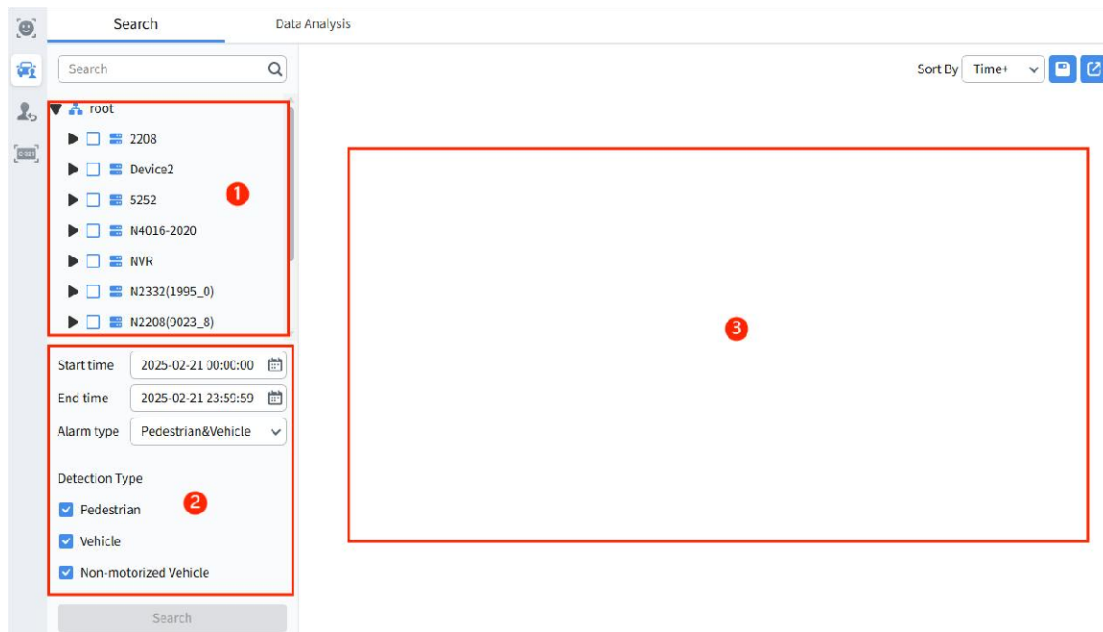
 現在のグループの顔画像を選択し、「削除」ボタンをクリックすると、現在のグループ内の選択した画像を削除します。

 「更新」をクリックすると、現在のグループを更新します。

9.2 歩行者と車両

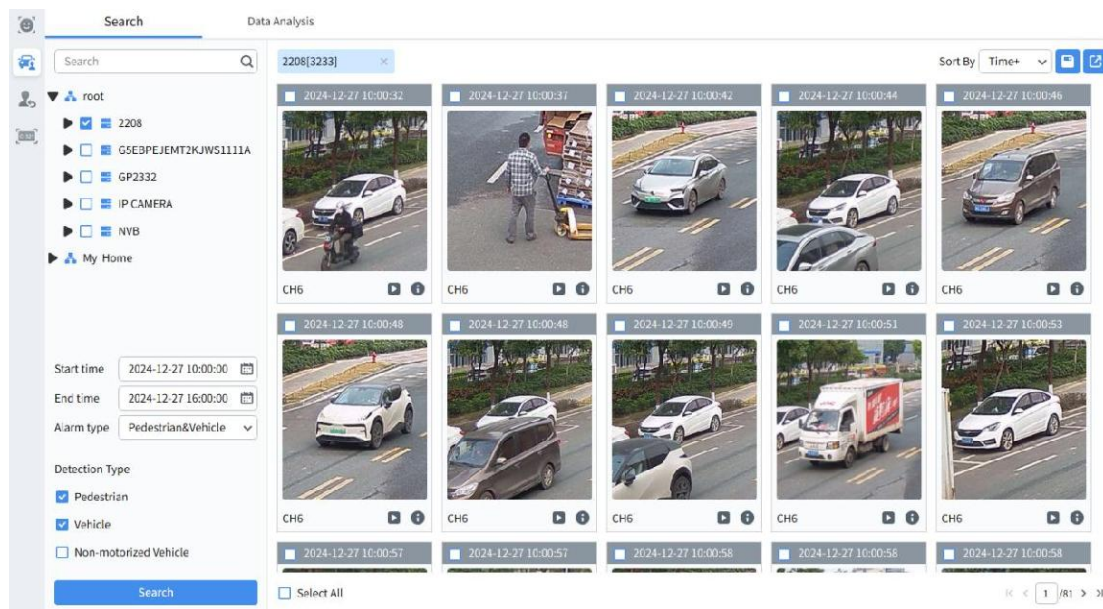
9.2.1 歩行者・車両検索

メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「歩行者・車両 --- 検索」を選択します（図参照）。



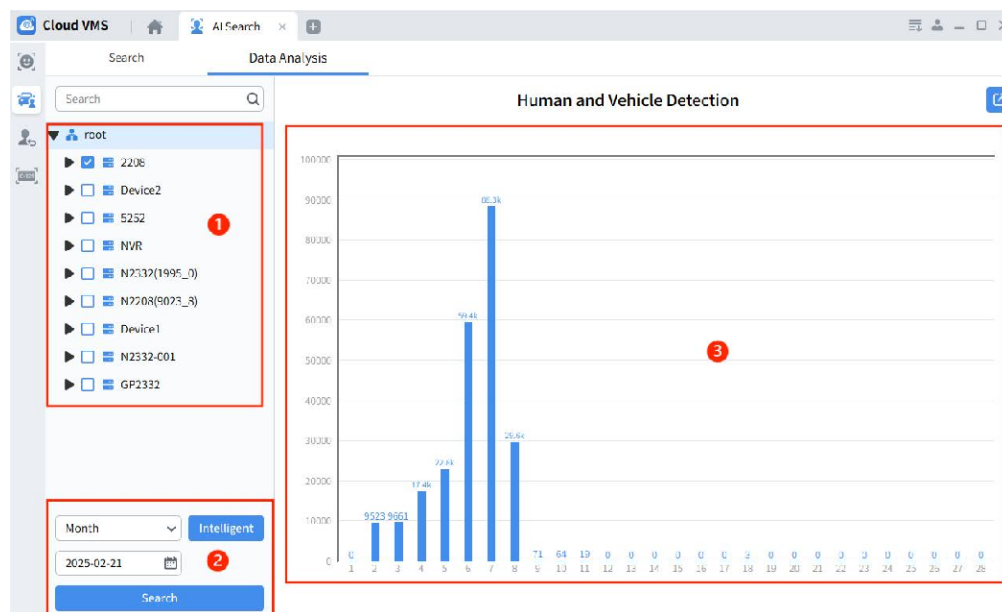
1. デバイス領域：検索に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：検索期間、アラーム種別、検知種別を設定します。
3. 検索結果表示領域：設定した条件で見つかったスクリーンショットを表示します。

検索した歩行者・車両イベントを選択し、クリック  するとイベントの詳細を表示します。クリック  するとイベントを再生します。クリック  すると映像をエクスポートします。クリック  すると歩行者・車両の画像をエクスポートします。



9.2.2 歩行者・車両統計

メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「歩行者・車両 --- データ分析」を選択します（図参照）。



1. デバイス領域：検索に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：検索範囲、日付、スマート種別を設定します。
3. 検索結果表示領域：設定した条件で見つかった歩行者・車両の統計を表示します。

 をクリックすると、データ分析結果をローカルにエクスポートします（注：データは Excel

形式で保存されます）。

Start time	End time	ion[Pedestrian]&Line Crossin	Device Name
2025-02-01 00:00:00	2025-02-01 23:59:59	0	2208
2025-02-02 00:00:00	2025-02-02 23:59:59	9523	2208
2025-02-03 00:00:00	2025-02-03 23:59:59	9661	2208
2025-02-04 00:00:00	2025-02-04 23:59:59	17403	2208
2025-02-05 00:00:00	2025-02-05 23:59:59	22818	2208
2025-02-06 00:00:00	2025-02-06 23:59:59	59494	2208
2025-02-07 00:00:00	2025-02-07 23:59:59	88344	2208
2025-02-08 00:00:00	2025-02-08 23:59:59	29608	2208
2025-02-09 00:00:00	2025-02-09 23:59:59	71	2208
2025-02-10 00:00:00	2025-02-10 23:59:59	64	2208
2025-02-11 00:00:00	2025-02-11 23:59:59	19	2208
2025-02-12 00:00:00	2025-02-12 23:59:59	0	2208

9.3 リピーター検索

メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「リピーター検索」を選択します（図参照）。

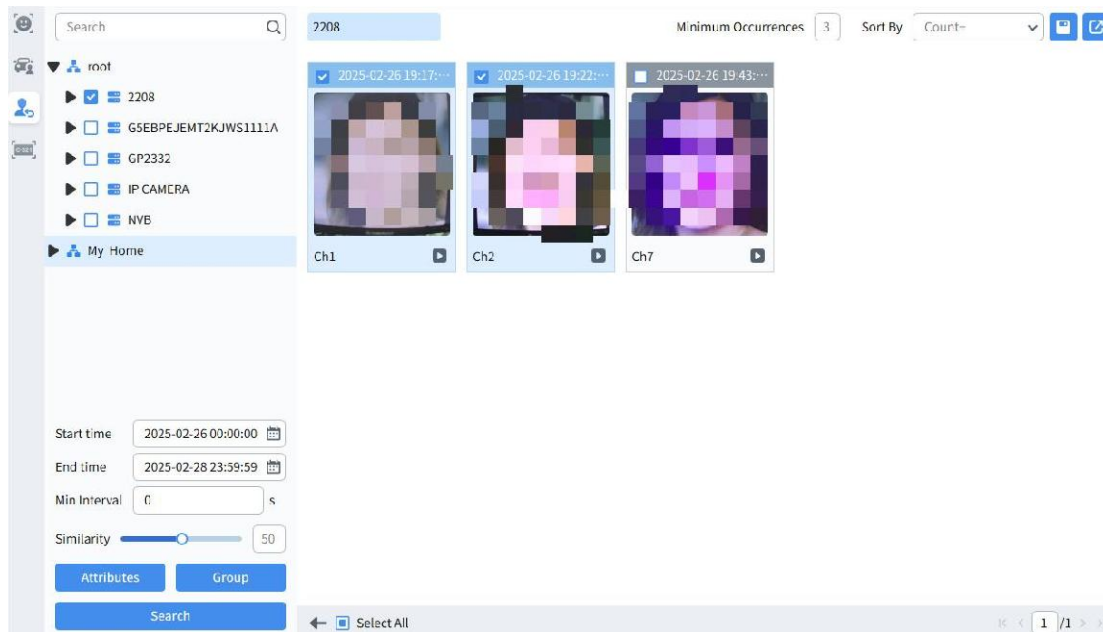
The screenshot shows the 'AI Search' interface. On the left, there is a sidebar with a search bar and a list of devices under the 'root' category. The devices listed are: 2208, Device?, 5252, N4016-2020, NVR, N2332(1995_0), N2208(9023_8), Device1, N2332-001, and GP2332. Below the device list, there are search filters: 'Start time' (2025-02-21 00:00:00), 'End time' (2025-02-21 23:59:59), 'Min Interval' (0 s), and a 'Similarity' slider set to 50. At the bottom of the sidebar are buttons for 'Attributes', 'Group', and 'Search'. On the right, there is a large empty box for search results. Above this box, there are controls for 'Minimum Occurrences' (set to 1), 'Sort By', and 'Count' (set to 'Count'). Red boxes and numbers highlight specific areas: a red box around the device list is labeled '1', a red box around the search filters is labeled '2', and a red box around the results area is labeled '3'.

1. デバイス領域：検索に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：期間、最小キャプチャ間隔、類似度を設定して出現回数を検索し、属性やグループで絞り込みます。
3. 検索結果表示領域：時間に基づいて人物のプロフィール画像と検索された回数を表示します。

検索したリピーターを選択し、ダブルクリックするとその訪問者の具体的なスナップショット

イベントを表示します。クリック▶するとイベントを再生します。

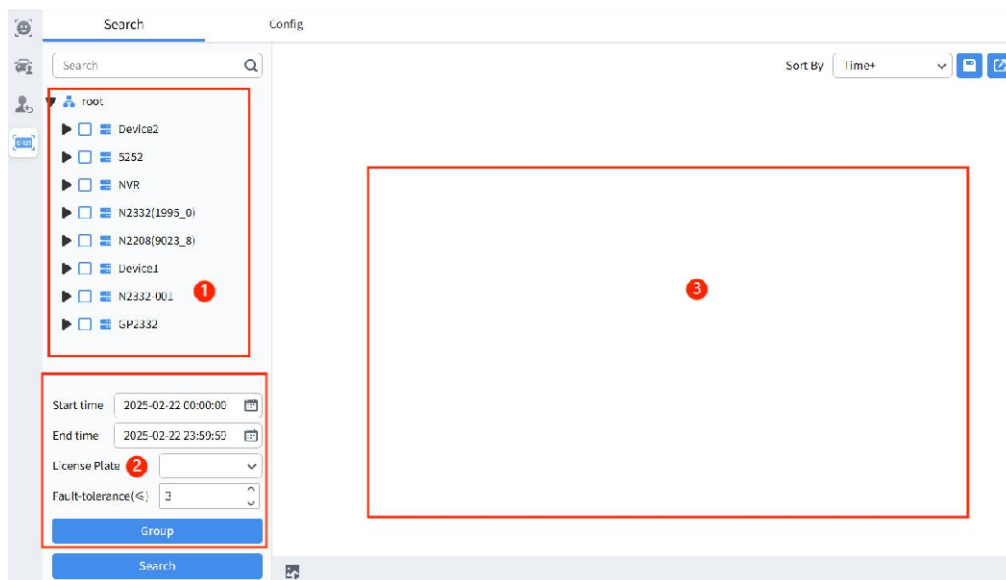
イベントを選択してクリック📄すると映像をエクスポートします。クリック🔗すると顔画像をエクスポートします。



9.4 ナンバープレート

9.4.1 ナンバープレート検索

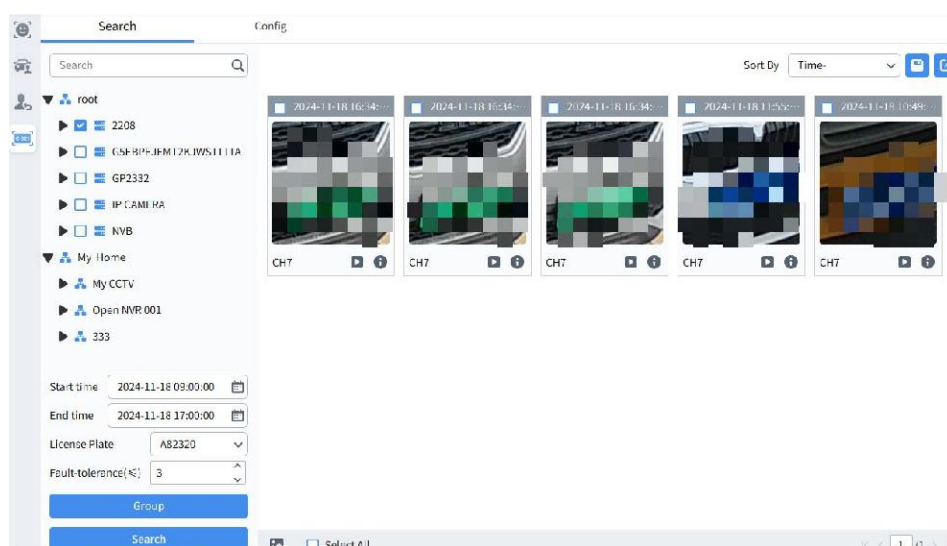
メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「ナンバープレート --- 検索」を選択します（図参照）。



1. デバイス領域：ナンバープレート認識に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：検索日、検索グループ、検索するナンバープレートを設定し、ナンバープレートの誤差として許容する文字数を設定します。
3. 検索結果表示領域：設定したパラメータに基づいて検索結果を表示します。

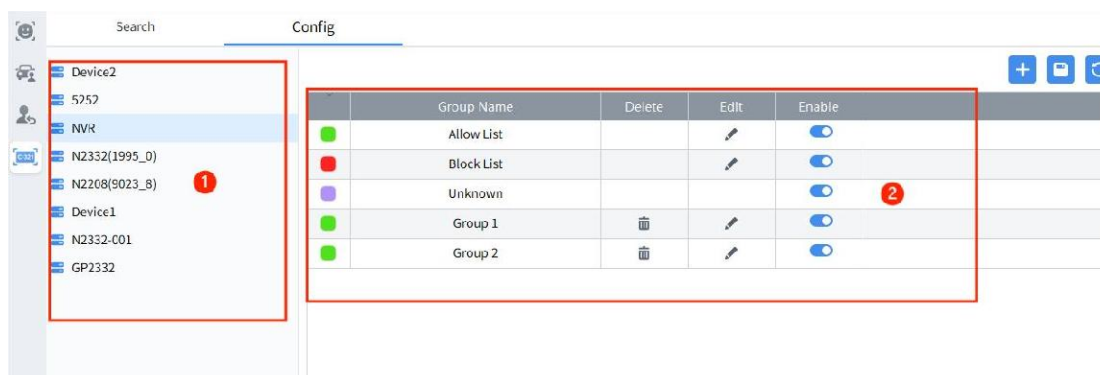
注：許容文字数とは、検索結果に表示されるナンバープレート番号と設定したナンバープレート番号との間で不一致を許容する文字数です。設定を小さくするほど、検索結果の一致度が高くなります。

検索したナンバープレートを選択し、クリック  するとイベントの詳細を表示します。クリック  するとイベントを再生します。クリック  すると映像をエクスポートします。クリック  するとナンバープレート画像をエクスポートします。



9.4.2 ナンバープレート設定

メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「ナンバープレート - 設定」を選択します（図参照）。



1. デバイス領域：設定に対応するデバイスを表示します。
2. ナンバープレートグループ操作領域：ナンバープレートグループの追加・変更・削除ができます。

注：デバイスには最大 64 個のナンバープレートグループを追加できます。デフォルトの 3 グループ「許可リスト」「ブロックリスト」「不明」は削除できません。

操作手順：グループを選択してクリック  すると、下図のようにナンバープレート情報設定ページが開きます。

Group 1

+

Import From CSV

Import From Capture

Move To ...

☒	Edit	License Plate	Color	Car Brand	Car Type	Owner	Gender	Id Code	Phone	Occupation	Residence
☒		ON1235JH	White	Toyota	car	Mask	Male				

クリック  すると、下図のようにナンバープレート情報入力メニューが表示されます。

Plate Edit

×

License Plate

Color

Car Brand

Car Type

Owner

Gender

Male

Id Code

Occupation

Phone

Residence

Remark

Alarm settings

Save

このページで、ナンバープレート情報を入力し、ナンバープレートが認識されたときに連動する音声およびアラームのチャンネルを設定します。

「エクスポート」ボタンをクリックしてローカルの保存先を選択すると、現在のグループのナンバープレート情報を .csv 形式でエクスポートします。

「CSV からインポート」をクリックし、ローカルの .csv ファイルを選択すると、車両情報を一括インポートします。

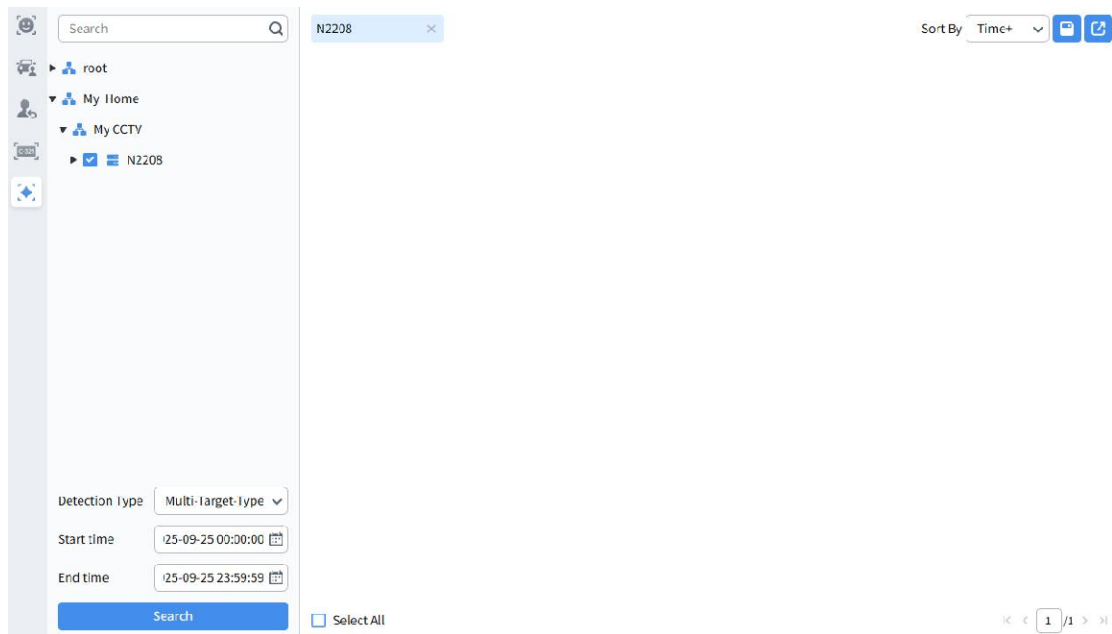
「キャプチャからインポート」をクリックすると、ポップアップページでデバイスがキャプチャしたナンバープレート認識画像を検索できます。検索結果から画像を選択して情報を編集し、インポートします。

「移動先」をクリックすると、選択したナンバープレート情報を現在のグループから別のグループに移動します。

「削除」をクリックすると、選択したナンバープレート情報を削除します。

9.5 スマートハイブリッド検索

メインメニューで「AI 検索」をクリックして検索画面を開き、「スマートハイブリッド検索」を選択します（図参照）。



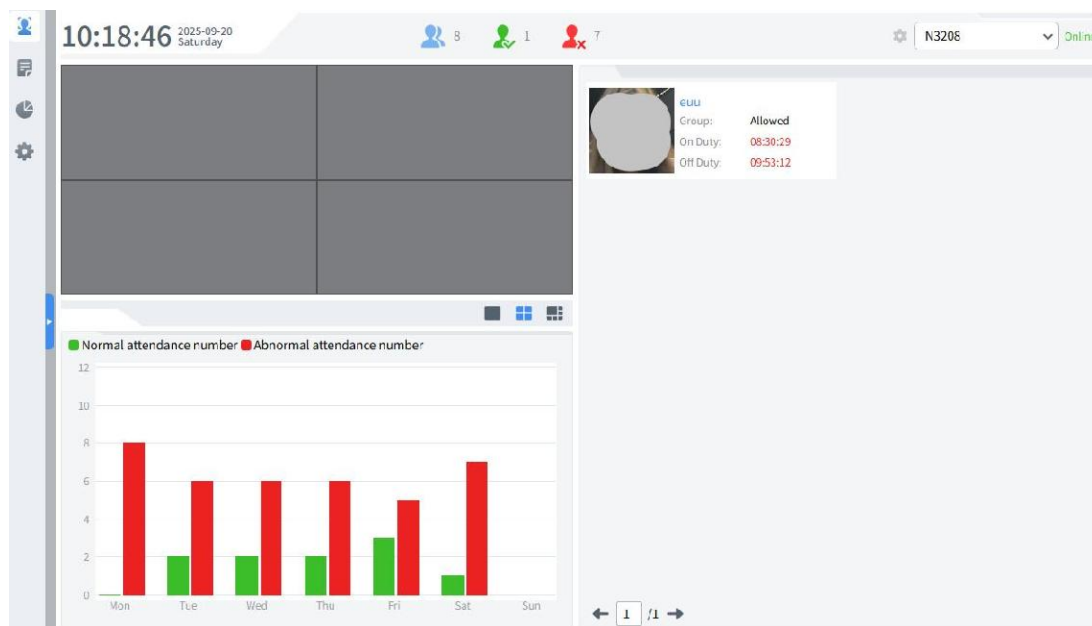
1. デバイス領域：ナンバープレート認識に対応するデバイスを表示します。
2. 検索条件の設定：検知種別と検索時間範囲を設定します。
3. 検索結果表示領域：指定した条件に基づいて見つかった結果を表示します。

検索結果を選択するとイベントの詳細を表示します。クリック  すると録画を再生します。クリック  すると映像をエクスポートします。または、クリック  するとナンバープレート画像をエクスポートします。

第 10 章 勤怠管理

10.1 勤怠シーン

このページで、勤怠デバイスのリアルタイム映像、顔キャプチャ画像、勤怠統計を確認できます。



10.2 勤怠記録

メインメニューで「勤怠管理」をクリックし、「勤怠管理 --- 勤怠記録」を開きます（図参照）。

The screenshot shows the Attendance Record interface. It includes search filters for Start time (2025-02-20), End time (2025-02-24), Data Sources (2208), and Name. The table below lists attendance records with columns for No., Name, Clock in, End of clocking, and Playback.

No.	Name	Clock in	End of clocking	Playback
1	cl	2025-02-20 08:20:26	2025-02-20 08:20:30	
2	cl	2025-02-20 11:40:14	2025-02-20 11:40:21	
3	cl	2025-02-20 15:40:53	2025-02-20 15:41:04	
4	cl	2025-02-20 15:41:17	2025-02-20 15:41:26	
5	cl	2025-02-20 15:49:22	2025-02-20 15:50:11	
6	cl	2025-02-20 15:50:20	2025-02-20 15:50:24	
7	cl	2025-02-20 15:50:23	2025-02-20 15:50:39	
8	cl	2025-02-20 16:18:59	2025-02-20 16:19:59	
9	cl	2025-02-20 16:20:02	2025-02-20 16:21:32	

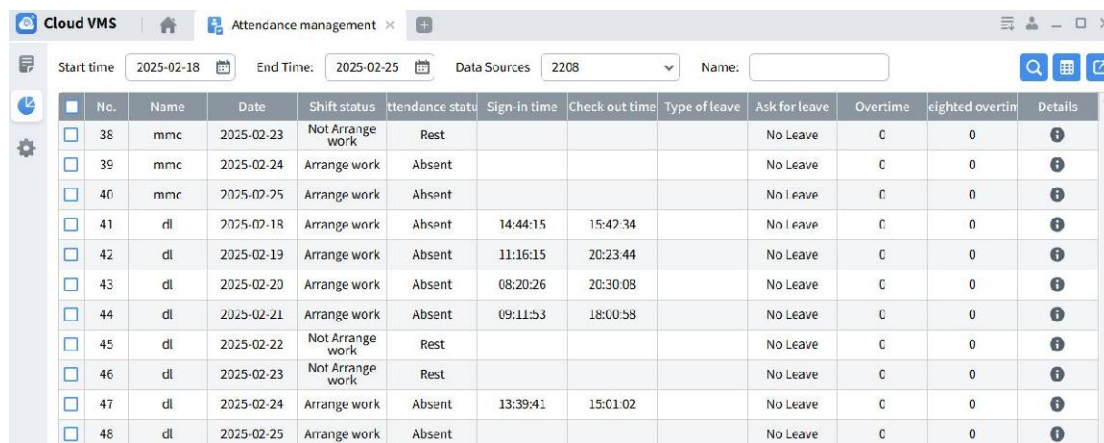
このページで、検索するデバイスを選択し、検索期間と勤怠対象者の名前を設定して、勤怠記録を照会します。勤怠記録には顔イベントのトリガーの開始・終了時刻が含まれ、記録に紐づくイベント映像を直接再生できます。

注：勤怠機能は顔認識に基づいています。そのため、この機能を使用するには、デバイスで顔

認識が有効になっていること、顔画像がリストグループにインポートされていること、顔認識の照合が正常であることを確認してください。

10.3 勤怠統計

メインメニューで「勤怠管理」をクリックし、「勤怠管理 --- 勤怠統計」を開きます（図参照）。



The screenshot shows the 'Attendance management' interface in the Cloud VMS system. It includes a search bar with 'Start time' (2025-02-18), 'End Time' (2025-02-25), 'Data Sources' (2208), and a 'Name' field. Below the search bar is a table with 13 columns: No., Name, Date, Shift status, Attendance status, Sign-in time, Check out time, Type of leave, Ask for leave, Overtime, Overtime, and Details. The table contains 13 rows of data for various employees and dates.

No.	Name	Date	Shift status	Attendance status	Sign-in time	Check out time	Type of leave	Ask for leave	Overtime	Overtime	Details
38	mmc	2025-02-23	Not Arrange work	Rest				No Leave	0	0	?
39	mmc	2025-02-24	Arrange work	Absent				No Leave	0	0	?
40	mmc	2025-02-25	Arrange work	Absent				No Leave	0	0	?
41	dl	2025-02-18	Arrange work	Absent	14:44:15	15:42:34		No Leave	0	0	?
42	dl	2025-02-19	Arrange work	Absent	11:16:15	20:23:44		No Leave	0	0	?
43	dl	2025-02-20	Arrange work	Absent	08:20:26	20:30:08		No Leave	0	0	?
44	dl	2025-02-21	Arrange work	Absent	09:11:53	18:00:58		No Leave	0	0	?
45	dl	2025-02-22	Not Arrange work	Rest				No Leave	0	0	?
46	dl	2025-02-23	Not Arrange work	Rest				No Leave	0	0	?
47	dl	2025-02-24	Arrange work	Absent	13:39:41	15:01:02		No Leave	0	0	?
48	dl	2025-02-25	Arrange work	Absent				No Leave	0	0	?

このページで、検索するデバイスを選択し、検索期間と勤怠対象者の名前を設定して、設定済みの勤怠ルールに基づいて勤怠統計を照会します。

勤怠統計には次が含まれます：勤怠日と打刻時刻、シフト状態、勤怠状態、休暇状態、残業状態など。

注：ここでの勤怠結果は、勤怠ルールで設定したパラメータに基づいて計算されます。勤怠ルールのパラメータを調整すると、ここでの結果統計に影響します。

10.4 勤怠管理

メインメニューで「勤怠管理」をクリックし、「勤怠管理 --- 勤怠設定」を開きます。

1. 基本ルール

The screenshot shows the 'Attendance management' tab in the Cloud VMS system. It features a sidebar with icons for home, settings, and a gear icon. The main content area has five tabs: 'Basic rules' (selected), 'Overtime setting', 'Holiday settings', 'Leave type setting', and 'Personnel management'. Under 'Basic rules', there are three sections: 'Setting of commuting time' with fields for arrive time (8:30), leave time (17:30), and valid times for sign in (7:00-8:30) and sign out (17:30-18:00); 'Weekend settings' with checkboxes for Monday through Sunday (Saturday and Sunday are checked); and 'Absence settings' with fields for 'Checked in, late more than' and 'Signed off, early leave more than' (both set to 30 minutes), and dropdowns for 'No sign in, Recorded as' and 'Not signed out, Recorded as' (both set to 'Absence').

■ Setting of commuting time

：勤務時間と、出退勤の打刻が有効となる時間帯を設定します。

■ Weekend settings

：週末の期間を設定します。選択した日付では勤怠は記録されません。

■ Absence settings

：欠勤設定。出勤打刻済みで、勤務開始時刻より X 分を超えて遅刻した場合、欠勤として記録されます。0 の場合はこのルールは無効です。退勤打刻済みで、勤務終了時刻より X 分を超えて早退した場合、欠勤として記録されます。出勤打刻も退勤打刻もない場合は、欠勤／早退として設定するかを選択します。

注：ここでの設定は勤怠統計の結果に影響するため、実際の勤怠ニーズに応じて設定する必要があります。

2. 残業設定

Basic rules

Overtime setting

Holiday settings

Leave type setting

Personnel management

Working day overtime level

Overtime level

☒ Overtime level 1
☒ Overtime level 2
☒ Overtime level 3

	0h	2h	4h	6h	8h	10h	12h	14h	16h	18h	20h	22h	24h
Monday													
Tuesday													
Wednesday													
Thursday													
Friday													
Saturday													
Sunday													

Man hour Ratio

Overtime level 1

1.1

Overtime level 2

1.2

Overtime level 3

1.3

Weekend overtime rule setting

Computing method

☒ Normal operation
☐ Overtime level 1
☐ Overtime level 2
☐ Overtime level 3

Save

Working day overtime level

：勤務日の残業レベル設定。残業は3つのレベルに分かれます。対応する残業レベルにチェックを入れると選択したことを示します。描画エリアで対応する色のバーをドラッグして、その残業レベルに設定する時間範囲を指定します。

Man hour Ratio

：勤務時間の比率。各残業レベルに対応する勤務時間の比率を設定します。

Weekend overtime rule setting

：週末の残業ルール。週末残業の残業レベルを設定します。注：ここでの設定は勤怠統計の結果に影響するため、実際の勤怠ニーズに応じて設定する必要があります。

3. 休日設定

Basic rules Overtime setting **Holiday settings** Leave type setting Personnel management

	Holiday Name	Holiday Days	Holiday Type	Date	Annual Cycle	Operation
☐	International Workers' Day	1	Regular holiday	05/01-05/01	Yes	

May

2025

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
27	28	29	30	1 Intern...	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

05/01 International Workers' Day

ay configuration details

ational Workers' Day Recorded as Overtime level 3

クリック すると休日設定メニューが開き、休日種別を選択できます。

Add

Type

☒ Regular holiday
 ☐ Irregular holiday

Holiday Name

Please enter Holiday Name...

Start date

2025-02-24

Holiday Days

1

Calculated as

Normal operation

☐ Annual Cycle

OK

Cancel

☒ Regular holiday

休日名、開始時刻（カレンダー形式）、休暇日数、残業レベル、毎年繰り返すかどうかを入力します。

Add ✕

Type ☐ Regular holiday ☒ Irregular holiday

Holiday Name

Start date

same month

Holiday Days

Calculated as

☐ Annual Cycle

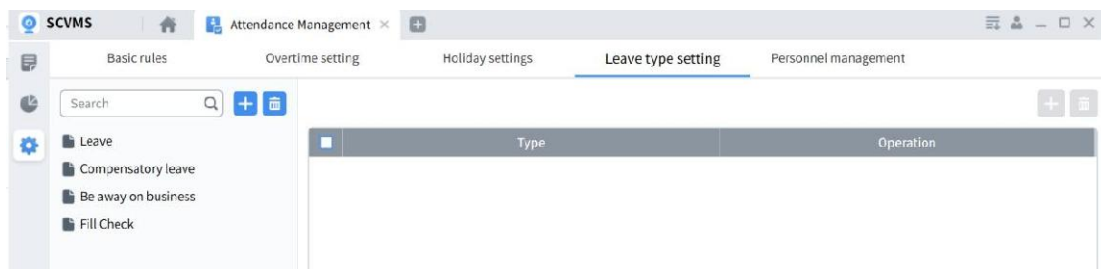
OK
Cancel

☒ Irregular holiday

違いは、休日の開始時刻の設定方法です。日付は毎年異なるため、特定の年・月の何週目の何曜日という形で表します。

クリック  すると、追加して選択した休日設定を削除します。

4. 休暇種別の設定



このページで、必要に応じて休暇種別を追加・削除します。

注：ここで設定した休暇種別は、人員管理ページで人員の休暇種別を示すために使用されます。

5. 人員管理

SCVMS Attendance Management								
Basic rules Overtime setting Holiday settings Leave type setting Personnel management								
2208 ▼ Get personnel Export								
☐	No.	Name	Face Group	Gender	Age	Id Code	Phone Number	Operation
☐	1	Luna	Allow	Female	25	HBN15296935728	150869235	  
☐	2	tu6ut	Allow	Female	30	qw3456009	2355 57789	  
☐	3	rmm	Allow	Male	30	6879878990		  
☐	4	dl	Allow	Male	35			  
☐	5	Seraphina	Forbidden	Male	28			  
☐	6	Feong Ting	Group 1	Male	33			  
☐	7	hanna wellanm	Group 2	Female	39			  

クリック  すると人員情報設定メニューが開き、現在のデバイスの人員情報を変更できます。

クリック  すると、選択した人員のサインインを行います（図参照）。

Fill Check

🗑

✓

No.

Edit

Main Type

Sub Type

Start time

End time

Remark

✓

1



Leave

Annual leave

2025-02-11
08:30:00

2025-02-11
17:30:00

rest for 3 days

Add

<< < Feb 2025 > >>

Su

Mo

Tu

We

Th

Fr

Sa

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

1

2

3

4

5

6

7

8

Main Type

Leave

Sub Type

Annual leave

Start time

08:30

End time

17:30

Remark

rest for 3 days

Save

Cancel

第 11 章 アラーム設定

11.1 アラームイベント表示

メインメニューで「アラーム設定」をクリックしてアラーム操作画面を開き、アラームイベントを選択します（図参照）。

Alarm time	Alarm source	Alarm type	Information	Alarm capture	Alarm record	Alarm level	Status
2025-02-22 13:06:15	N2208(9023_8) Camerayunp tg67890	Motion Detection	Motion Start	3664_7_N2208(9023_8) tg67890_1_2025...	3564_6_N2208(9023_8) tg67890_1_2025...	Urgent	Unproc
2025-02-22 13:06:15	N2208(9023_8) #Yuoopy boom...	Intelligent alarm	Face Detect on ...	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332-001 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332-001 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332-001 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332(1995_0) 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332(1995_0) 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332(1995_0) 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc
2025-02-22 13:06:14	N2332(1995_0) 4	Motion Detection	Motion Start	No capture	No record	Unknown	Unproc

Event details: N2332(1995_0) 3

Picture: No Picture

Video: No Video

processing records: No processing record

1. アラーム種別とアラームレベル：

アラーム種別：ウィンドウに表示するアラーム種別を設定します。選択したアラーム種別の情報のみがメッセージウィンドウに表示されます。

アラームレベル：ウィンドウに表示するアラームレベルを設定します。緊急・重要・通常・不明の 4 レベルがあり、選択したアラームレベルのみメッセージウィンドウに表示されます（注：アラームレベルはアラーム連動ページで設定する必要があります）。

2. アラーム情報表示領域：

この領域には、オンラインデバイスのアラーム状態がリアルタイムで表示されます（注：アラーム連動ページでチャンネルのスケジュール状態を設定することで、ここに表示されるアラームメッセージを制御できます）。

3. アラームイベント詳細領域：

アラームチャンネルでアラーム連動ページのアラーム連動スナップショットと録画が有効になっている場合、アラーム情報を選択すると、そのアラームに紐づくスクリーンショットと映像

を確認でき、映像を再生できます。

「メール送信」ボタンをクリックすると、現在のアラーム情報を設定したメールアドレスに送信します。

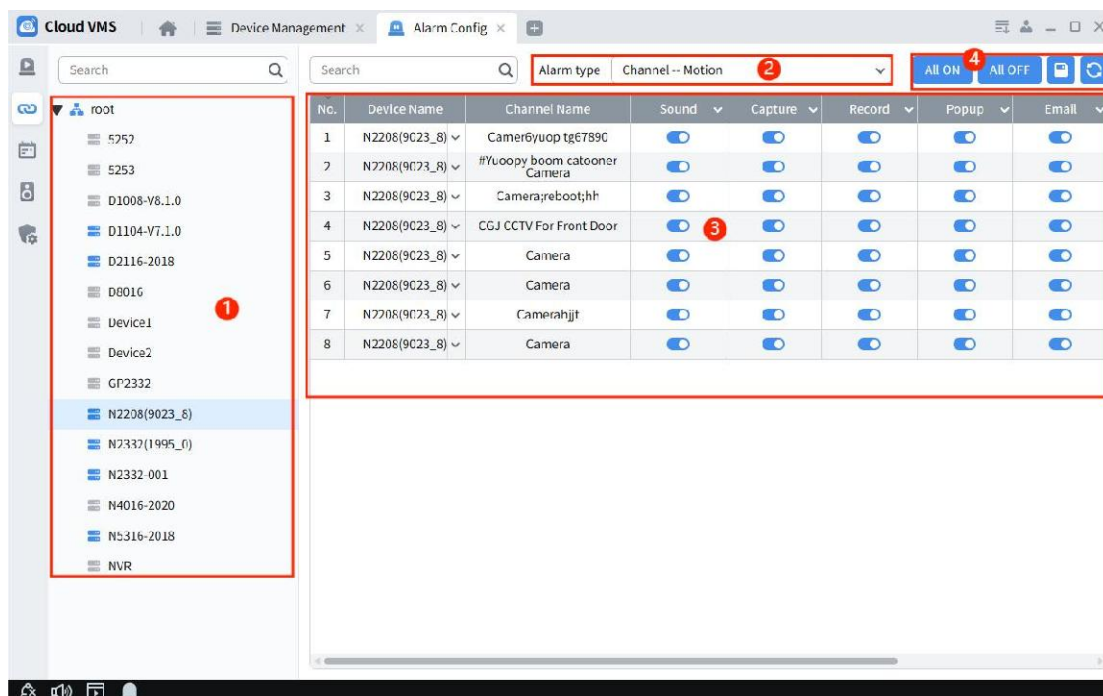
クリック  または「処理」ボタンをクリックすると、すべてまたは個別のアラームイベントにコメントできます。

4. クリック  するとアラーム情報の表示を消去します。クリック  するとアラーム音量のオン／オフを切り替えます。

クリック  するとリアルタイムアラームのポップアップを設定します。「閉じる」：ポップアップなし。「開く」：アラーム発生時にページ上部にポップアップを表示します。「全画面」：アラーム発生時にポップアップを全画面で表示します。クリック  するとデバイスの異常アラーム記録を表示します。

11.2 アラーム連動設定

メインメニューで「アラーム設定」をクリックしてアラーム操作画面を開き、アラーム連動を選択します（図参照）。



1. デバイス領域：設定に対応するデバイスを表示します（注：デバイスはオンラインを維持する必要があります）。

2. アラーム種別の選択：通常アラーム、AI 分析、AI を含みます。クリック  するとアラーム

種別のオプションが展開され、必要に応じてアラーム種別の設定を選択できます。

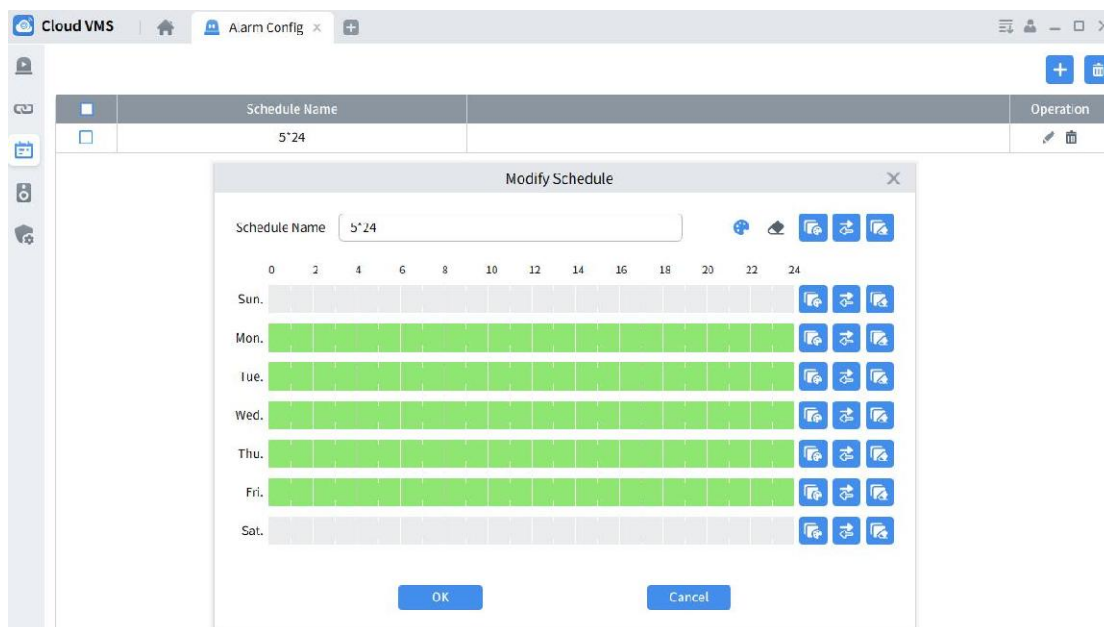
3. アラーム連動設定：キャプチャ、録画、ポップアップ、サウンド、メール、スケジュール、アラームレベルの設定に対応します。

4. 操作設定：

すべてオン：すべてのオプションをオンにします すべてオフ：すべてのオプションをオフにします 更新：現在のページを更新します 保存：設定を保存します

11.3 スケジュール設定

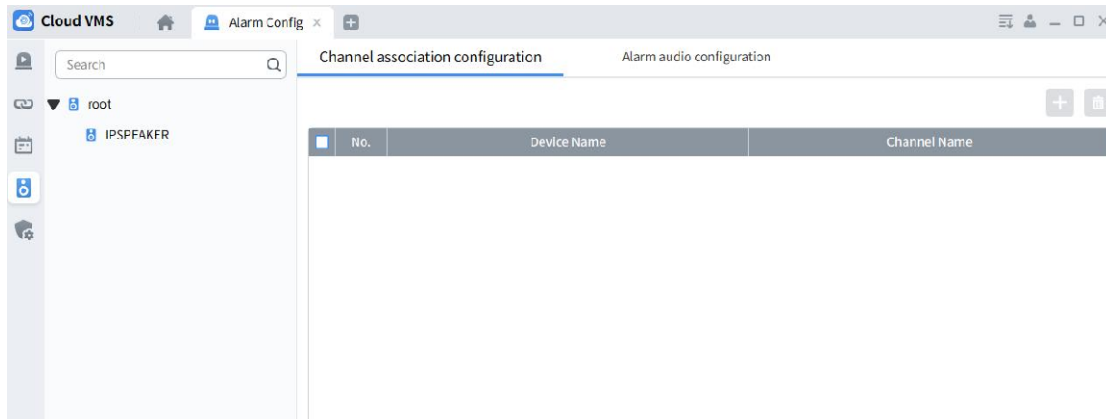
メインメニューで「アラーム設定」をクリックしてアラーム操作画面を開き、スケジュールを選択します（図参照）。



このページで、スケジュールの追加・削除・変更を行います。スケジュールは、アラーム連動チャンネル設定やローカル録画スケジュール設定に適用できます。

11.4 IP スピーカー連動設定

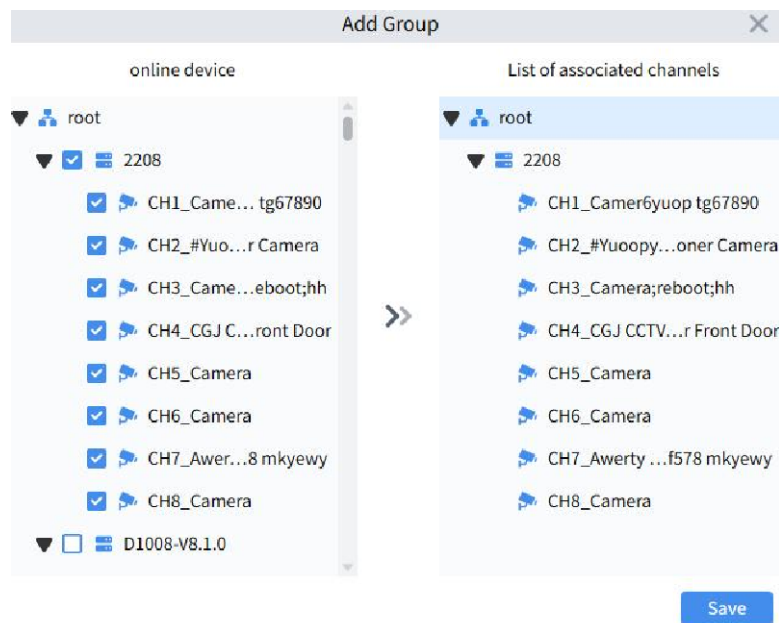
メインメニューで「アラーム設定」をクリックしてアラーム操作画面を開き、IP スピーカーのアラーム設定を選択します（図参照）。



注：この機能を設定するには、IP スピーカーを CVMS に追加してオンラインにする必要があります。

操作手順：

1. デバイスチャンネルのバインド：「追加」ボタンをクリックし、ポップアップメニューリストでバインドするデバイスチャンネルを選択して、クリック➡すると「バインドデバイスリスト」に追加します。



2. プレビューページに移動して、バインドしたデバイスチャンネルをプレビューし、チャンネルのスピーカー -- インターホンボタンをクリックすると、PC 側で話してスピーカーから出力します。



3. チャンネルのスピーカー -- 放送ボタンをクリックすると放送設定メニューが開き、テキストを入力して音声に変換したり、音声ファイルをインポートしたりして、設定した回数だけスピーカーで放送できます。

Voice broadcast ✕

audio type text
playback count Play by count 1

Voice broadcast content

Note: The maximum input length of the text box is 200 bytes

OK

11.5 デバイスの解除（ディスアーム）

デバイスの解除ページで、アラームの解除／設定（ディスアーム／アーム）機能を持つデバイスを解除／設定します。

Cloud VMS Alarm Config			
ID	Device Name	Device IP	Operation
1	2208	172.20.57.143	☐
2	5252	172.20.54.39	☐
3	NVR	neag83ug2ze3wpb645	☐
4	N2352(1995_0)	ZKABBSA1CKV5HP+3.111A	☐

第 12 章 ローカル録画

1. メインメニューで「ローカル録画」をクリックして、ローカル映像管理画面を開きます。

このページで、ローカル映像の保存パーティションとディレクトリを設定し、映像の上書き方法を設定します（図参照）。

The screenshot shows the 'Record Management' interface with two main sections: 'Disk management' and 'Video management'.

Disk management

Index	Video Save Path	Total Size(GB)	Free Size(GB)	Reserved Size(GB)	Modify	Disk Status
1	C:/localRecordFile/	237.227	91.085	3.000		
2	D:/localRecordFile/	615.233	545.091	3.000		
3	E:/localRecordFile/	615.233	249.860	3.000		
4	F:/localRecordFile/	632.544	4.436	3.000		
5	Z:/localRecordFile/	11062.450	240.230	3.000		

Video management

Index	Device Name	Channel Name	Record Stream	Record Status	Strategy Name
1	CCTV for Plate	Camera	SubStream	Recording	Vehicle Management
2	SSC379G-SP429-4MP	4mp5128-debug	SubStream	Recording	Vehicle Management
3	Exit 001	Camera	SubStream	Recording	Vehicle Management

Buttons: Start record, Stop record

2. 「録画スケジュール」をクリックして録画プラン設定画面を開き、デバイスリストで録画が必要なデバイスチャンネルにチェックを入れ、プラン名、録画ファイルの長さ、録画ビットレート、使用スケジュールを設定します。設定が完了したら「保存」をクリックして保存します（図参照）。

The screenshot shows the 'Schedule Template Settings' interface with the 'Add Schedule' dialog box open.

Add Schedule

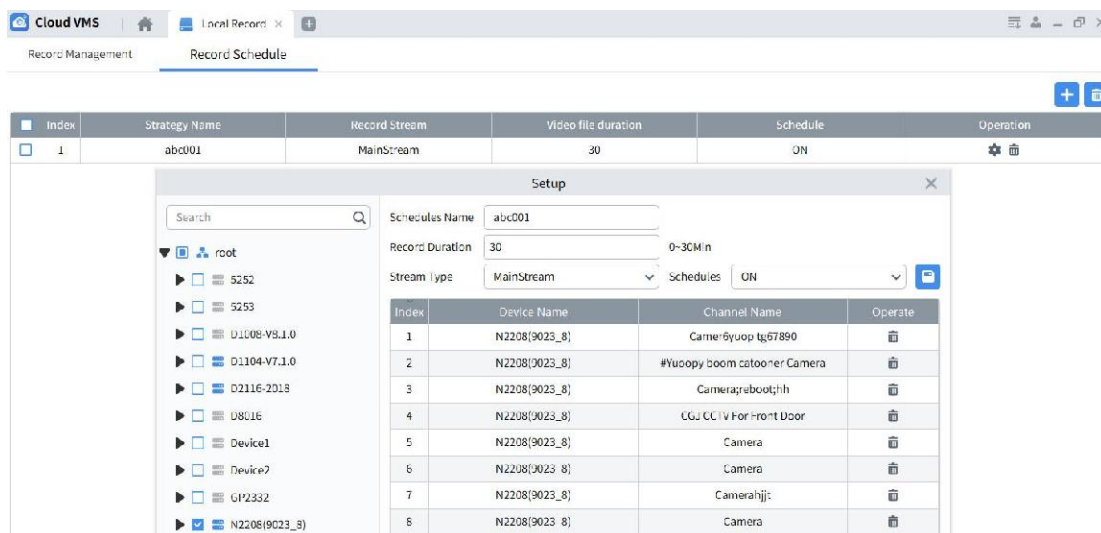
Schedule Name: my record schedule

Days: Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat

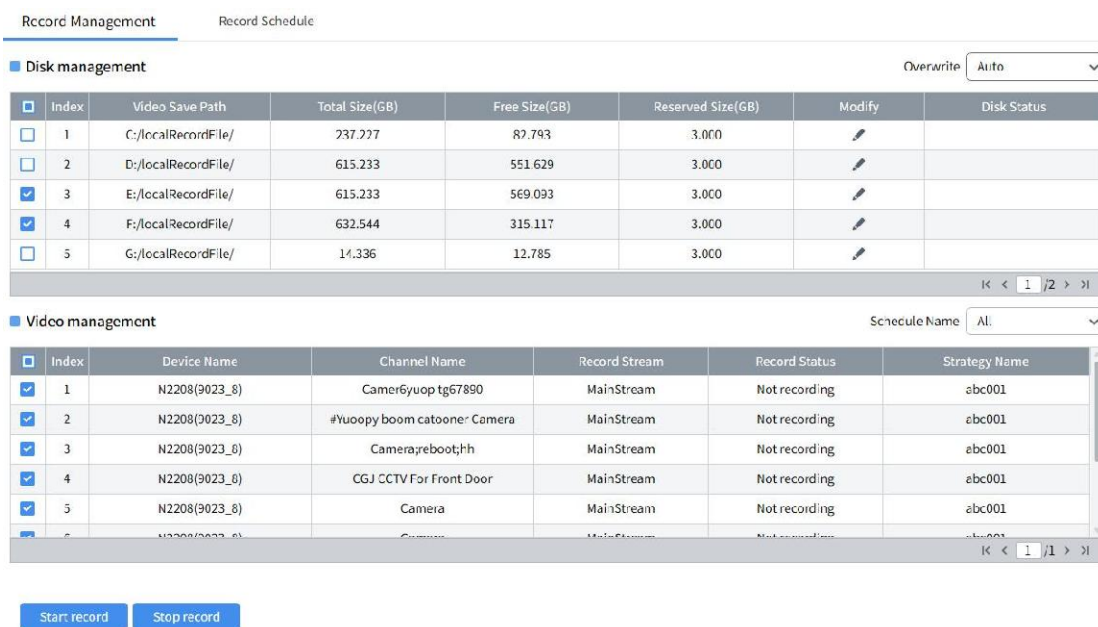
Buttons: OK, Cancel

3. 設定が完了したら「録画管理」画面を開き、映像管理リストで追加したチャンネルを選択し

ます。録画開始をクリックするとローカル録画を開始し、録画停止をクリックするとローカル録画を停止します（図参照）。



4. メインメニューに戻り、「録画管理」を開いて、ローカル録画を設定したデバイスチャンネルを選択し、録画の検索と再生を行います（図参照）。



5. メインメニューに戻り、「再生 — ローカル再生」を開いて、ローカル録画を設定したデバイスチャンネルを選択し、録画を検索して再生します（図参照）。

Cloud VMS

PlaybackLocal Record

BasicSmartImageTagEvent

Search

NZ208(9023 8)

CH1_Came...tg67390

CH2_#Yuo...r Camera

CH3_Camera;ehoot;hh

CH4_CGJ C...ront Door

CH5 Camera

CH6_Camera

<<<Feb2025>>>

SuMoTuWeThFrSa

2627282930311

2345678

9101112131415

16171819202122

2324252627281

2345678

search settings

Search

Window 10000-00-00 00:00:00

Window 20000-00-00 00:00:00

Window 30000-00-00 00:00:00

Window 40000-00-00 00:00:00

13:4613:5113:5614:0114:0614:1114:1514:2114:2614:3114:3614:41

Window1

Window2

Window3

Window4

第 13 章 システム設定

メインメニューで「システム設定」をクリックして、システム設定画面を開きます（図参照）。

The screenshot displays the 'System Settings' window with the 'General' tab selected. The interface includes four tabs: 'General', 'File config', 'Hot Keys', and 'Email config'. Under the 'General' tab, there are two main sections: 'basic configuration' and 'Monitoring Configuration'. The 'basic configuration' section contains settings for Language (English), Save the following system time records (One week), Skin (light color), and four checkboxes: 'Set up auto start upon startup' (unchecked), 'Automatic login client' (unchecked), 'Automatically log in to the device' (checked), and 'Enable Sync to device channel name' (checked). The 'Monitoring Configuration' section includes 'Decoding type' (Software decoding), 'Fast replay time' (10Min), and 'CPU/GPU upper limit' (85%). A note 'Effective after restart' is visible next to the Skin setting. At the bottom, there are 'Save' and 'Default' buttons.

Tab	Section	Setting	Value
General	basic configuration	Language	English
		Save the following system time records	One week
		Skin	light color
		Effective after restart	
	Monitoring Configuration	Decoding type	Software decoding
		Fast replay time	10Min
		CPU/GPU upper limit	85%
		Set up auto start upon startup	☐
		Automatic login client	☐
		Automatically log in to the device	☒
Enable Sync to device channel name	☒		

システムパラメータを設定します。具体的なパラメータは次のとおりです：

13.1 一般

言語：システム言語の設定 システムログの保持：システムログの保持期間。1 週間、半月、1 か月の 3 つのオプションがあります。

起動時に自動起動を設定：起動時に自動的に起動します。

自動ログイン：Cloud CVMS に自動的にログインします。

デバイスに自動ログイン：デバイスに自動的にログインします。Cloud CVMS にログインすると、接続されたデバイスが自動的にログインしてオンラインになります。このオプションのチェックを外すと、Cloud CVMS にログインしてもすべてのデバイスはオフラインのままです。

デバイスチャンネル名の同期を有効化：デバイスチャンネル名の同期を有効にします。

デバイスでチャンネル名を変更すると、CVMS の対応するチャンネルに自動的に同期されます。

デコード種別：ソフトウェアデコードは CPU に依存してデコードするため CPU 消費が大きく、ハードウェアデコードは GPU に依存してデコードするため CPU の消費を抑えます。

高速再生時間：即時再生の録画時間設定。1 分、3 分、5 分、10 分に対応します。 CPU/GPU

上限：プレビューまたは再生時の CPU/GPU 使用率の上限を設定します。使用率が設定した上限を超えると、プレビューチャンネルが自動的に閉じられ、CPU/GPU の負荷を軽減します。

13.2 ファイル設定

The screenshot displays the 'File config' tab with the following sections:

- File Setting**
 - File type: mp4
 - Max File Size: 1G
 - Alarm Video storage time: 30 Days
- File Path**
 - Path of Saved Pictures: D:/CVMS/CVMS/picture
 - Path of Saved videos: D:/CVMS/CVMS/vidrec
 - ☒ Alarm when disk space is less than 3000 MB
- Alarm sound**
 - Alarm Input: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Video Exception: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Motion Detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - PIR detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
- Intelligent alarm**
 - Perimeter Intrusion Detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Line Crossing Detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Object Detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Pedestrian Detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Face Detection: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Cross Counting Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Sound Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Crowd Density Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Queue length Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - license plate Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Rare sound Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV
 - Pedestrian & Vehicle Alarm: D:/CVMS/CVMS/Alarm.WAV

Buttons at the bottom: Save, Default.

ファイル種別：ファイルの保存種別。次のオプションがあります：avf、AVI、mp4 最大ファイルサイズ：1つの映像ファイルのサイズ。次のオプションがあります：1G、2G（AVI形式は1Gの映像ファイルのみ対応） アラーム映像の保持期間：アラーム映像の保持期間。

7/30/90/180/365 日から選択できます。 画像の保存先：ローカル画像ファイルの保存先を設定します。

映像の保存先：ローカル映像ファイルの保存先を設定します。

ディスク空き容量が__MB未満のときにアラーム：値を設定すると、ディスクの空き容量がこの値を下回ったときにシステムが警告を出します。チェックを入れて値を設定します。最小設定は500MBです。

アラーム音：各種アラームがトリガーされたときに対応するアラーム音を設定します。

13.3 ホットキー

VMS を最大化（全画面で開く）：F2 メインビュー（プレビューを開く）：F3 再生（再生を開く）：F4 システム設定（システム設定を開く）：F5 アラームイベント（アラームを開く）：F6 クルーズ設定（クルーズ設定を開く）：F7 デバイス管理（デバイス管理を開く）：F8 画面ロック（画面をロック）：F9 ユーザー切り替え：F10 アラーム音のオン／オフ：F11 ローカル録画（ローカル録画を開く）：CTRL+R ショートカットキーでモジュールをすばやく開けます。上記のショートカットキーは既定値であり、ユーザーは使用習慣に応じて変更できます。

4. メール設定：Cloud CVMS が受信したアラームを、指定したメールアドレスに送信します。

アラーム設定ページでアラームメール機能を有効にする必要があります：

メール：メール設定のスイッチ 暗号化：メールサーバーが SSL または TLS 認証を必要とする場合は有効にします。不明な場合は「自動」に設定してください。

SMTP ポート：メールサーバーの SMTP ポートを入力します SMTP サーバー：メールの SMTP サーバーアドレスを入力します ユーザー名：ユーザーのメールアドレスを入力します パスワード：ユーザーのメールパスワードを入力します 送信者：送信者名 受信者 1～3：Cloud CVMS からのイベント通知を受け取るメールアドレスを入力します。

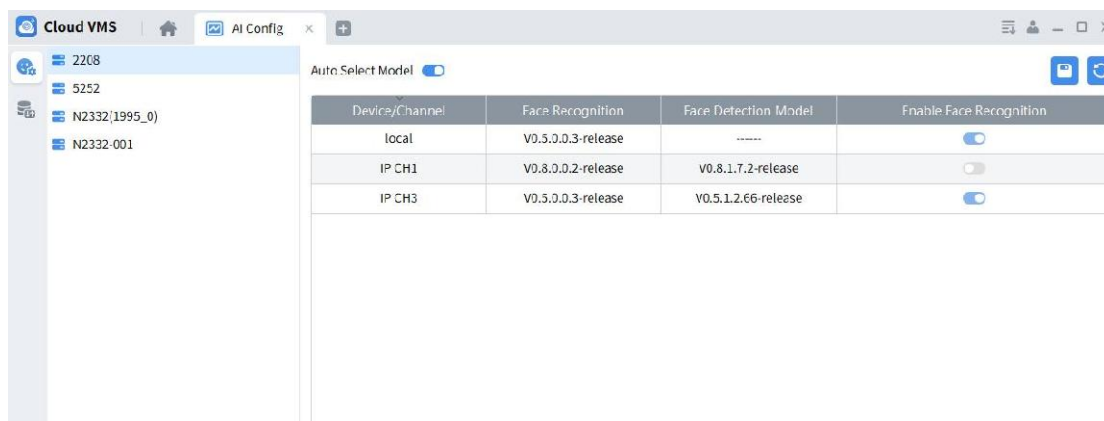
間隔：Cloud CVMS の通知メールの送信間隔を設定します。既定値は 3 分です。

テスト：すべての設定が正しいことを確認するため、「テストメール」をクリックすると、システムがユーザーの受信箱にメールを送信します。テストメールを受信できれば、設定パラメータが正しいことを意味します。

第 14 章 AI 設定

14.1 モデル設定

メインメニューで「AI 設定」をクリックして AI 設定操作画面を開き、モデル設定を選択します（図参照）。

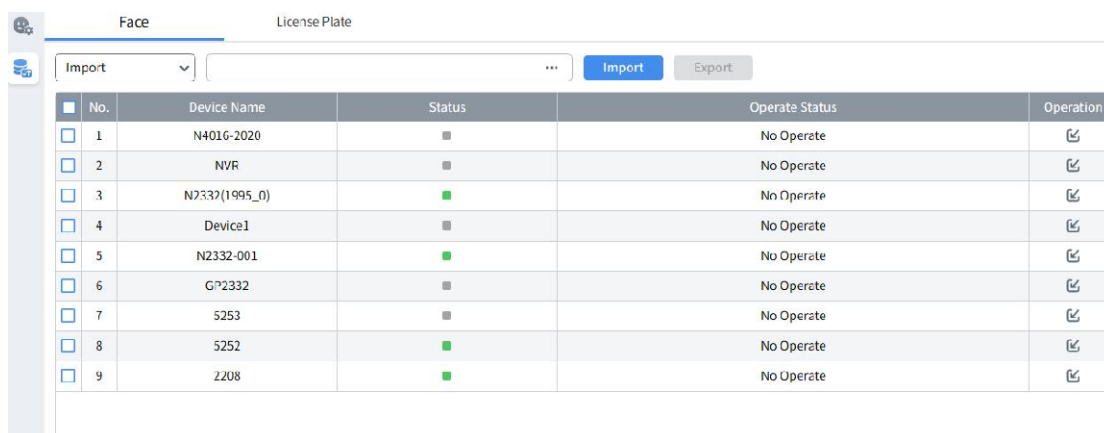


このページで、顔認識に対応するデバイスを選択し、顔認識モデルの使用方法を設定します。
自動モード：ローカルモデルと、ローカルモデルのバージョンと一致するカメラモデルが優先して使用されます。

手動モード：顔モデルを手動で有効にする必要があります。

14.2 データベース同期

このページで、デバイスの顔・ナンバープレートデータベースをバックアップおよびインポートします。



例：操作対象のデバイスを選択し、操作種別を「エクスポート」に設定して、保存先の

Export

パスを選択します。クリックしてパスワード認証を行い、「エクスポート」に進みます。エクスポートが完了すると、状態が「成功」になります。

☐	8	5252		No Operate	
☒	9	2208		Success	

第 15 章 電子マップ設定

15.1 マップの作成／編集

手順 1：メインメニューで「電子マップ設定」をクリックしてマップ設定画面を開き、画面内の「電子マップの追加」をクリックすると、図のようにマップ選択ダイアログボックスが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "Add Emap". It contains the following elements:

- Map Name:** A text input field.
- Parent Map:** A dropdown menu with a blue icon and a downward arrow.
- Map Type:** Radio buttons, with "Picture Map" selected.
- Map File:** A file selection button with a folder icon.
- A large empty rectangular area below the fields.
- Buttons:** "OK" and "Cancel" buttons at the bottom.

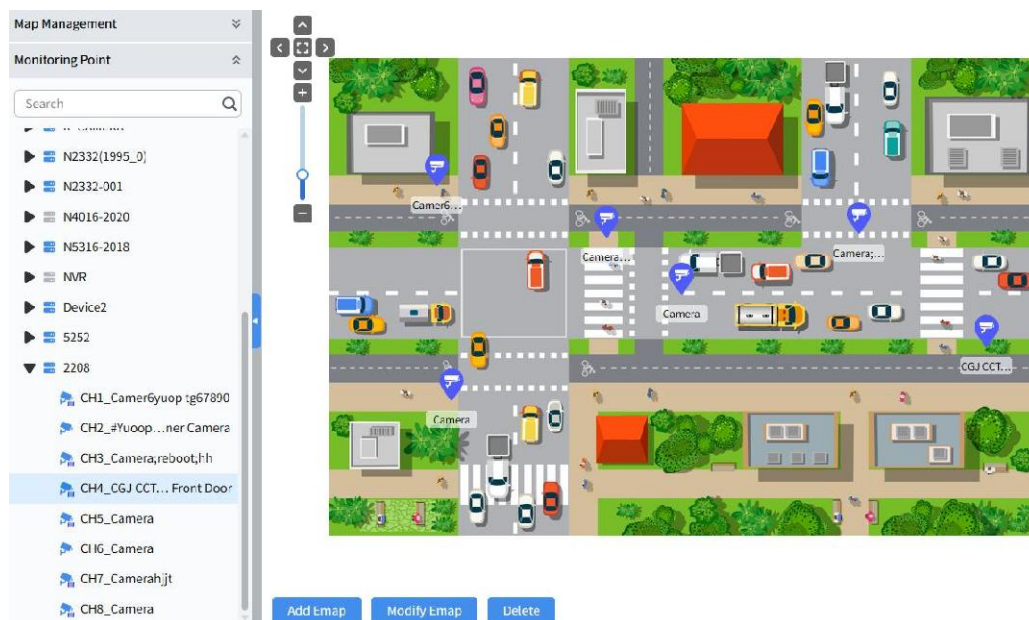
手順 2：マップ名を設定し、画像のパスを選択して、マップのインポートを完了します。

手順 3：「電子マップの編集」をクリックし、ポップアップメニューでマップ名を変更します。



15.2 監視ポイント

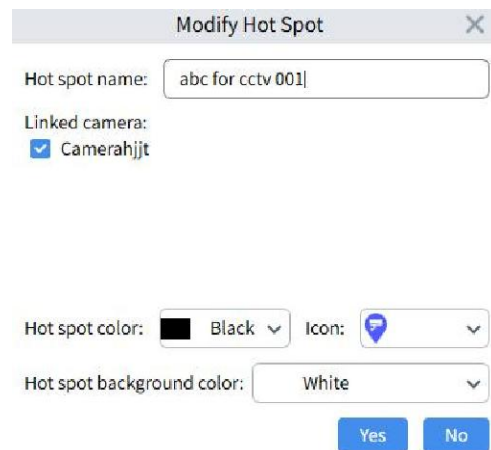
画面左側の「監視ポイント」オプションをクリックしてデバイスリストを展開し、カメラの実際の設置場所に応じて、デバイスチャンネルをマップ上の対応する監視ポイントにドラッグします。



15.3 監視ポイントの編集／削除

配置済みの監視ポイントを選択し、右クリックして「編集」を選ぶと編集画面が開きます。こ

ここでポイント名、ポイントのアイコン、名前の色、名前の背景色を変更できます（図参照）。



Modify Hot Spot

Hot spot name: abc for cctv 001

Linked camera:
☒ Camerahjit

Hot spot color: Black Icon:

Hot spot background color: White

Yes No

配置済みの監視ポイントを選択し、右クリックして「削除」を選び、確認メニューで「はい」を選択すると、監視ポイントを削除します。

第 16 章 マッププレビュー

16.1 監視

電子マップを通じて、アラームチャンネルの位置を直感的に把握し、チャンネルの映像やアラーム状態をリアルタイムで確認できます。

メインメニューで「電子マップ監視」をクリックすると、マッププレビュー画面が開きます（下図参照）。



1. マップ：追加したマップを表示します。
2. マッププレビュー：選択したマップをクリックすると、そこにマップビューが表示されます。
3. マップ操作領域：選択したマップに対して、上下左右の移動やズームなどの操作を行います。
4. 自動アラームプレビューを有効にしている、マップに追加したデバイスでアラームがトリガーされると、マップ上にアラーム種別のアイコンが表示され、右側のプレビューボックスにリアルタイム映像が自動的に再生されます。有効にしていない場合は、ウィンドウに自動プレビューされず、マップ上の対応するデバイスの横にトリガーされたアラーム種別のアイコンのみが表示されます。
5. デバイス種別：マップに表示するデバイス種別を選択します。選択した種別がマップに表示されます。
6. アラーム種別：マップに表示するアラーム種別を選択します。「すべてクリア」をクリック

すると保留中のアラームを消去し、「重ねて表示／並べて表示」をクリックするとプレビューウィンドウのレイアウトを並べ表示または重ね表示に変更します（下図参照）。

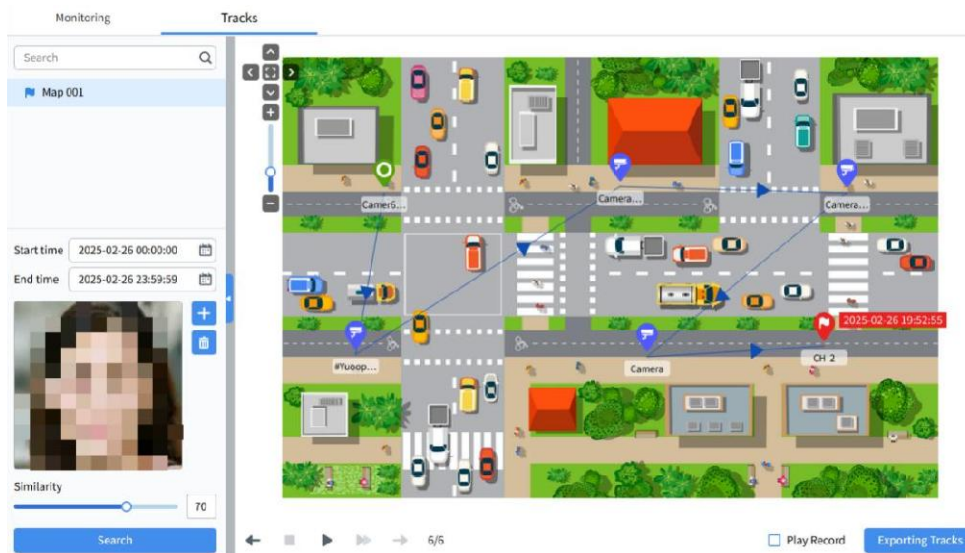


7. アラームプレビュー領域：デバイスをダブルクリックするか、自動アラームにチェックを入れてアラームがトリガーされると、右側のプレビュー領域にリアルタイム映像が表示されます（最大 4 画面）。

16.2 トラック再生

カメラが人物の顔情報をキャプチャし、その人物が監視エリアに現れた時刻を記録します。これらの顔認識記録を時系列で再生することで、検索対象がエリア内をどのように移動したかを明確に示します。

この機能を使用するには、監視エリアに追加したカメラで顔認識機能が有効になっていることを確認する必要があります。



1. 検索する期間を設定します
2. クリック⁺して検索対象の顔画像を選択しインポートします。インポートした顔画像は下の画像ボックスに表示されます。
3. クリック^面すると、インポートした顔画像を削除します。削除後は、その顔画像は画像表示ボックスに表示されません。
4. クリックして検索ボタンを押すと、顔をキャプチャしたカメラがマップ上に表示され、最初のキャプチャポイント[📍]と最後のキャプチャポイント[📍]をマークします。
5. クリック[▶]するとキャプチャしたトラックを再生します
6. 下部で「録画再生」を選択した後、クリック[▶]すると、キャプチャしたトラックと、キャプチャポイントに対応する録画イベントを再生します。

Exporting Tracks

7. クリックしてローカルディレクトリを選択すると、トラックで生成された顔キャプチャ情報をエクスポートします

第 17 章 アカウント管理

このページで、サブユーザーを追加し、権限グループを設定します。

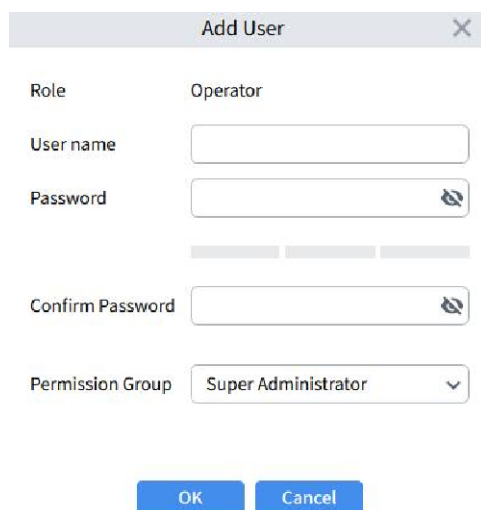
17.1 ユーザーの追加

手順 1：メインメニューで「アカウント管理」を選択し、「アカウント管理 --- ユーザー管理」画面を開きます（図参照）。



	No.	User name	Role	Rights Groups	Operation
☐	1	admin	Admin	Super Administrator	
☒	2	AAtest	Operator	Super Administrator	

手順 2：クリック  して画面右上の「ユーザー追加」メニューを開き、ユーザー名とパスワードを設定し、作成済みの権限グループを設定して、サブユーザーの設定を完了します（図参照）。



Add User

RoleOperator

User name

Password

Confirm Password

Permission GroupSuper Administrator

OKCancel

追加したサブユーザーを選択し、 ボタン をクリックすると削除します。

注：管理者ユーザーは削除できません。

17.2 権限グループの設定

メインメニューで「アカウント管理」を選択し、「アカウント管理 --- 権限設定」画面を開きます（図参照）。

User Management		Permission settings	
No.	Group Name	Operation	
1	Super Administrator	AI Search; AI Scene; Emap Monitoring; Cloud Alarm; Device Management; Alarm Config; Cruise Setting; Account Management; Local Record; Emap Config; Attendance management; AI Config; Topology Management; License plate ...	

クリック  すると、このページで権限グループ設定メニューが開き、グループ名と、そのグループ配下のデバイスの操作権限を設定できます（下図参照）。

Search

Q

▼ root

2208

5253

D1008-V8.1.0

D1104-V7.1.0

U2116-2018

D8016

Device1

G5FBPFJFMT7KJWS1111A

GP2332

IP CAMERA

N2332(1995_0)

N2332-001

N4016-2020

N5316-2018

NVR

Add permissions

Group Name

abc for test 001

Base Rights

All

All ON

All OFF

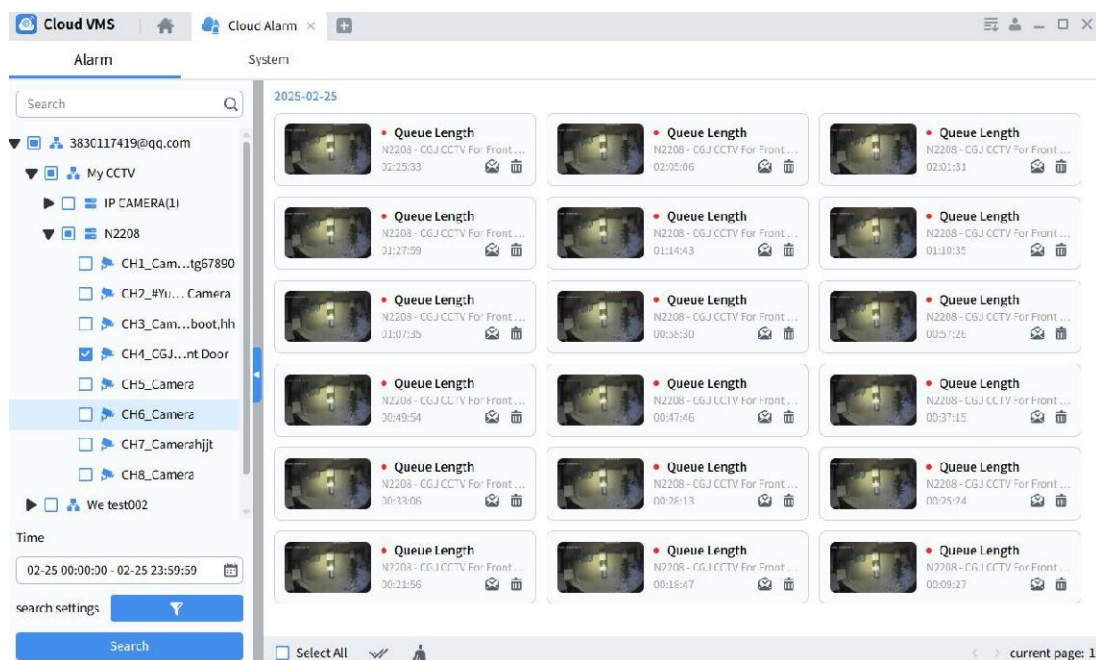
No.	Device Name	Channel Name	Live View	PTZ control	Capture	Record	Playback
1	2208	CameraGyuop tg67890	☒	☒	☒	☒	☒
2	2208	#Yuoopy boom catoonr Camera	☒	☒	☒	☒	☒
3	2208	Camera; reboot; hh	☒	☒	☒	☒	☒
4	2208	CGJ CCTV For Front Door	☒	☒	☒	☒	☒
5	2208	Camera	☒	☒	☒	☒	☒
6	2208	Camera	☒	☒	☒	☒	☒
7	2208	Camera1hjt	☒	☒	☒	☒	☒
8	2208	Camera	☒	☒	☒	☒	☒

注：権限グループの設定リストは、クラウドに録画するデバイスやクラウド上のデバイスの設定には対応していません。

第 18 章 クラウドアラーム

18.1 クラウドアラーム

メインメニューで「クラウドアラーム」をクリックし、「クラウドアラーム -- アラームメッセージ」ページを開きます（図参照）。



デバイスリストでオンラインのデバイスを選択し、照会期間と照会メッセージ種別を設定して「検索」をクリックすると、選択したデバイスのアラームメッセージをクラウドから取得します。メッセージのサムネイルをクリックするとメッセージを再生します。

1 件の未読メッセージを選択してクリック  すると、選択したメッセージを既読にします。すべての未読メッセージを選択してクリック  すると、すべてのメッセージを既読にします。

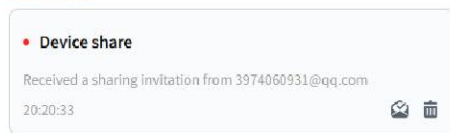
1 件のメッセージを選択してクリック  すると、選択したメッセージを削除します。すべてのメッセージを選択してクリック  すると、選択したすべてのメッセージを削除します。

18.2 システムメッセージ

メインメニューで「クラウドアラーム」をクリックし、「クラウドアラーム - システムメッセージ」ページを開きます。

このページで、他のアカウントからのグループまたはデバイスの共有情報を確認できます（図参照）。

2025-02-25



1 件の未読メッセージを選択してクリックすると、選択したメッセージを既読にします。すべての未読メッセージを選択してクリックすると、すべてのメッセージを既読にします。

1 件のメッセージを選択してクリックすると、選択したメッセージを削除します。すべてのメッセージを選択してクリックすると、選択したすべてのメッセージを削除します。

注：クラウドアラーム機能は、クラウドサービスに対応したデバイスでのみ利用できます。

通常ログインモードでは、クラウドアラーム機能を使用するにはクラウドアカウントにログインする必要があります、デバイスがクラウドに正常に接続されている必要があります。

第 19 章 車両管理

この機能は、ナンバープレート認識機能を持つ複数のカメラを、実際に設置されたレーンに基づいて入出場ポイントとして設定し、1つの駐車場管理システムに統合することで、施設に出入りする車両を管理するためのものです。

19.1 パラメータ設定

19.1.1 入出場設定

手順 1：駐車スペース数を設定します。実際のスペース数を設定してください。最大は 10,000 です。

The screenshot shows the 'System Config' page. On the left, there is a sidebar with 'System Config' selected. The main area has a 'Total Parking Spaces' field with the value '10000' entered. To the right of this field is a button labeled 'Add'. Below this, there is a table with columns: 'Lane name', 'Lane Type', 'Automatic Release Rules', 'Display Window', 'Edit', and 'Delete'. The table contains two rows: 'Entrance 001' (Entrance, Allow List, Temporary Car, Left 1 Window) and 'Exit 001' (Exit, Allow List, Temporary Car, Right 1 Window).

Lane name	Lane Type	Automatic Release Rules	Display Window	Edit	Delete
Entrance 001	Entrance	Allow List, Temporary Car	Left 1 Window		
Exit 001	Exit	Allow List, Temporary Car	Right 1 Window		

手順 2：「追加」ボタンをクリックしてレーン管理ページを開き、キャプチャカメラをバインドしてレーンパラメータを設定します。

The screenshot shows the 'Lane Management' dialog box. It has fields for 'Lane name' (Entrance 001) and 'Lane Type' (Entrance). Below these are checkboxes for 'Automatic Release Rules' (Allow List and Temporary Car are checked). There is a 'Bound license plate capture machine' field with the value 'SSC379G-SP4229-4MP.CH1_4mp5128-debug' and a 'Setup' button. At the bottom, there are four checkboxes for 'Display Window' (Left 1 Window, Left 2 Window, Left 3 Window, Left 4 Window), with 'Left 1 Window' selected. At the very bottom are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

レーン種別の設定：レーンを入場または出場として設定します。実際のレーン種別に応じて設定してください。

自動開放ルールの設定：ホワイトリストのナンバープレートは既定で自動開放され、無効にできません。「一時車両」にチェックを入れると、システムがこのレーンで入場車両を一時車両と認識した際に自動開放します。

ナンバープレートキャプチャカメラのバインド：「設定」ボタンをクリックし、メニューから

VMS に追加済みのオンラインのナンバープレートカメラを選択してバインドします。

表示ウィンドウ設定：現在のレーンにバインドしたカメラの出力ウィンドウを選択します。

注：

1. 一時車両とは、ホワイトリストにもブラックリストにも登録されていないナンバープレートです。
2. 各レーンにバインドできるナンバープレートキャプチャカメラは 1 台のみで、すでにバインド済みのカメラは再利用できません。
3. レーンにバインドするナンバープレートカメラでは、IPC 内蔵のナンバープレートトリガー I/O 機能を無効にする必要があります。

19.1.2 スケジュール設定

このページで、一時車両の自動入出場用のホワイトリストとスケジュールを設定し、スケジュールの追加・削除を行います。

The screenshot displays two side-by-side configuration panels. The left panel, titled 'System Config', has a sidebar with 'Entrance And Exit Configur...' and 'Schedule Configuration'. The 'Schedule Configuration' section is active, showing a table with two rows: 'Temporary Car' and 'Allow List', both with a '7*24' schedule and an 'Apply' button. The right panel, titled 'Schedule Template Settings', features a search bar and a table with columns 'Schedule Name' and 'Operation'. The table lists four entries: '7*24', '5*24', 'abfdsv sbr22 cffsvvf dfds', and 'BNM 56601 dfdsfg wellto', each with a checkbox and edit/delete icons.

Vehicle Group	Schedule Planning	
Temporary Car	7*24	Apply
Allow List	7*24	Apply

Schedule Name	Operation
7*24	
5*24	
abfdsv sbr22 cffsvvf dfds	
BNM 56601 dfdsfg wellto	

19.2 車両管理

1. 「車両管理>許可リスト」ページで「追加」ボタンをクリックすると、車両情報設定ページが開きます（図参照）：

このページで、車両のナンバープレート番号、種別、色、所有者名、連絡先番号、有効期間、備考などの情報を入力します。

車両を選択して「車両削除」ボタンをクリックすると削除します。「グループをクリア」ボタンをクリックすると、現在のリストのすべての車両を削除します。

車両を選択して「エクスポート」ボタンをクリックすると、車両情報をローカルコンピュータにエクスポートします。「インポート」ボタンをクリックすると、ローカルコンピュータから車両情報をホワイトリストグループにインポートします。

車両を選択して「更新」ボタンをクリックすると、登録を更新します。更新オプションには、半月、1 か月、6 か月、1 年、無期限があります。

2. 「車両管理>ブロックリスト」ページで「追加」ボタンをクリックすると、車両情報設定ページが開きます（図参照）：

このページで、車両のナンバープレート番号、種別、色、所有者名、連絡先番号、備考などの情報を入力します。

車両を選択して「車両削除」ボタンをクリックすると削除します。「グループをクリア」ボタンをクリックすると、現在のリストのすべての車両を削除します。

車両を選択して「エクスポート」ボタンをクリックすると、車両情報をローカルコンピュータにエクスポートします。「インポート」ボタンをクリックすると、ローカルコンピュータから車両情報をブラックリストグループにインポートします。

注：ホワイトリストとブラックリストの車両は、相互に移動できます。

19.3 車両監視

このページでは、レーンのバインドが完了したナンバープレートカメラの映像をリアルタイムでプレビューできるほか、手動で開放することもできます。



自動開放：カメラがナンバープレート情報を認識すると、VMS は現在のレーンに設定された自動開放ルールに基づいて、自動的に I/O をトリガーしてバリアを開きます。

手動開放：車両がブラックリストに登録されている場合、または現在のレーンで一時車両の自動開放が有効になっていない場合は、I/O をトリガーして手動でバリアを開きます。

駐車統計：入場車両と空き駐車スペースをリアルタイムで追跡します。注：

1. 車両を手動で開放する際は、先にナンバープレート番号を入力する必要があります。入力しないと I/O 連動が機能しません。

2. 出場時に一時車両を自動開放する場合は、出場時に認識されたナンバープレートが入場時に登録されたナンバープレート番号と一致していることを確認してください。
3. 出場時に車両を手動で開放する場合：入力したナンバープレートが入場記録に存在すれば、手動で開放し、空き駐車スペース数を1つ増やします。入力したナンバープレートが入場記録に存在しない場合は、手動で開放し、空き駐車スペース数は変更しません。
4. 有効期間が切れたホワイトリスト車両が入出場する場合は、手動開放が必要です。
5. 駐車場の空きスペース数が0の場合、入場する車両は手動開放が必要です。

19.4 データ照会

19.4.1 通行記録の照会

このページでは、指定した期間内のすべての入出場ポイントの車両通行記録を検索・エクスポートできます。関連する記録について、ナンバープレートのキャプチャ画像や紐づく映像クリップを確認し、バックアップ用にダウンロードできます。

Vehicle Monitoring

Vehicle Management

Data Query

Parameters

Total Parking Spaces: 10000

Remaining Parking Spaces: 6499

Vehicles: 3561

Comprehensive Query

Pass Record Query

On-site Vehicle Query

Start time

025-03-10 00:00:00

End time

025-04-29 23:59:59

License Plate

Vehicle Type

All

Entrance/Exit

[Entrance1], [Entrance2], [Entrance3], [Entrance4], [Exit1], [Exit2]

Query

Export

No.	Travel time	License Plate	Entrance/Exit	Vehicle Type	Parking Type	Operator	Release Method	Play	Length of Stay
1	2025-04-03 02:42:23	AL2647	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
2	2025-04-03 02:42:29	HIFBE999	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
3	2025-04-03 02:42:41	DCN715	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
4	2025-04-03 02:42:52	HDIFU589	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
5	2025-04-03 02:42:59	JP6PC25	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
6	2025-04-03 02:43:10	AIBFI2	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
7	2025-04-03 02:43:16	PC2630F	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
8	2025-04-03 02:43:28	MX8033	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
9	2025-04-03 02:43:42	D656J9	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
10	2025-04-03 02:43:47	IALZ647	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
11	2025-04-03 02:43:59	PPFM750R	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
12	2025-04-03 02:44:10	ATE9V8	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		
13	2025-04-03 02:44:23	JP6PC25	[Entrance1]	Large Car	Temporary	VMS-pdd109	automatic release		

Total: 59033

1 / 4541 > <

Passage Pictures

View original image

Download

19.4.2 構内車両の照会

このページで、現在の駐車場で1時間以上駐車している車両を検索します。滞在時間や駐車種別を指定して、検索をカスタマイズできます。

Comprehensive Query

Pass Record Query

On-site Vehicle Query

Parking Time Threshold 1 Hours(1-1000)

Parking Type Temporary Car; Allow List; Block List Query

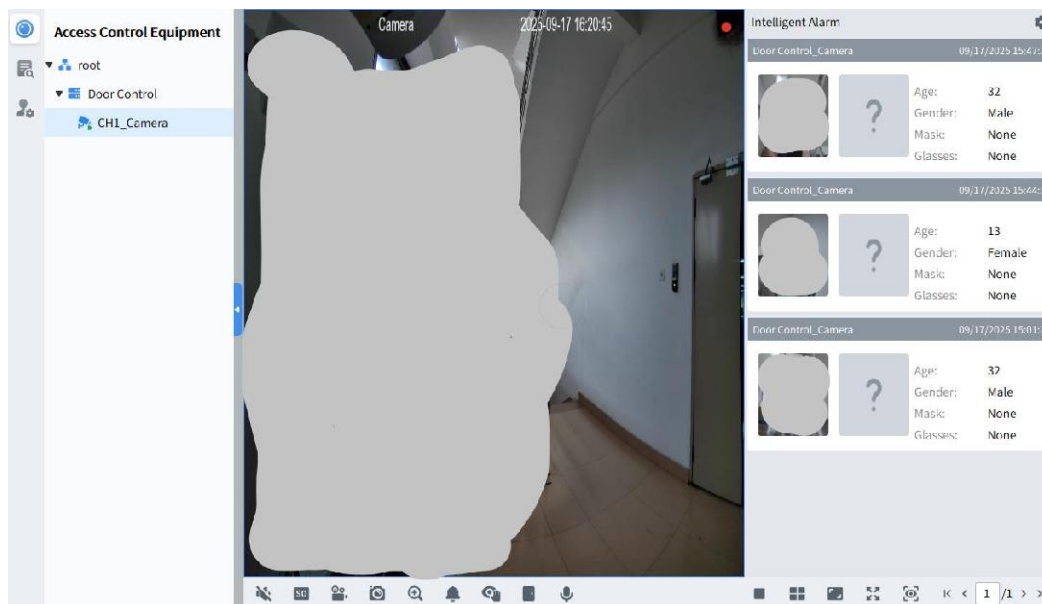
Nc.	License Plate	Admission Time	Entrance/Exit	Vehicle Type	Parking Type	Parking Time
16	A7E9W8	2025-04-14 11:57:30	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 41min
17	FA18F12	2025-04-14 11:56:30	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 42min
18	FB639V2	2025-04-14 11:55:19	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 43min
19	31CFU689	2025-04-14 11:54:48	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 44min
20	8F3F999	2025-04-14 11:53:01	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 46min
21	YK8083	2025-04-14 11:52:36	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 46min
22	FW7508	2025-04-14 11:51:43	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 47min
23	810FU4589	2025-04-14 11:50:35	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 48min
24	H1FBE999	2025-04-14 11:48:49	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 50min
25	IDIG5GJ9	2025-04-14 11:48:37	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 50min
26	1YX8083	2025-04-14 11:48:24	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 50min
27	RD1FU589	2025-04-14 11:47:47	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 51min
28	E1A7E9V8	2025-04-14 11:47:41	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 51min
29	PFW7508	2025-04-14 11:47:31	[Entrance1]	Other Types	Temporary Car	15d 2h 51min
30	810FU589	2025-04-14 11:46:23	[Entrance1]	Small Car	Temporary Car	15d 2h 52min
Total: 3501						< < 2 /234 > >

第 20 章 入退室管理

メインメニューで「入退室管理」をクリックすると、ビデオドアエントリー画面が開き、システムに追加したビデオドアエントリーデバイスを管理できます。

20.1 ライブ

このページでは、システムに追加したビデオドアエントリーデバイスのリアルタイムプレビューとリアルタイム制御ができます。



画面下部でタップすると、リモートでの解錠操作を行えます：タップで解錠、タップで施錠します。

20.2 通行記録の照会

このページでは、指定した時間範囲内の入退室認証記録を検索・エクスポートできます。関連する認証記録の詳細（認証時刻、認証方法、認証の成否など）を確認し、紐づく映像クリップを再生して、バックアップ用にダウンロードできます。

Start time

2025-09-17 00:00:00

End time

2025-09-17 23:59:59

Data Sources

Door Control

User Type

All

User ID

Name

Card No.

Search

Filter

No.	User ID	Name	Card No.	Event Types	Person Type	Time	Operation
1				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 03:21:58	
2				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 07:08:50	
3				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 07:28:55	
4				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 07:44:55	
5				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 07:53:45	
6				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 07:56:27	
7				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:02:18	
8				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:05:45	
9				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:06:46	
10				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:07:14	
11				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:07:38	
12				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:08:04	
13				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:08:43	
14				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:08:53	
15				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:09:18	
16				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:09:45	
17				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:10:08	
18				Face Auth Failed	Stranger	2025-09-17 08:10:14	

1

/ 4

>

>>

20.3 ユーザー管理

入退室ユーザーの検索・追加・変更・削除、およびユーザーデータベースのエクスポート・インポートを行います。

20.3.1 ユーザーの追加／編集／削除

「追加」ボタンをクリックするとユーザー設定ページが開き、ユーザー情報を追加して関連する権限を設定できます。

Base Information

User ID

Username

Floor No. 0

Room No. 0

Gender ☒ Male ☐ Female ☐ Unknown

User Type ☐ Administrator ☒ Normal ☐ Visitor

☐ Custom user

Long-Term Effective User ☐

Validity Period 2025-09-19 00:00:00 To 2025-09-19 23:59:00

Schedule

Certificate Configuration

Face No larger than 200KB. JPG, JPEG, PNG allowed.

Upload

Card Up to 10 cards can be supported.

+ Add Card

Authentication Face or Card or QR Code

Get User Information

クリックすると、追加済みユーザーのリストを表示します。ユーザーを選択してクリックすると、その詳細を編集します。クリックすると、追加済みユーザーを削除します。

ページ右上隅でクリックすると、追加済みユーザーの表示モードを切り替えます。

20.3.2 エクスポート／インポート

クリック **Export** すると、現在のビデオインターホンシステムからユーザー情報データベースをエクスポートし、指定したローカルディレクトリに保存します。

クリック **Import** すると、ローカルに保存したユーザー情報データベースを現在のビデオインターホンシステムにインポートします。

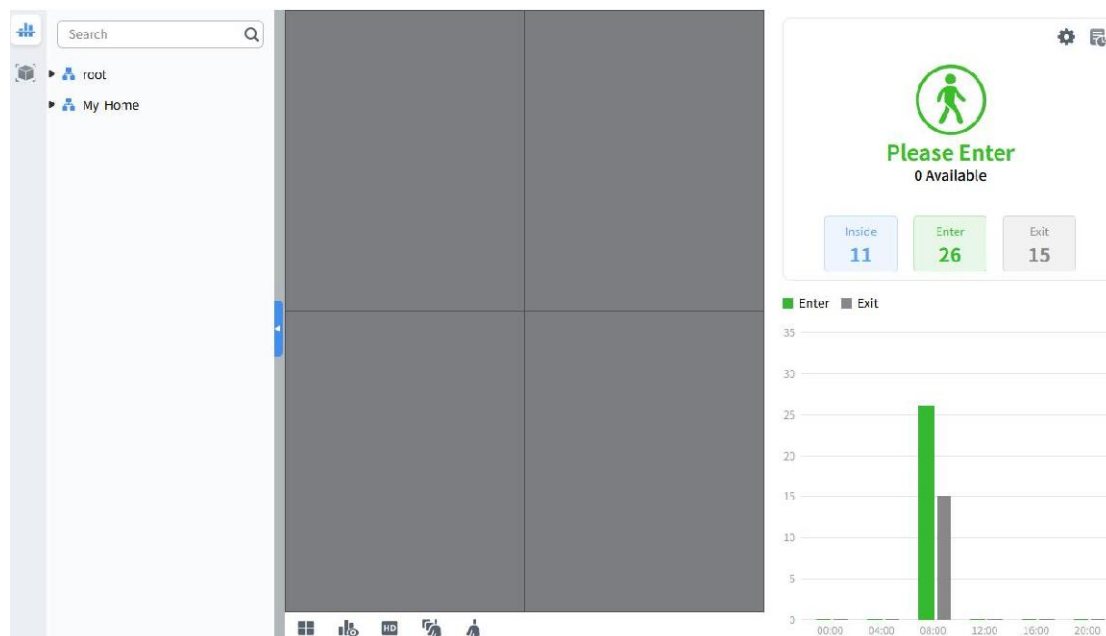
Batch import

クリックすると、ローカルに保存したユーザー情報データベースを複数のビデオインターホンシステムに一括インポートします。

第 21 章 AI シーン

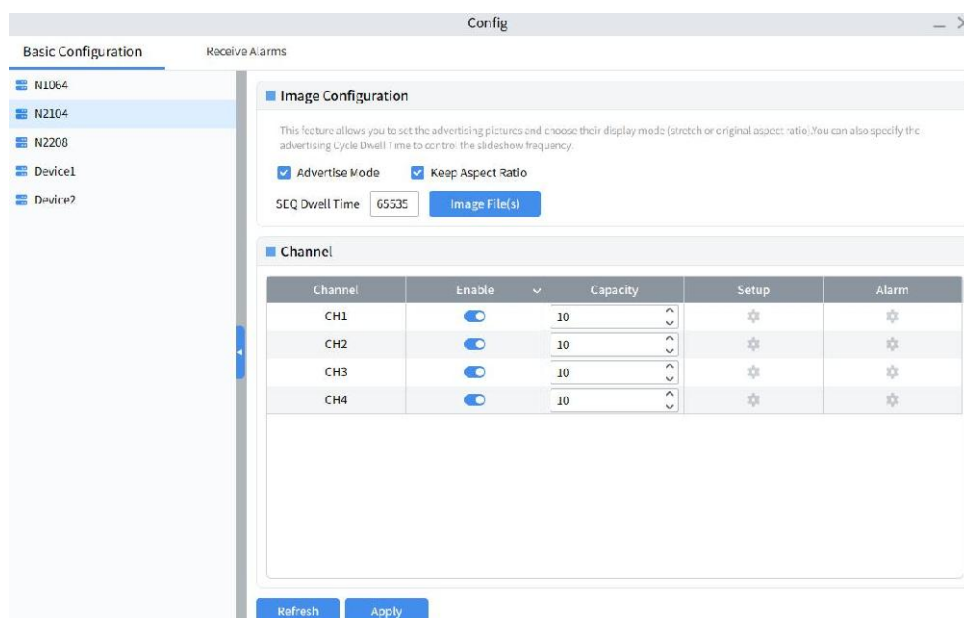
21.1 越境カウント統計

クリックすると、越境カウント統計を表示します（図参照）：



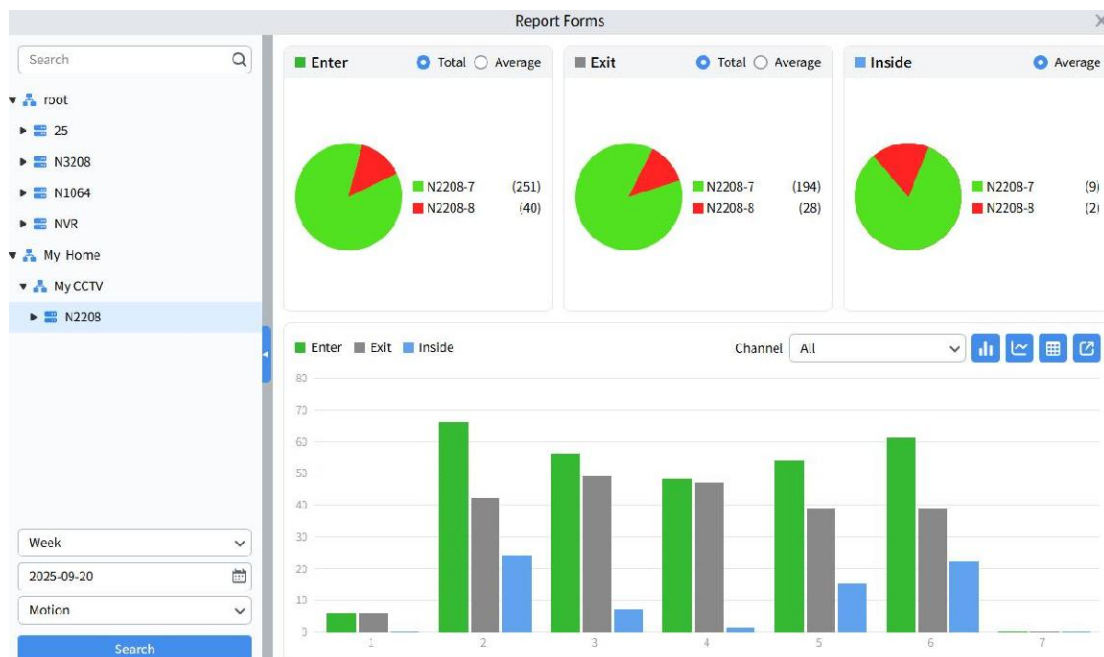
デバイスチャンネルを再生ウィンドウにドラッグすると、プレビューしてカウント統計を確認できます。

クリックすると設定ページが開き、カウント統計を追跡するデバイスとチャンネルを設定できます。



注：複数のデバイスで越境カウント統計を同時に有効にすると、ページに表示される統計はすべてのデバイスの累積データになります。

クリック  すると統計ページが開きます（下図参照）：



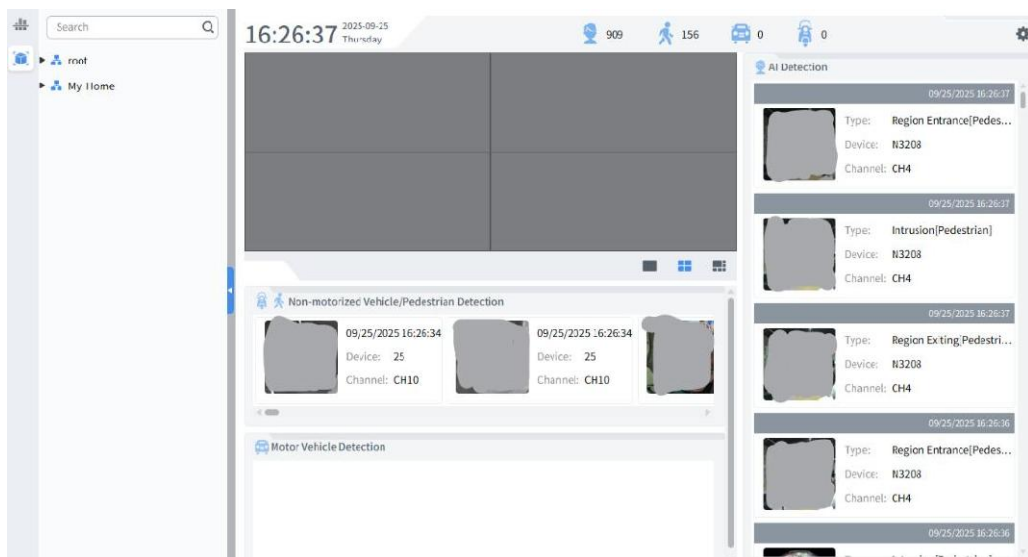
デバイスチャンネル、レポート形式、検索日、対象種別を選択して検索を実行すると、対応する統計が生成されます。

越境カウント統計は、棒グラフ、折れ線グラフ、レポートの3つの表示モードに対応しています。

クリック  すると、通過／未通過の統計レポートをローカルデバイスにエクスポートします。

21.2 混合オブジェクト検出

クリック  すると、混合オブジェクト検出のデモページに移動し、リアルタイム統計とアラームのスクリーンショットを確認できます（下図参照）：



⚙ ページ右上隅の設定アイコンをクリックすると、アラート種別とアラートデバイスを設定できます。

